

モクレポ



○定納山の家（愛知県）※ウッドデザイン賞2025受賞

令和8年6月
No.57

特集

- 新たな森林・林業基本計画について
- 第76回全国植樹祭の開催
- 建築物木材利用促進協定を締結 東建コーポレーション株式会社
× 協和木材株式会社 × 株式会社ダイリFPC × 国（農林水産省）
- 令和7年度森林・林業白書を公表
- 木材産業の労働災害の現状と改善に向けた取組
- スマート林業技術・木質系新素材の実装ビジョン策定

このレポートは、木材需給、木材価格、木材産業の動向等に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表するものです。林業・木材産業関係者の事業活動に役立てていただくことを目指しています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬に公表。公表日の5営業日前に入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。
3. 調査方法の見直しに伴い、データが接続しない場合があります。

CONTENTS 令和8年6月号

特集	1 新たな森林・林業基本計画について	…1
	2 第76回全国植樹祭の開催	…3
	3 建築物木材利用促進協定を締結 東建コーポレーション株式会社 ×協和木材株式会社×株式会社ダイリFPC×国（農林水産省）	…4
	4 令和7年度森林・林業白書を公表	…5
	5 木材産業の労働災害の現状と改善に向けた取組	…6
	6 スマート林業技術・木質系新素材の実装ビジョン策定	…7
01 基礎的指標	1 新設住宅着工戸数	…8
	2 新設住宅着工床面積 <参考> 非居住用建築物着工床面積	…9
	3 木材産業の業況	…11
	4 USドル及びユーロ為替相場	…12
	5 米国民間新設住宅着工戸数、日本向けコンテナ運賃	…13
	6 中国の木材輸入量の動向	…14
02 木材価格情報	1 スギ・ヒノキ原木の主要市場価格	…15
	2 木材価格（農林水産統計）	…17
03 木材需給情報	1 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向	…28
	2 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向	…29
	3 チップ工場の原木入荷、製品生産等の動向	…30
	4 燃料材（国内生産）利用量、紙品種別生産高	…31
	5 素材生産量	…32
	6 木材生産の産出額	…33
04 林産物輸出入情報	1 林産物輸出額	…34
	2 木材輸出額	…35
	3 木材輸入額	…36
	4 木材輸入量	…37
	5 製材・構造用集成材・合板の輸入平均単価	…43
05 特用林産情報	1 特用林産物の国内生産量	…44
	2 特用林産物の産出額	…45
	3 特用林産物の輸出入量	…46
	4 特用林産物の輸出額	…47
	5 中国からのしいたけ菌糸輸入量	…50
	6 きのご類の卸売数量・単価	…51
06 セミナー・イベント情報	6月中旬以降の開催情報	…52
お知らせ	GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）	…53
	ウッドデザイン賞2026 作品募集！	…55
	ウッドデザイン賞2026「あなたのおすすめウッドデザイン」キャンペーン	…57
	令和8年度木材利用推進コンクール公募のご案内	…58
	令和8年度木材利用推進コンクール《国産材利用推進部門》	…60
	クリーンウッド法 木材の合法性確認を支援します！	…62
	クリーンウッド法 定期報告のご提出はお済みですか？	…63
	林業DX・デジタル林業実践よろず相談窓口を開設しました！	…65
	ウッド・チェンジ ロゴマーク活用のご案内	…66
	林業・木材産業災害復旧対策保証及びの借換資金に係る保証の概要	…67
	みどり認定を受けてみませんか？	…68
	森林保険に関するお知らせ	…70
	企業における森のプログラム活用 普及動画&パンフレットのご案内	…71

特集-1 新たな森林・林業基本計画について

- 2026年6月5日に『森林・林業基本計画～百年つづく「森の国・木の街」へ～』を閣議決定。
- 林業・木材産業の持続可能な成長を実現するとともに、多様で健全な森林づくりを進めて国民生活の安全・安心を根底から支えるため、民間活力の積極的な活用を図りつつ、施策を集中し、機動的な実施を図ることにより、森林・林業・木材産業の次の百年の礎を築く計画を策定。

■『森林・林業基本計画～百年つづく「森の国・木の街」へ～』のポイント

林業・木材産業の成長の実現

○ 国産材の利用拡大と幅広い需要の創出

- SHK制度やLCCO₂等による国産材利用効果の見える化
- 都市の木造化の多角的推進（非住宅・中高層建築物等）
- 大径材、広葉樹材等を活用した内装材等の需要創出
- CLT、ツーバイフォー材等の製品輸出の戦略的拡大
- 木育の推進
- 木質系新素材の開発・実装



○ 森業等による山村地域の自立的・持続的発展

- 山村所得向上や豊かな森林づくりにつなげる森業の推進
- 関係人口の創出・拡大



○ ゾーニングと集積・集約化の加速

- ゾーニング等による林業適地での確実な再造林
- 林業適地における路網整備等への支援の重点化
- 境界明確化や情報透明化等に向けたリモートセンシングとAIの活用
- 外縁確定型の普及、森林経営管理法の最大限の活用



○ 需要に応じた国産材の供給力強化

- 施設の生産力強化、工場間連携、ストック機能強化
- JAS製材設備、大径材対応設備等の戦略的整備
- 中小地場の工場等による高付加価値製品の持続的供給



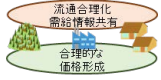
○ スマート林業技術の実装等による持続的な林業の確立

- 安全確保や生産性向上に向けた遠隔操作や自動運転機械等の実装
- 所得向上のためのキャリアに応じた昇給の実現
- 労働環境の改善に向けた関係者の意識改革の徹底
- 新規事業者も含めた多様な主体の育成・確保



○ 強靱なサプライチェーンの構築

- 再造林コストや森林・木材の持続性に関する情報の共有・相互理解、合理的な価格形成
- ICT等による原木流通コーディネート機能の強化



国民生活の安全・安心の確保

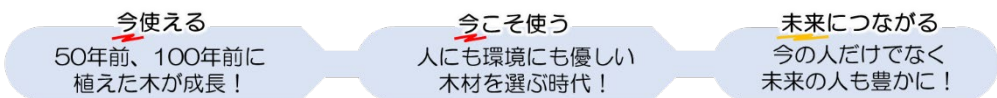
○ 国民の安全・安心を根底から支える多様で健全な森林づくり

- 国土強靱化に向けた森林整備・治山対策の強化
- 延焼しにくい多様な林相への誘導、林野火災に係る広報等の強化
- 効率的な病虫害・鳥獣害対策、クマ等の生息環境の保全・整備
- 花粉の少ない森林への転換
- 原生的な天然林等は引き続き適切に保護管理



※ 上記の主な課題に対して、新たに具体的な成果指標（KPI）を設定し、PDCAによる施策の見直しに活用

■ 副題『～百年つづく「森の国・木の街」へ～』に込めた想い



森の国（守る・育てる）

- 日本は、森林が約7割を占める世界有数の「森林大国」
- 使うことと守ることを両立することで、人にも環境にも良い
 - 地球温暖化の防止（二酸化炭素を吸収する）
 - 生物多様性の保全（多くの生物のすみかになる）
 - 水源の涵養（洪水の被害を小さくする、水を安定して供給する）
 - 国土の保全（山地災害や土砂が流れ出るのを防ぐ）
 - 癒しの効果（心や体に良い効果がある）

👉 ポイント：森の恩恵を未来へ受け継ぐ

木の街（上手に使う）

- 先人たちが植えて育ててくれた人工林の大半が利用できる時期に
- 使う→植える→手入れすれば、ずっと使える
- 暮らしの中で国産の木を使うことは、人にも環境にも良い
 - 地球温暖化の防止（炭素を貯蔵する）
 - 健康の増進（心や体に良い効果がある）
 - コミュニティの活性化（地域の仕事が増える）
 - 安心できる原料調達（国内に資源がある）
 - 多様で健全な森林づくりが進む

👉 ポイント：木を使うほど森も元気に

🌳 森林を守り・育て

🪵 木を上手に長く使い

日本列島を強く豊かにし、百年先の未来へ！！

■『森林・林業基本計画～百年つづく「森の国・木の街」へ～』で掲げる目標

< 森林の有する多面的機能の発揮に関する目標 >

	R7年 (現況)	目標とする森林の状態			(参考) 指向する 森林の状態
		R12年	R17年	R27年	
森林面積(万ha)					
人工林	1,020	1,010	1,000	980	630
天然林	1,490	1,500	1,510	1,530	1,870
うち、利活用等により 機能の維持増進を図る天然林	110	130	150	190	520
合計	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
総蓄積(百万m ³)	9,940	10,420	10,810	11,410	
1ha当たり蓄積(m ³ /ha)	398	417	432	456	
総成長量(百万m ³ /年)	128	115	103	84	
1ha当たり成長量(m ³ /ha年)	5.1	4.6	4.1	3.4	

< 木材供給量の目標 >

(単位:百万m³)

	R6年 (実績)	R12年 (目標)	R17年 (目標)
木材供給量	35	40	42



< 用途別の利用量の目標 >

(単位:百万m³)

用途区分	総需要量			利用量		
	R6年 (実績)	R12年 (見通し)	R17年 (見通し)	R6年 (実績)	R12年 (目標)	R17年 (目標)
建築用材等 計	32	34	35	18	23	26
製材用材	25	26	26	14	18	20
合板用材	8	8	9	4	5	6
非建築用材等 計	50	50	50	17	17	17
パルプ・チップ用材等	27	26	26	4	4	4
燃料材	23	24	24	12	13	13
合計	82	85	85	35	40	42

■『森林・林業基本計画～百年つづく「森の国・木の街」へ～』で目指す世界

	目指す世界	目標・KPI(例)	最新値	R12
産業 国民生活の 充実 の 充実 を通じた	林業・木材産業は 成長分野として我が国の 経済成長に貢献 (林業・木材産業の経済波及効果 は約2兆円から約3兆円へ)	国産材の供給・利用量	(R6) 3,500万m ³	4,000万m³ (国産材の市場規模が3割UP)
		製材・合板の輸出量	(R6) 45万m ³	169万m³ (輸出総額が965億円へ増加)
	森林の恵みを 実感できる社会へ	木育の取組が行われている 市町村数の割合	(R6) 3割	6割
		森業の取組が行われている 市町村数の割合	(R6) 4割	6割
安心 国民生活の 安全の 確保	山地災害から 国民を守る	最も危険度の高い山地災害危険 地区の治山対策完了率	(R5) 54%	64% (約1万地区/約1.5万地区)
	多種多様な動植物と 共存する国土へ	生物多様性を高める森林づくりが 行われている森林の面積割合	(R6) 2割	6割

目指す世界		最新値	将来
2050年ネット・ゼロへの 貢献	吸収・貯蔵 	(R6) 4,400万t-CO ₂	(R22) 7,200万t-CO₂
	排出削減 	(R6) 1,100万t-CO ₂	(R12) 1,300万t-CO₂

新たな基本計画及び林政審議会における議論の経過等については、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/plan/>



特集-2 第76回全国植樹祭の開催

- 全国植樹祭は、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民の理解を深めるため、1950年から各都道府県を巡って、毎年春季に開催。
- 第76回となる本年は、天皇皇后両陛下の御臨席を賜り、2026年5月17日に愛媛県で開催。テーマは、「育てるけん 伊予の国から 緑の宝」。

1. 概要

- ・開催日：2026年5月17日（日）
- ・開催地：愛媛県総合運動公園（愛媛県松山市）
- ・主催者：愛媛県、（公社）国土緑化推進機構
- ・出席者：衆議院議長（国土緑化推進機構会長）、農林水産大臣、文部科学副大臣、環境副大臣、地方自治体関係者 等

2. 記念式典

- 天皇陛下から、以下のおことばを賜った。
 - ・愛媛県では、昭和41年に第17回大会が開催され、植樹から60年を経て、愛情を持って守り育てられてきた木々が、会場のベンチ等に活用されていることに感慨。
 - ・一人一人が緑を守り育て、豊かな森林を、技術や文化とともに次の世代、更にその先の未来へと引き継いでいくことが、私たちの果たすべき大切な役割。
 - ・大会テーマの「育てるけん 伊予の国から 緑の宝」にふさわしく、森林への愛情を育み、親しみながら森林を大切に守り育てていくとともに、森林資源の循環利用や健全な森づくりに向けた活動の輪が、愛媛の地から全国へ、そして未来へと大きく広がっていくことを願う。

- 全国の緑化功労者や学校関係緑化コンクール等の表彰、緑の少年団による苗木の贈呈、森英介大会会長や鈴木憲和農林水産大臣などによる記念植樹を実施。

- 両陛下におかれては、天皇陛下がスギ（無花粉）、クスノキ、クヌギの苗木を、皇后陛下がヒノキ（少花粉）、タチバナ、トキワバイカツツジの苗木をそれぞれお手植えされた。
また、天皇陛下はクロマツ、ツブラジイの種を、皇后陛下は、ヤマツバキ、イロハモミジの種をお手播きされた。

3. 次回大会

2027年春季に、平城宮跡歴史公園（奈良県奈良市）で開催予定。



天皇陛下のおことば



天皇皇后両陛下のお手植え



朝倉緑の少年団から苗木を受け取る
鈴木農林水産大臣（写真左から2人目）

これまでの全国植樹祭については、次のURLをご覧ください。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/ryokka/syokuju/index.html>



- 「建築物木材利用促進協定」制度は、建築主となる事業者等と国又は地方公共団体が協定を締結し、建築物における木材利用を促進する制度。
- 農林水産省は、2026年5月22日に国として33件目となる協定を東建コーポレーション株式会社・協和木材株式会社・株式会社ダイリFPCと締結。

■ 東建コーポレーション株式会社・協和木材株式会社・株式会社ダイリFPCとの協定の概要

協定名：賃貸物件等の建築物への国産材の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定

協定期間：2026年5月22日～2029年3月31日

対象区域：全国

主な取組：

- ①東建コーポレーション株式会社は、協和木材及びダイリFPCと連携し、今後3年間で建設する賃貸物件等の建築物において30,000m³の国産材を利用するよう努める。
- ②協和木材株式会社は、東建コーポレーションに供給する国産材において、福島県産木材を始めとする地域材の利用促進に努め、福島県の復興への寄与及び地域林業の活性化を目指す。
- ③株式会社ダイリFPCは、東建コーポレーションに供給する国産材において、徳島県産木材を始めとする地域材の利用促進に努め、地域林業の活性化を目指す。



【協定締結の様子】

写真左から 協和木材株式会社 佐川社長、東建コーポレーション株式会社 高岸建築技術部長、小坂林野庁長官、株式会社ダイリFPC 小濱社長



協和木材 2x10材(国産杉材)



ダイリFPC 2x10材(国産杉材)

東建コーポレーション 建築中の物件(協和木材の国産2x4材を使用)

写真提供：東建コーポレーション(株)、協和木材(株)、(株)ダイリFPC

①建築物木材利用促進協定制度の詳細は、次のURLをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuri_kyoutei/index.html

②これまで国が締結した協定の詳細、次のURLをご覧ください。
https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/mokuri_kyoutei/zisseki.html



①



②

特集-4 令和7年度森林・林業白書を公表

- 2026年6月2日に「令和7年度森林・林業白書」が閣議決定・公表。
- 今年の白書では、特集として「森林資源の循環利用の確立に向けて～木材利用と再造林をつなぐ～」を、トピックスとして「大阪・関西万博で木材利用の機運が醸成」等5件を掲載。

■ 特集・トピックス

<p>特集 森林資源の循環利用の確立に向けて ～木材利用と再造林をつなぐ～</p>	<p>1. 大阪・関西万博で木材利用の機運が醸成</p>
<p>森林資源の循環利用を取り上げ、木材利用の拡大やその持続性確保に必要な再造林の推進に向けた取組、木材利用と再造林をつなぐ取組について紹介するとともに、全国で街の木造化を進める「森の国・木の街」づくりなど、森林資源の循環利用の確立に向けた取組の方向性について記述。</p>  <p>TQ渋谷宇田川町(東京都)</p>  <p>再造林拡大の取組(栃木県)</p>	<p>2025年に開催された大阪・関西万博において、「大屋根リング」を始めとする様々な施設等に木材が利用されるとともに、会期終了後に大屋根リングの一部の木材が、GREEN×EXPO 2027等で再利用される予定であり、これらを通じて木材利用の機運が高まることが期待されることを紹介。</p>   <p>大阪・関西万博のシンボル「大屋根リング」 (写真提供：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会)</p>
<p>2. 山の地方創生に向けた「森業」の推進</p>	<p>3. スマート林業の新たな展開～技術開発と現場実装～</p>
<p>2025年5月に取りまとめた「地方みらい共創戦略」において、森林分野では、「森業」の推進が位置付け。文化的サービスを始めとする森林の多様な生態系サービスの提供・活用により、人と森林の関係を深めるとともに、林業と相まって森林所有者に利益を生み出し、豊かな森林づくりにつなげる取組を「森業」として推進していくことなどを紹介。</p>	<p>林業の労働安全の確保や生産性の向上等に向けた、遠隔操作の機能を有する林業機械等の現場実装などについて記述し、これらの更なる定着に向けて2026年3月に「スマート林業技術の現場実装ビジョン」を策定し、目指すべき将来像等を提示したことを紹介。</p>  <p>遠隔操作フォワーダ+グラブ</p>
<p>4. 昭和100年～先人が築いた森林を次世代へつなぐ～</p>	<p>5. 大船渡市林野火災からの復旧と今後の消防防災対策</p>
<p>令和8(2026)年は、昭和元(1926)年から起算して満100年。昭和時代の戦中・戦後の資源の利用と復旧造林、拡大造林など、現在に至る森林資源の造成等に関する「昭和100年」の歴史を紹介。</p>  <p>昭和30年頃の植付けの様子(岐阜県高山市)</p>	<p>2025年2月に発生した大船渡市林野火災について、被災地の林地再生に向けて被災木の伐採に着手していること、同年8月に消防庁と共に取りまとめた報告書を踏まえ、林野火災の予防を始めとする対策の具体化に取り組んでいくことなどについて紹介。</p>  <p>焼損した被災木の伐倒</p>

■ 各章の構成

(第I章)森林の整備・保全:花粉発生源対策、森林環境譲与税を活用した取組、野生鳥獣等による森林被害への対応等について記述
(第II章)林業と山村(中山間地域):林業従事者の育成・確保、きのこ類等の特用林産物、山村の活性化の取組等について記述
(第III章)木材需給・利用と木材産業:非住宅・中高層建築物の木造化・木質化、木育、木材産業の競争力強化の取組等について記述
(第IV章)国有林野の管理経営:国有林野における公益重視の管理経営、森林・林業施策全体への貢献等について記述
(第V章)東日本大震災からの復興:海岸防災林等の復旧状況、森林の放射性物質対策、安全な特用林産物の供給等について記述
令和8年度 森林及び林業施策:令和8年度予算等を基に施策の概要を整理

「令和7年度森林・林業白書」については、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/index.html>

◇白書で取り上げている事例に直接リンクするサイトも開設しています◇

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/hakusyo/r7hakusyo/jirei.html>



森林・林業白書



事例一覧

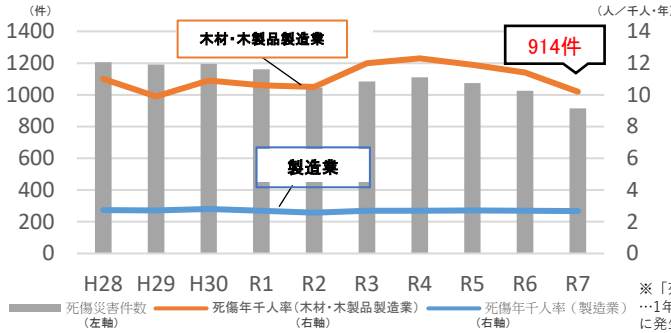
- 木材産業における令和7年の死傷災害件数は、過去最少の914件。
- 災害件数自体は減少傾向にあるものの、労働災害発生率は製造業全体の約3.8倍。
- 労働災害の更なる減少に向け、「安全診断・評価マニュアル」の活用や啓発活動を推進。

■ 木材産業における労働災害の現状と課題

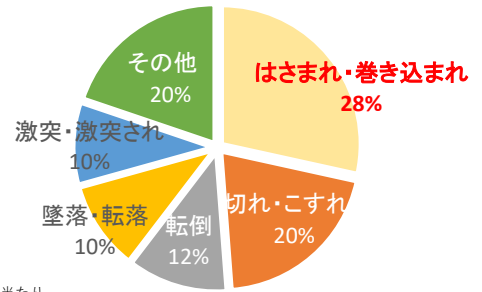
令和7年の死傷災害件数は過去最少の914件
(3年続けて前年を下回り、減少傾向が継続)

事故の型は、機械に関連した
「はさまれ・巻き込まれ」の割合が最も多い

死傷災害件数・死傷年千人率の推移



事故の型別死傷者数 (R7)



<課題>

- ・災害件数は減少傾向にあるものの、痛ましい事故は依然として発生。
- ・安全対策は短期的には成果が見えにくく、慣れなどにより取組が形骸化・マンネリ化しやすい。

■ 安全対策のポイント

○「安全診断・評価マニュアル」の活用

(一社)全国木材組合連合会のホームページで公開されているマニュアルを活用した安全パトロールの実施。

📄安全診断・評価マニュアルとは？

- ・第三者の視点に立って現場を点検し、危険箇所や作業手順を見直すためのマニュアル。
- ・特別な知識が無くても、専門家の視点で客観的に評価し、現場の潜在的なリスクを可視化することで、危険を未然に防ぐことができる。



安全診断・評価マニュアル (リーフレット)

○作業安全の啓発

継続的な安全対策の実施に向け、林野庁ホームページで公開されている「仕事猫」とコラボしたステッカーや研修動画などを用いた啓発活動の実施。



「仕事猫」とコラボしたステッカー

職場の安全性向上のため、マニュアルやステッカー等をぜひご活用ください。

■ 関連情報

①「安全診断・評価マニュアル」については、次のURLをご覧ください。

https://zenmokuren.jp/anzen/2_index_detail.php



②木材産業における作業安全に関する情報については、次のURLをご覧ください。

※「仕事猫」とコラボした作業安全ステッカーもこちらから

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/seisankakou/anzenkohan.html>



特集-6 スマート林業技術・木質系新素材の実装ビジョン 策定

- 林野庁は、2026年3月、「スマート林業技術の現場実装ビジョン」と「木質系新素材の社会実装ビジョン」を策定。
- これらビジョンを踏まえて、新技術の導入を加速化し今後の林業イノベーションを推進。

■ 両ビジョンのポイント

林野庁は、2019年に「林業イノベーション現場実装推進プログラム」を策定し、林業における労働安全の確保、生産性と収益性の向上等に資する新技術の実装を推進。これにより、これまでに遠隔操作林業機械の現場導入やデジタル技術を活用した地域拠点の構築、スギから作る新素材「改質リグニン」やセルロースナノファイバー（CNF）の製品化など、着実に進展。

一方で、スマート林業技術の安全性確保や、木質資源の付加価値の高い利用に向けた技術の多様化など新たな課題が顕在化。これを受け、プログラムを改定するとともに「スマート林業技術」と「木質系新素材」に再編し策定。これらの実装に向けてより実用重視の施策を展開。

スマート林業技術の現場実装ビジョン – 林業の現場に新しい選択肢を –

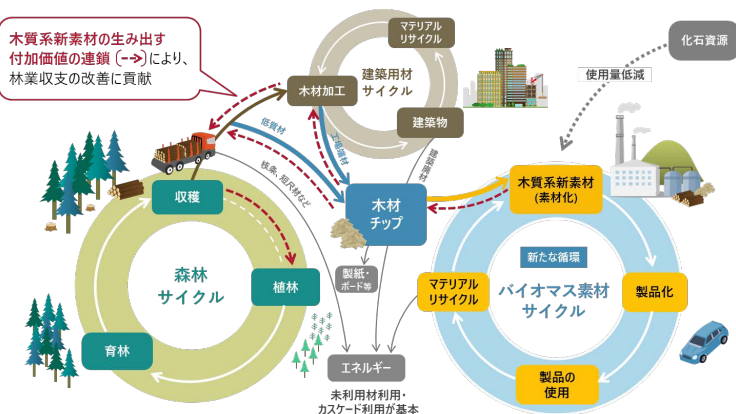
林業の労働安全の確保、労働負荷の軽減、生産性と収益性の向上といった課題の解決に資する「スマート林業技術」を広く定着させるため、

- スマート林業の必要性
- 目指すべき将来像
- 必要な技術
- 今後5～10年にかけて 実施されるべき取組

をとりまとめ。



木質系新素材の社会実装ビジョン – 森林発！次世代のバイオマス化学産業をつくらう –



ネット・ゼロの実現、資源循環経済の形成、経済安全保障といった社会ニーズにも応え、新たな高付加価値用途である木質系新素材を社会実装させるため、

- 木質系新素材の必要性や課題
 - 開発の方向性
 - 目指すべき将来像
 - 必要な取組
- を提示。



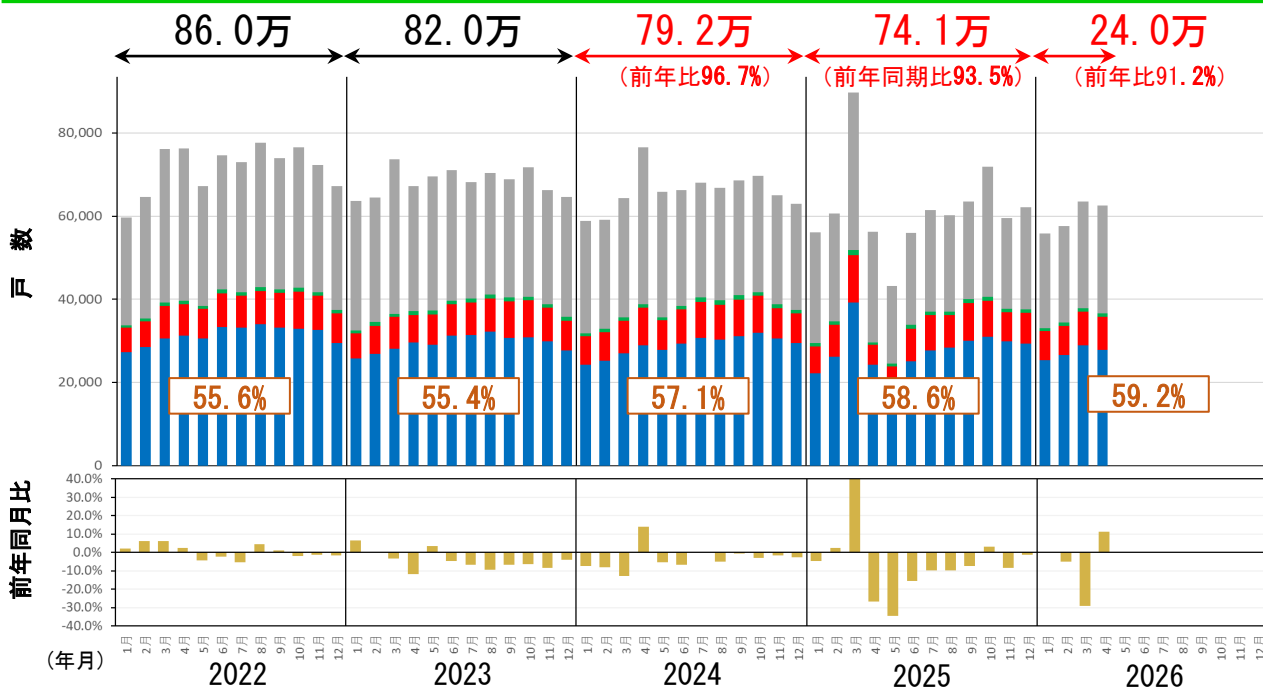
両ビジョンの詳細、具体的な取組は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaihatu/index.html>



基礎的指標-1 新設住宅着工戸数

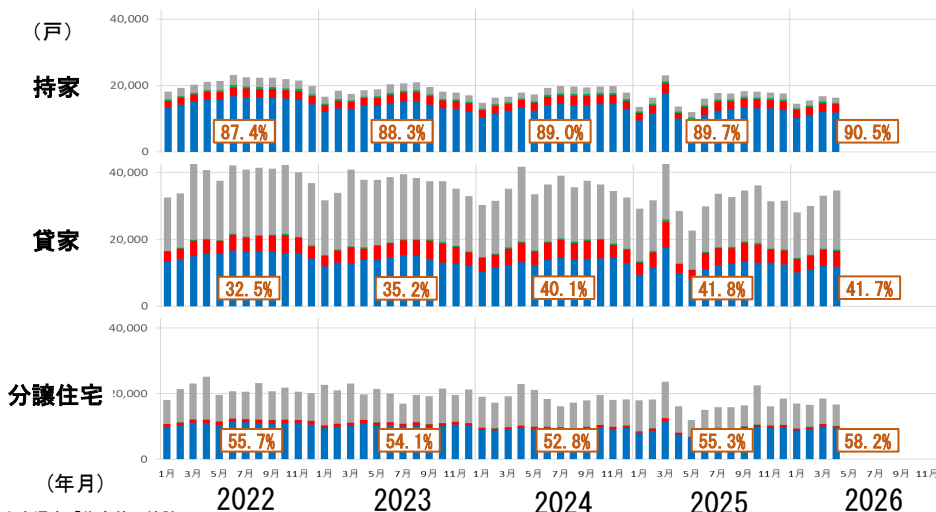
- 2025年の新設住宅着工戸数は、74.1万戸（前年比93.5%）、このうち木造住宅は、43.4万戸（同96.0%）。
- 2026年1～4月の新設住宅着工戸数は、24.0万戸（前年同期比91.2%）、このうち木造住宅は、14.2万戸（同97.3%）。



構造別の着工戸数	2026年 1～4月	2025年 同期	2025年 同期比	2024年 同期	2024年 同期比
合計	239,592	262,707	91.2%	258,908	92.5%
■非木造	97,823	117,064	83.6%	119,798	81.7%
木造	141,769	145,643	97.3%	139,110	101.9%
■木造プレハブ	3,092	3,607	85.7%	3,165	97.7%
■2×4	30,083	30,173	99.7%	30,512	98.6%
■在来軸組	108,594	111,863	97.1%	105,433	103.0%
□木造率	59.2%	55.4%		53.7%	

(単位：戸)

(参考) 利用関係別の着工戸数 (ただし、「給与住宅」を除く。)

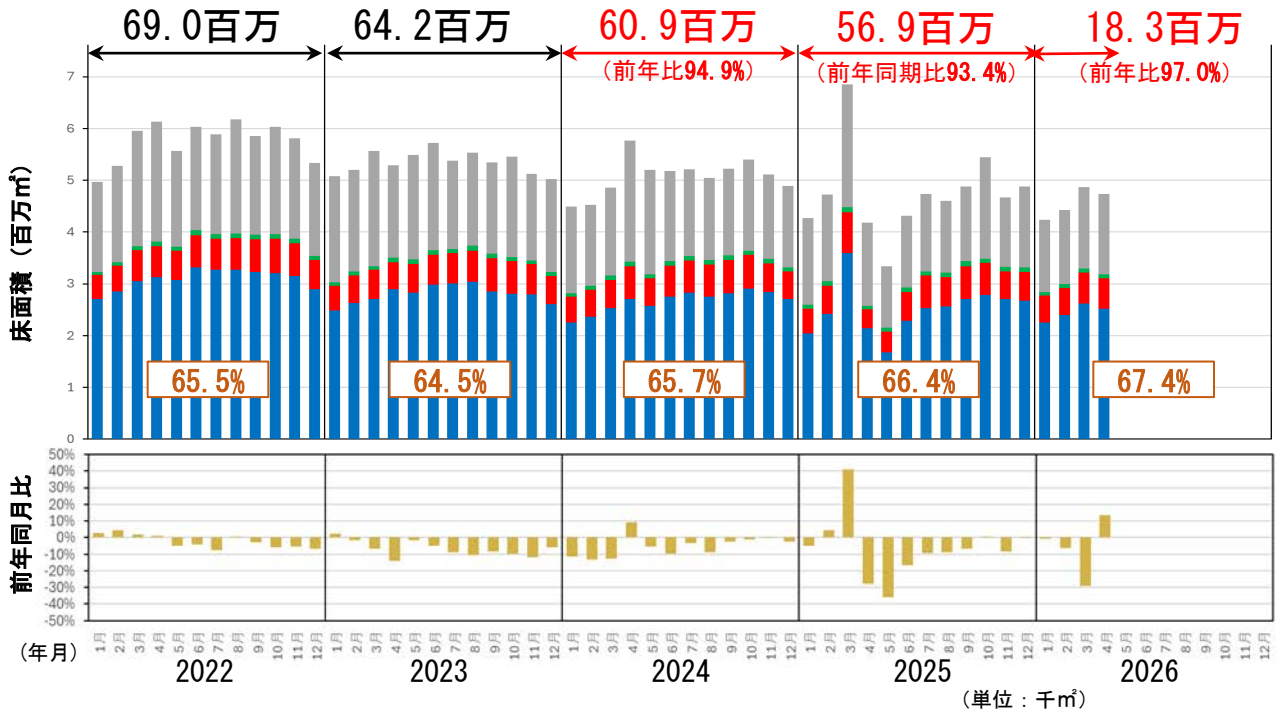


資料：国土交通省「住宅着工統計」

※ 令和7年6月30日に公表値の一部訂正があり、本項の数値は訂正後の公表値に基づいている。

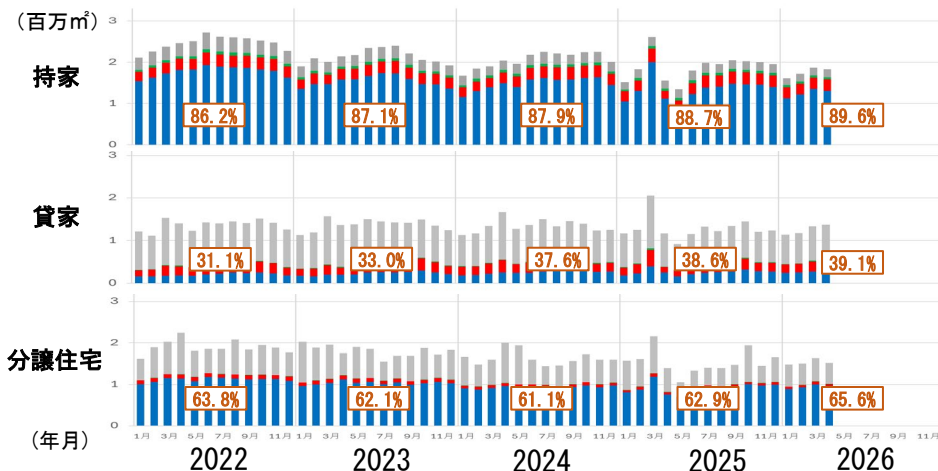
基礎的指標-2 新設住宅着工床面積

- 2025年の新設住宅着工床面積は、56.9百万㎡（前年比93.4%）、このうち木造住宅は、37.8百万㎡（同94.5%）。
- 2026年1～4月の新設住宅着工床面積は、18.3百万㎡（前年同期比91.2%）、このうち木造住宅は、12.3百万㎡（同97.0%）。



構造別の 着工床面積	2026年 1～4月	2025年 同期	2025年 同期比	2024年 同期	2024年 同期比
合計	18,262	20,021	91.2%	19,632	93.0%
■非木造	5,952	7,325	81.3%	7,271	81.9%
木造	12,310	12,695	97.0%	12,362	99.6%
■木造プレハブ	302	329	91.8%	311	97.3%
■2×4	2,216	2,175	101.9%	2,206	100.5%
■在来軸組	9,792	10,191	96.1%	9,846	99.5%
□木造率	67.4%	63.4%		63.0%	

（参考）利用関係別の着工床面積（ただし、「給与住宅」を除く。）



資料：国土交通省「住宅着工統計」
 ※ 令和7年6月30日に公表値の一部訂正があり、本項の数値は訂正後の公表値に基づいている。

＜参考＞非居住用建築物着工床面積

(単位:千㎡、%)

年次	月	合計		構造別			
			前年比	木造	前年比	非木造	前年比
2022年	1	3,237	96	214	87	3,023	97
	2	3,711	111	223	93	3,488	112
	3	3,627	85	244	85	3,384	85
	4	4,866	116	285	82	4,581	119
	5	3,920	92	318	104	3,602	91
	6	4,788	112	349	107	4,438	112
	7	4,983	122	346	101	4,637	124
	8	3,980	127	327	109	3,653	129
	9	3,589	97	354	115	3,236	95
	10	3,599	68	300	88	3,299	66
	11	3,512	94	299	102	3,213	93
	12	3,391	71	256	91	3,134	70
2023年	1	3,898	120	216	101	3,682	122
	2	3,570	96	224	100	3,346	96
	3	2,803	77	226	93	2,577	76
	4	4,804	99	306	107	4,498	98
	5	3,254	83	325	102	2,930	81
	6	3,148	66	315	90	2,834	64
	7	3,612	72	278	80	3,333	72
	8	3,523	89	332	102	3,191	87
	9	3,617	101	342	97	3,275	101
	10	4,622	128	292	97	4,330	131
	11	3,170	90	297	99	2,873	89
	12	3,426	101	254	99	3,172	101
2024年	1	3,269	84	199	92	3,071	83
	2	3,105	87	192	86	2,913	87
	3	3,242	116	212	94	3,030	118
	4	4,045	84	272	89	3,773	84
	5	2,874	88	297	91	2,577	88
	6	3,394	108	293	93	3,100	109
	7	3,294	91	285	103	3,009	90
	8	3,053	87	273	82	2,780	87
	9	3,480	96	286	84	3,194	98
	10	3,361	73	279	96	3,081	71
	11	3,149	99	293	99	2,856	99
	12	2,935	86	255	100	2,680	84
2025年	1	2,487	76	201	101	2,286	74
	2	3,181	102	223	116	2,958	102
	3	3,474	107	338	159	3,136	103
	4	4,085	101	300	110	3,786	100
	5	3,531	123	183	62	3,348	130
	6	2,922	86	236	81	2,687	87
	7	2,612	79	291	102	2,321	77
	8	2,578	84	239	88	2,339	84
	9	3,379	97	268	94	3,111	97
	10	3,093	92	298	107	2,795	91
	11	2,360	75	269	92	2,090	73
	12	2,761	94	232	91	2,529	94
2026年	1	2,566	103	213	106	2,354	103
	2	2,833	89	176	79	2,657	90
	3	3,057	88	243	72	2,815	90
	4	3,017	74	269	90	2,748	73
2021年計		48,461	110	3,620	95	44,841	111
2022年計		47,203	97	3,515	97	43,688	97
2023年計		43,447	92	3,407	97	40,041	92
2024年計		39,201	90	3,136	92	36,064	90
2025年計		36,463	93	3,078	98	33,386	93
2022年	第1四半期	10,575	96	681	88	9,895	97
	第2四半期	13,574	106	952	97	12,621	107
	第3四半期	12,552	115	1,027	108	11,526	116
	第4四半期	10,502	76	855	93	9,646	75
2023年	第1四半期	10,271	97	666	98	9,605	97
	第2四半期	11,206	83	946	99	10,262	81
	第3四半期	10,752	86	952	93	9,799	85
	第4四半期	11,218	107	843	99	10,375	108
2024年	第1四半期	9,616	94	603	91	9,014	94
	第2四半期	10,313	92	862	91	9,450	92
	第3四半期	9,827	91	844	89	8,983	92
	第4四半期	9,445	84	827	98	8,617	83
2025年	第1四半期	9,142	95	762	126	8,380	93
	第2四半期	10,538	102	719	83	9,821	104
	第3四半期	8,569	87	798	95	7,771	87
	第4四半期	8,214	87	799	97	7,414	86
2026年	第1四半期	8,456	92	632	83	7,826	93

資料：国土交通省「建築着工統計調査報告」

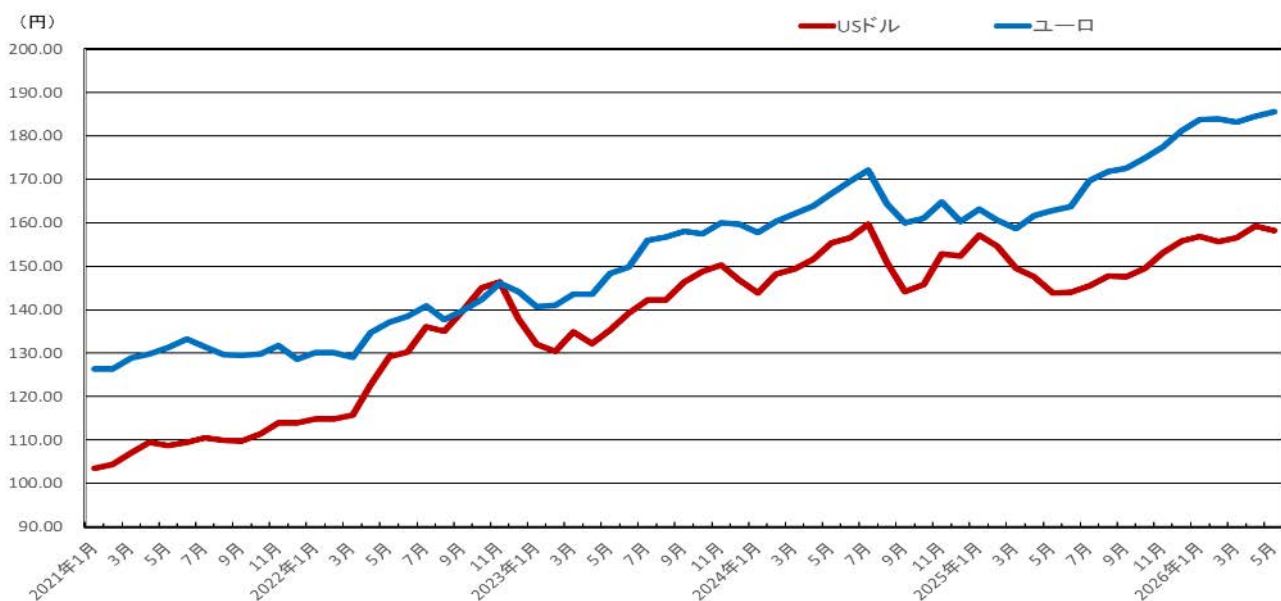
基礎的指標-3 木材産業の業況

- 2025年の木材産業の倒産件数は36件（前年比144%）、負債金額は11,366百万円（同410%）。
- 2026年1～4月の木材産業の倒産件数は15件（前年同期比107%）、負債金額は2,524百万円（同43%）。

年・月		企業倒産状況							
		全 企 業				木材・木製品製造業			
		件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)	件数 (件)	前年 比(%)	負債金額 (百万円)	前年 比(%)
2023年	1	570	126	56,524	84	3	300	230	1,769
	2	577	126	96,580	136	1	-	154	-
	3	809	136	147,434	87	4	100	1,340	67
	4	610	126	203,861	251	3	150	1,122	39
	5	706	135	278,734	319	2	200	270	150
	6	770	141	150,947	12	3	-	571	-
	7	758	153	162,137	192	3	-	339	-
	8	760	154	108,377	97	2	200	140	7
	9	720	120	691,942	478	0	0	0	0
	10	793	133	308,010	354	0	0	0	0
	11	807	139	94,871	82	1	100	50	58
	12	810	134	103,228	130	5	500	1,106	334
2024年	1	701	123	79,123	140	1	33	166	72
	2	712	123	139,596	145	1	100	90	58
	3	906	112	142,252	96	2	50	108	8
	4	783	128	113,423	56	4	133	1,161	103
	5	1,009	143	136,769	49	4	200	184	68
	6	820	106	109,879	73	0	0	0	0
	7	953	126	781,206	482	3	100	189	56
	8	723	95	101,370	94	2	100	35	25
	9	807	112	132,754	19	1	-	50	-
	10	909	115	252,913	82	1	-	30	-
	11	841	104	160,223	169	4	400	576	1,152
	12	842	104	194,030	188	2	40	185	17
2025年	1	840	120	121,449	153	1	100	20	12
	2	764	107	171,277	123	3	300	2,382	2,647
	3	853	94	98,586	69	5	250	961	890
	4	828	106	102,802	91	5	125	2,461	212
	5	857	85	90,389	66	4	100	188	102
	6	848	103	105,703	96	1	-	638	-
	7	961	101	167,035	21	4	133	445	235
	8	805	111	114,373	113	0	-	0	-
	9	873	108	112,470	85	2	200	730	1,460
	10	965	106	127,521	50	5	500	1,785	5,950
	11	778	93	82,403	51	2	50	430	75
	12	928	110	298,182	154	4	200	1,326	717
2026年	1	887	106	119,815	99	2	200	550	2,750
	2	851	111	133,160	78	7	233	1,192	50
	3	924	108	114,862	117	3	60	477	50
	4	883	107	111,896	109	3	60	305	12
2023年計		8,690	135	2,402,645	103	27	208	5,322	70
2024年計		10,006	115	2,343,538	98	25	93	2,774	52
2025年計		10,300	103	1,592,190	68	36	144	11,366	410
2023年	第1四半期	1,956	130	300,538	98	8	160	1,724	85
	第2四半期	2,086	134	633,542	45	8	267	1,963	64
	第3四半期	2,238	141	962,456	282	5	250	479	25
	第4四半期	2,410	135	506,109	180	6	200	1,156	187
2024年	第1四半期	2,319	119	360,971	120	4	50	364	21
	第2四半期	2,612	125	360,071	57	8	100	1,345	69
	第3四半期	2,483	111	1,015,330	105	6	120	274	57
	第4四半期	2,592	108	607,166	120	7	117	791	68
2025年	第1四半期	2,457	106	391,312	108	9	225	3,363	924
	第2四半期	2,533	97	298,894	83	10	125	3,287	244
	第3四半期	2,639	106	393,878	39	6	100	1,175	429
	第4四半期	2,671	103	508,106	84	11	157	3,541	448
2026年	第1四半期	2,662	108	367,837	94	12	133	2,219	66

資料：東京商工リサーチ「TSR情報（全国企業倒産状況）」

- 2026年5月の為替相場※は、1ドル158.29円、1ユーロ185.68円。
※ 税関長公示レート of 平均値



(単位:円)

年月	USDドル	ユーロ
2021年1月	103.57	126.44
2月	104.50	126.41
3月	107.13	128.93
4月	109.56	129.89
5月	108.80	131.36
6月	109.50	133.28
7月	110.55	131.43
8月	109.89	129.63
9月	109.87	129.60
10月	111.42	129.77
11月	113.95	131.84
12月	113.95	128.72
2022年1月	114.82	130.09
2月	114.84	130.17
3月	115.86	129.13
4月	122.84	134.73
5月	129.17	137.21
6月	130.35	138.58
7月	136.05	140.87
8月	135.08	137.78
9月	139.81	139.88
10月	145.09	142.34
11月	146.43	146.15
12月	137.90	144.14
2023年1月	132.08	140.75
2月	130.38	141.08
3月	134.97	143.57
4月	132.23	143.64
5月	135.31	148.42
6月	139.24	149.89
7月	142.32	156.04
8月	142.23	156.75
9月	146.44	158.12
10月	148.88	157.55
11月	150.34	160.04
12月	146.92	159.80

(単位:円)

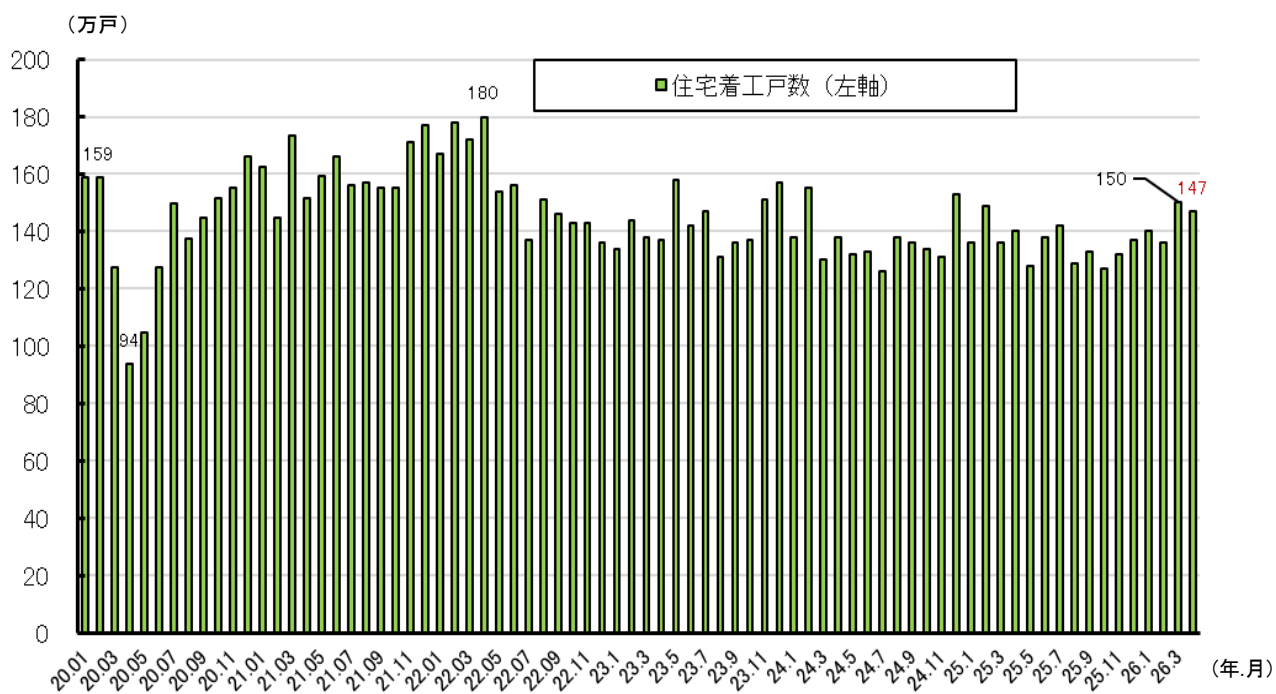
年月	USDドル	ユーロ
2024年1月	143.95	157.82
2月	148.18	160.35
3月	149.45	162.17
4月	151.66	163.86
5月	155.48	166.79
6月	156.64	169.63
7月	159.77	172.17
8月	150.89	164.44
9月	144.27	160.04
10月	145.87	161.08
11月	152.83	164.76
12月	152.48	160.39
2025年1月	157.20	163.11
2月	154.61	160.70
3月	149.55	158.74
4月	147.70	161.65
5月	143.97	162.83
6月	144.04	163.84
7月	145.56	169.73
8月	147.73	171.93
9月	147.61	172.57
10月	149.51	175.00
11月	153.17	177.48
12月	155.86	181.22
2026年1月	156.91	183.88
2月	155.65	184.00
3月	156.60	183.15
4月	159.27	184.60
5月	158.29	185.68

資料：関税定率法第4条の7に規定する財務省令で定める外国為替相場（関税定率法施行規則（昭和44年大蔵省令第16号）第1条の規定により税関長が公示する相場）

注：税関長公示レートの平均を算出して掲載。（モクレポNo. 55（令和8年4月）より掲載内容を変更。）

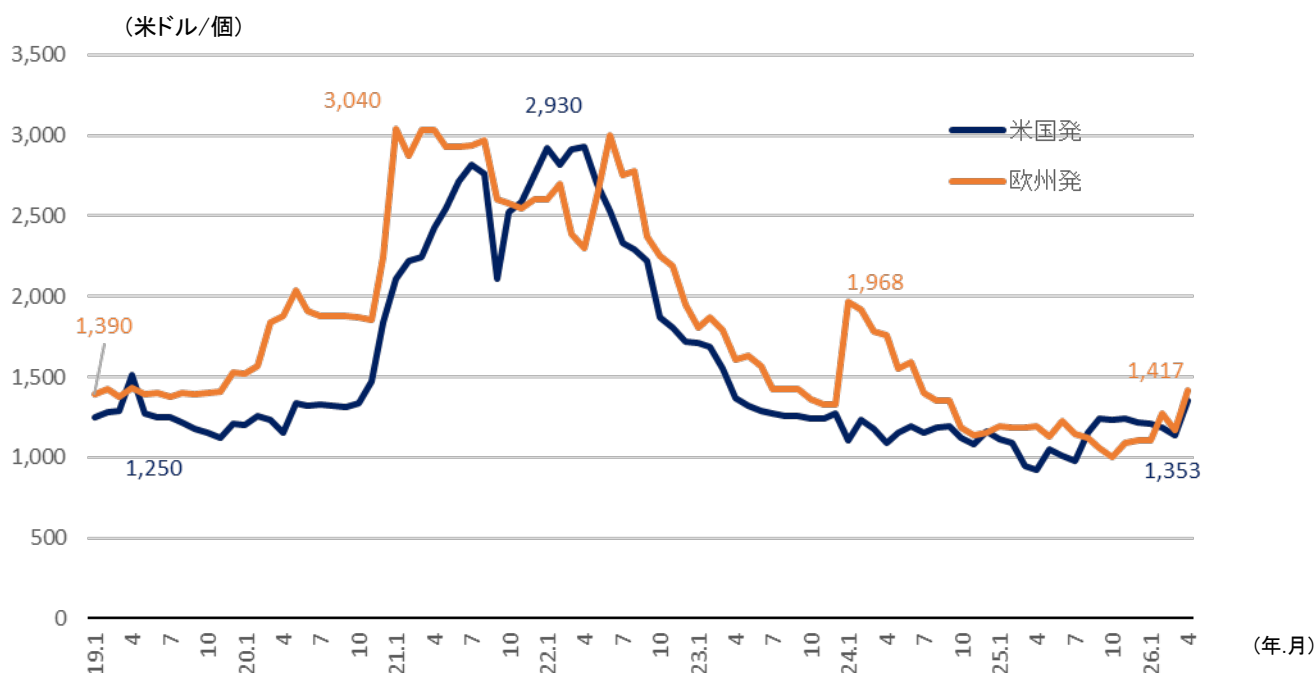
- 2026年4月の米国の住宅着工戸数（年率換算、戸建て計）は、前月比97%の約147万戸。
- 日本向けコンテナ運賃は、米国発、欧州発ともに2024年後半以降、概ね1,000（米ドル/個）台前半で推移。2021年～2022年頃には、コロナ禍の影響で米国発、欧州発ともに高騰。2024年1月には、紅海におけるフーシ派攻撃の影響で欧州発が高騰。

○米国における住宅着工戸数の推移



資料：(住宅着工戸数)米国商務省「住宅着工統計」(季節調整済み、年率換算、戸建て計)

○日本向けコンテナ運賃の推移



注：40ftコンテナ。「米国発」はLos Angeles発横浜着、「欧州発」はRotterdam発横浜着。

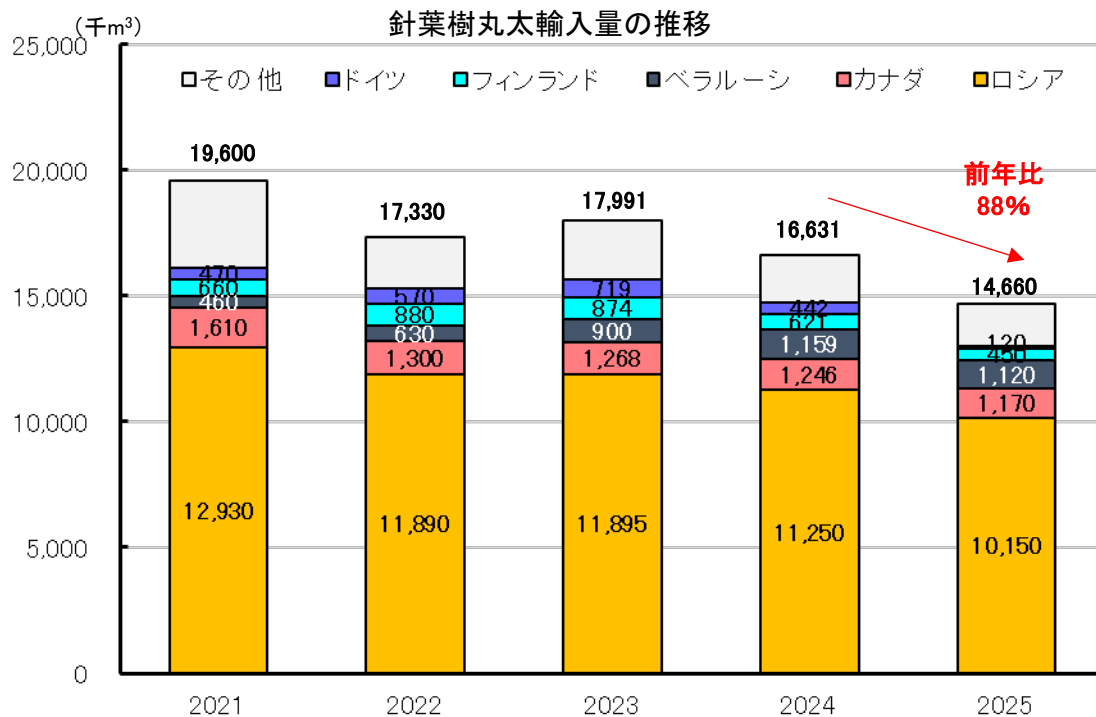
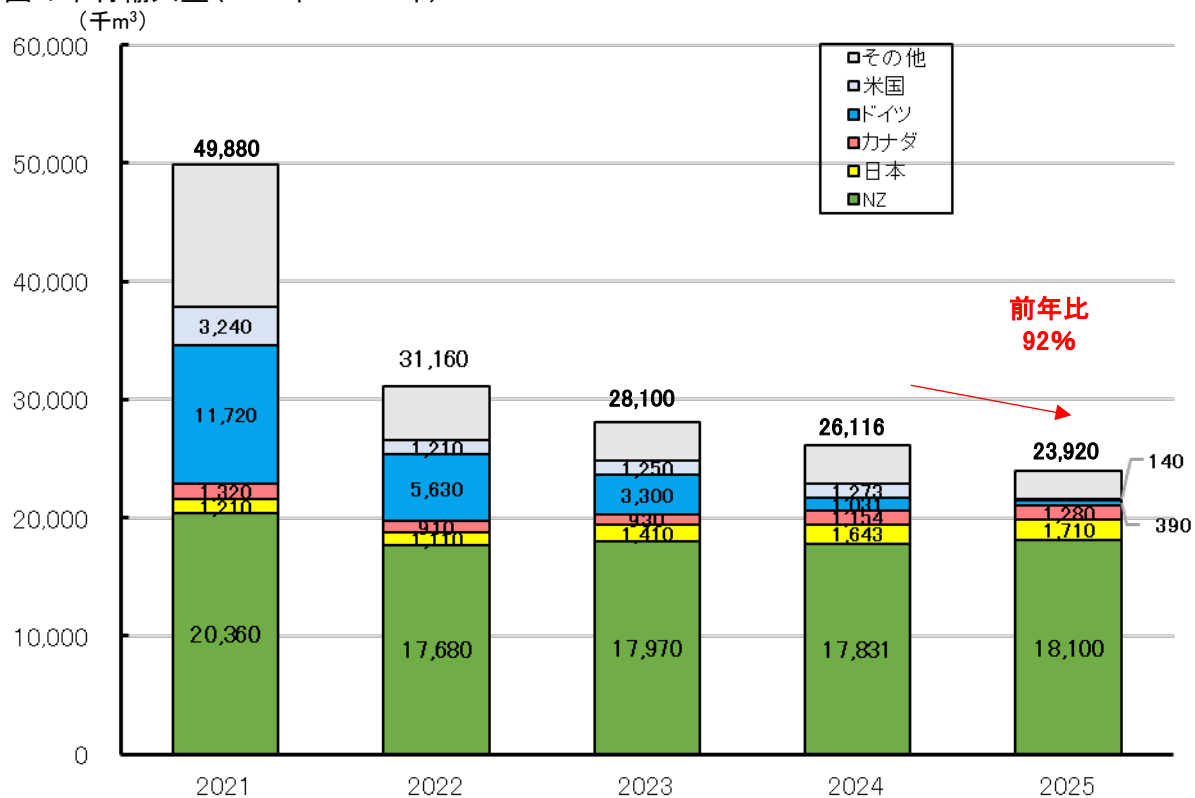
出典：Drewry「Container Freight Rate Insight」

資料：日本海事センター「主要航路コンテナ運賃動向」

基礎的指標-6 中国の木材輸入量の動向

- 2025年の中国における針葉樹丸太輸入量は、前年比92%の2,392万m³。
- 同年の中国における針葉樹製材輸入量は、前年比88%の1,466万m³。

○中国の木材輸入量(2021年～2025年)

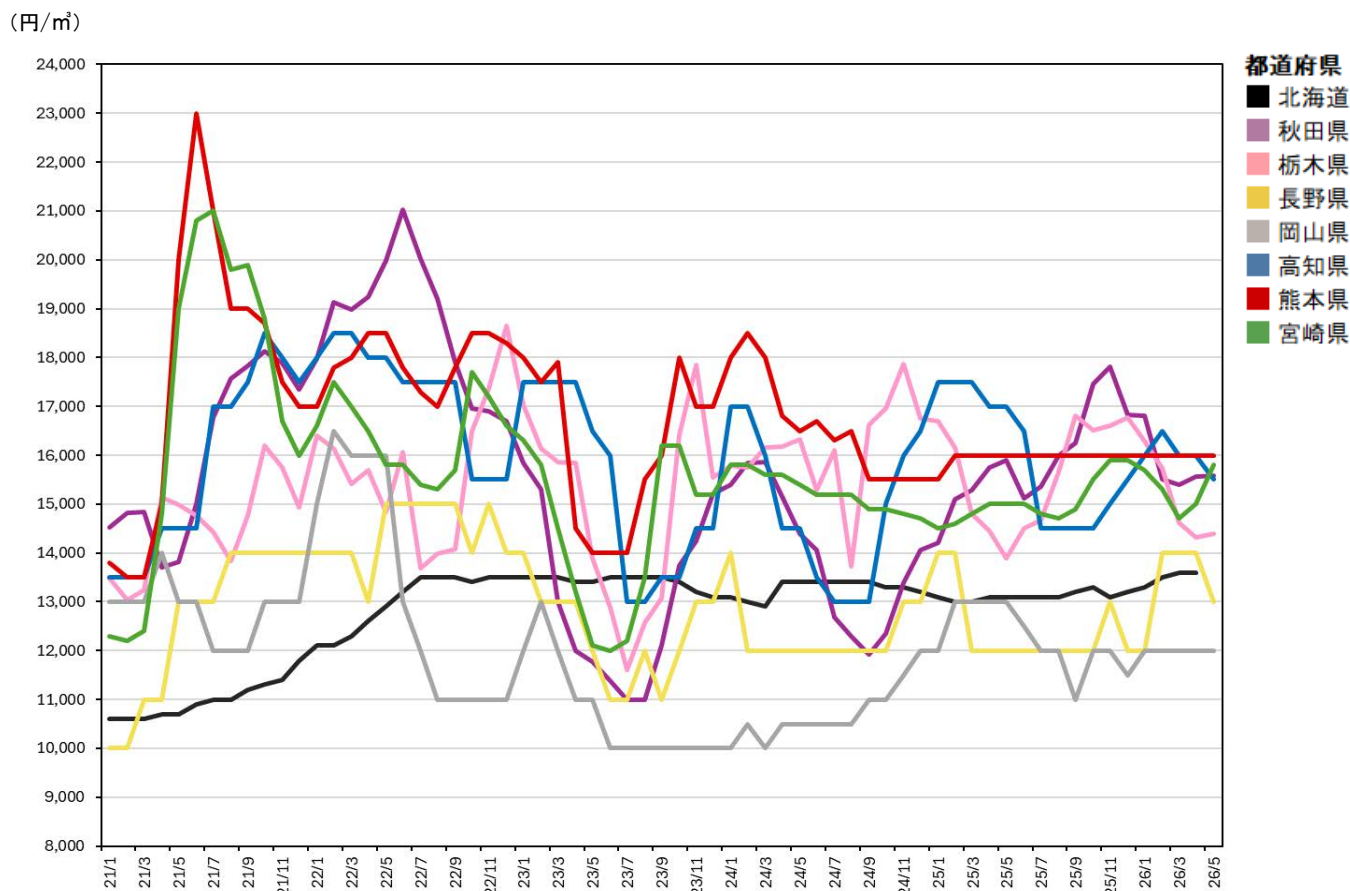


針葉樹製材輸入量の推移

資料:ITTO (Tropical Timber Market Report,Volume 30 Number 2、Number 3 を基に作成)

木材価格情報- 1 スギ原木の主要市場価格

- 全国の原木市場・共販所において、直近のスギ原木価格は、12,000円～16,000円/㎡となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

注1：北海道はカラマツ（工場着価格）。

注2：径24cm程度、長さ3.65～4.0m（2018年12月～）。

注3：都道府県が選定した特定の原木市場・共販所の価格。

(年/月)

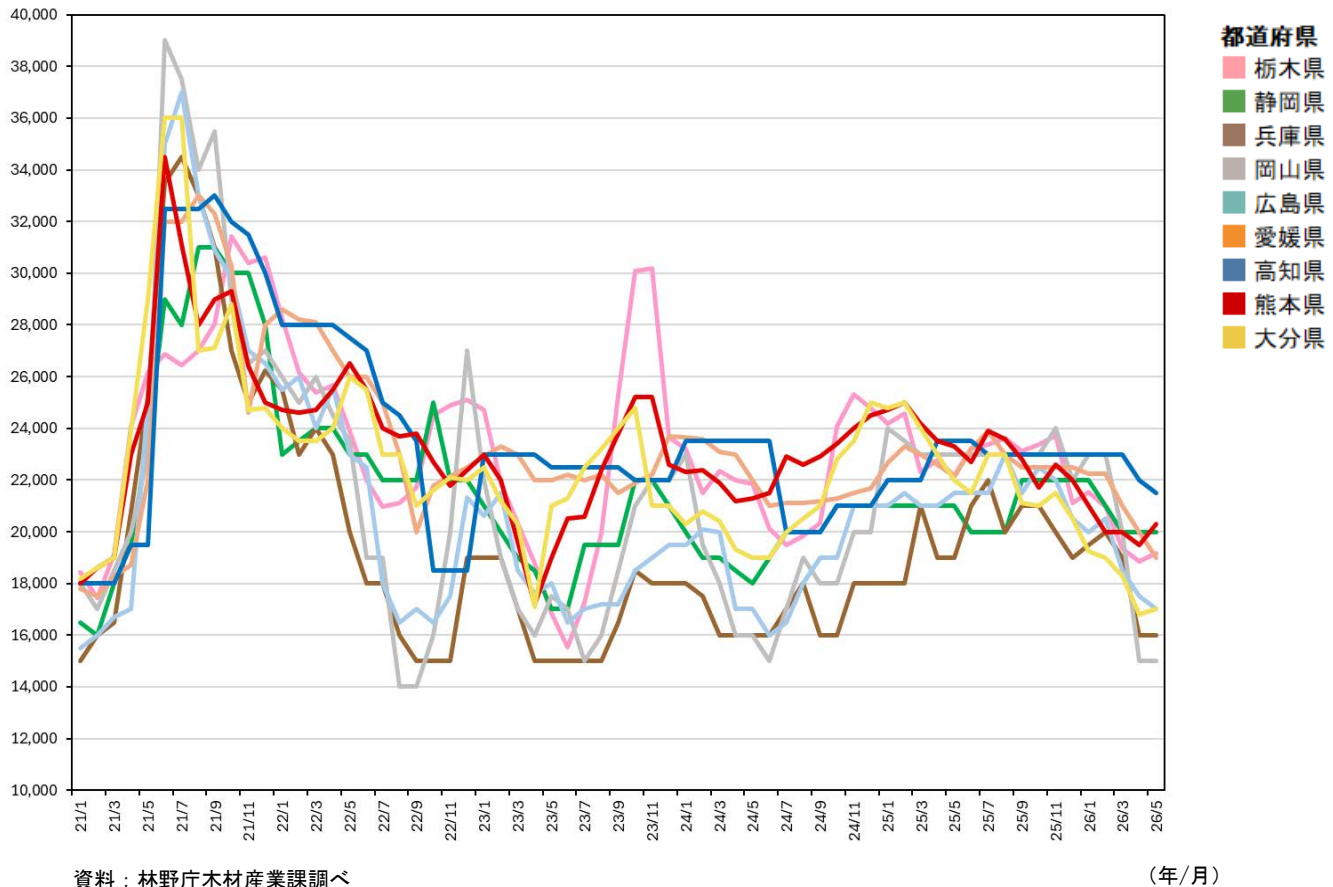
(単位：円/㎡)

都道府県	2026年直近※	前年同期	前年同期比
北海道	13,600	13,100	104%
秋田県	15,590	15,900	98%
栃木県	14,390	13,890	104%
長野県	13,000	12,000	108%
岡山県	12,000	13,000	92%
高知県	15,500	17,000	91%
熊本県	16,000	16,000	100%
宮崎県	15,800	15,000	105%

※北海道については4月、秋田県、栃木県、長野県、岡山県、高知県、熊本県及び宮崎県については5月の値を使用。

- 全国の原木市場・共販所において、直近のヒノキ原木価格は、15,000円～21,500円/㎡となっている。

(円/㎡)



(単位：円/㎡)

都道府県	2026年直近※	前年同期	前年同期比
栃木県	19,170	22,190	86%
静岡県	20,000	21,000	95%
兵庫県	16,000	19,000	84%
岡山県	15,000	23,000	65%
広島県	17,000	21,500	79%
愛媛県	19,000	22,120	86%
高知県	21,500	23,500	91%
熊本県	20,300	23,300	87%
大分県	17,000	22,000	77%

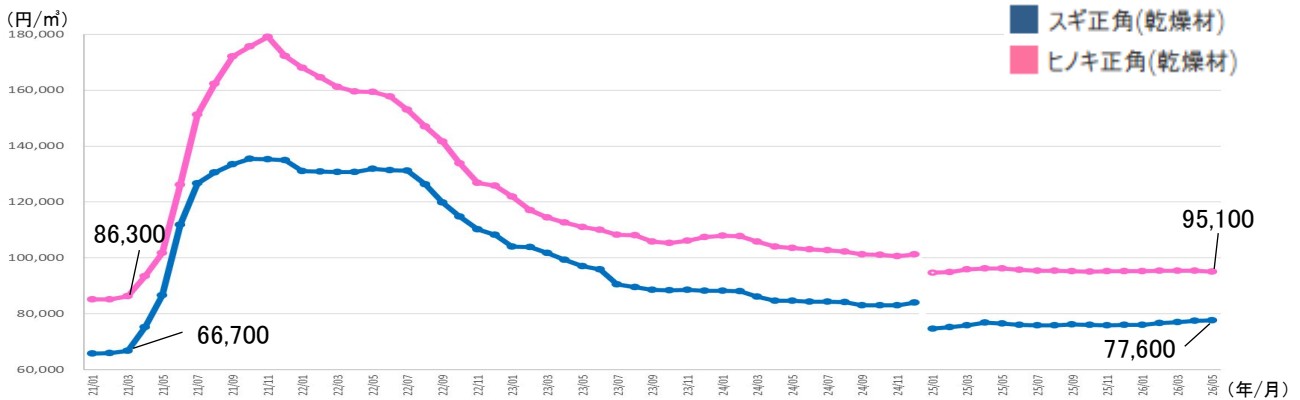
※各県5月の値を使用。

木材価格情報-2 木材価格（農林水産統計）

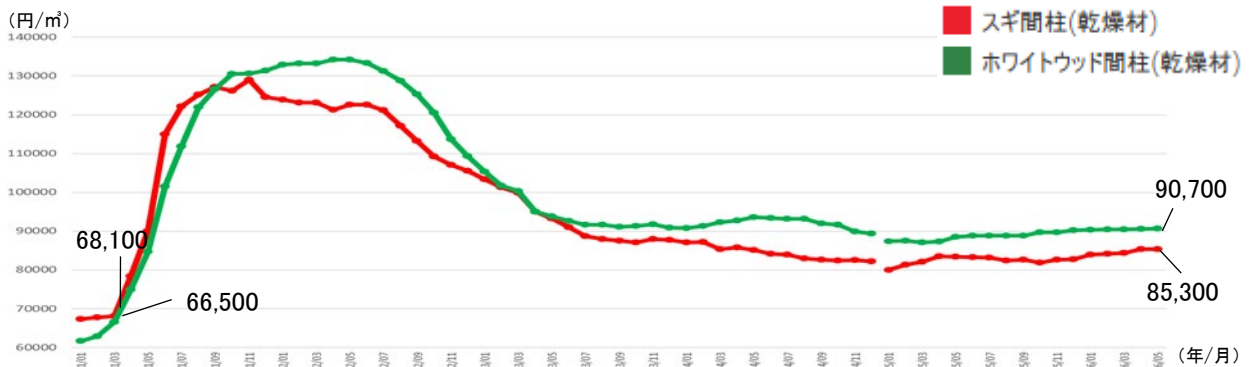
- 2026年5月の正角（乾燥材）の価格について、スギは77,600円/m³、ヒノキは95,100円/m³。
- 同月の間柱（乾燥材）の価格は、スギは85,300円/m³、ホワイトウッドは90,700円/m³。
- 2026年3月の針葉樹合板の価格は、1,510円/枚。

■主な製材品等の価格推移（全国平均価格）

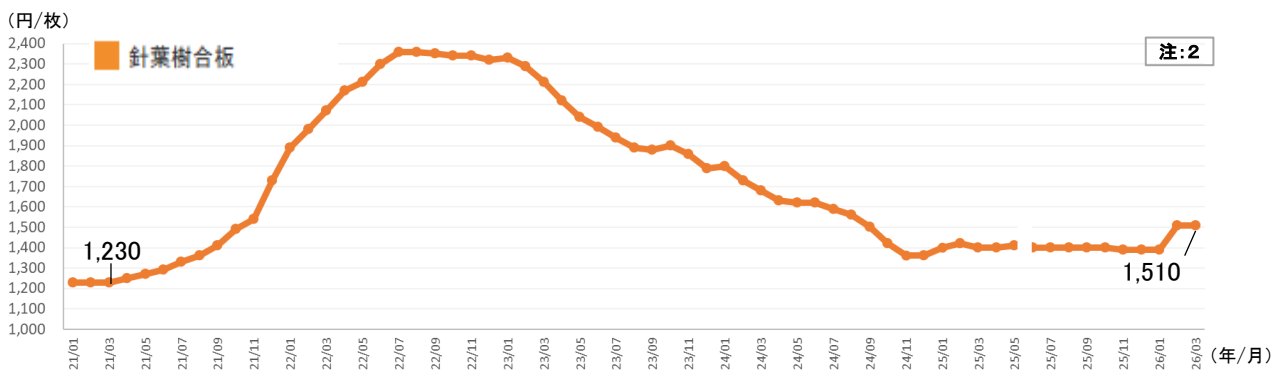
○正角（乾燥材）※厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級



○間柱（乾燥材）※厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等



○針葉樹合板 ※厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類



資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

- 注：1 2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。
- 2 針葉樹合板は、2022年1月より、四半期ごとの公表となった（4月に1～3月分、7月に4～6月分、10月に7～9月分、翌1月に10～12月分を公表）。
- 3 製材品価格及び合板価格は、木材市売市場にあたってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあたっては店頭渡し価格である。
- 4 2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）
- 5 すぎ間柱（乾燥材）の令和8年1月及び2月の全国平均価格並びに新潟県の価格は、調査対象事務所の変更に伴う影響があるため利用にあたっては留意されたい。

(1) 全国平均価格

年次	月	丸太								製材品											
		スギ		ヒノキ		カラマツ		スギ		スギ		ヒノキ		ヒノキ		スギ		ホワイトウッド			
		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		中丸太(製材用)		丸太(合板用)		正角		正角(乾燥材)		正角		正角(乾燥材)		間柱(乾燥材)		間柱(乾燥材)	
		14-22cm 3.65-4m (円/m ³)	対前 年比 (%)	14-22cm 3.65-4m (円/m ³)	対前 年比 (%)	14-28cm 3.65-4m (円/m ³)	対前 年比 (%)	18cm上	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	10.5cm角 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	30×10.5cm 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)	3.0×10.5cm 3.0m (円/m ³)	対前 年比 (%)
2023年	1	17,400	103	23,000	79	16,400	114	15,200	107	59,700	88	104,100	79	81,800	86	122,000	73	103,400	83	105,300	79
	2	17,300	98	23,000	82	16,300	112	15,200	98	59,200	90	103,800	79	80,700	86	117,100	71	101,300	82	101,700	76
	3	16,700	94	22,700	82	16,300	110	15,200	97	58,600	89	101,800	78	77,700	83	114,500	71	99,900	81	100,300	75
	4	15,800	90	21,900	81	16,200	108	15,100	94	55,500	84	99,300	76	76,600	82	112,600	71	95,000	78	95,000	71
	5	15,100	84	20,700	78	16,200	101	14,900	93	54,300	82	97,000	74	76,500	82	111,000	70	93,300	76	93,800	70
	6	14,700	83	20,600	80	16,200	94	14,800	92	50,100	76	95,900	73	75,400	82	110,100	70	91,000	74	92,600	69
	7	14,500	83	20,500	81	16,100	95	14,500	90	50,100	76	90,600	69	73,800	81	108,200	71	88,700	73	91,600	70
	8	14,400	83	20,800	87	15,400	91	14,400	91	50,000	77	89,500	71	73,100	82	108,100	74	88,000	75	91,700	71
	9	15,200	87	21,400	98	16,000	95	14,200	90	48,300	76	88,500	74	72,600	82	105,800	75	87,500	77	91,100	73
	10	15,900	88	22,600	105	15,800	93	14,200	91	50,000	81	88,400	77	72,800	84	105,400	79	87,100	80	91,300	76
	11	16,200	91	23,500	106	15,800	95	14,100	92	50,100	81	88,600	80	73,100	85	106,200	84	87,900	82	91,800	81
	12	15,900	91	23,600	107	15,800	95	14,100	92	50,100	83	88,200	81	75,400	89	107,500	85	87,700	83	90,900	83
2024年	1	16,300	94	23,400	102	15,800	96	14,100	93	54,300	91	88,200	85	77,400	95	107,900	88	87,100	84	90,800	86
	2	16,300	94	23,700	103	15,600	96	14,100	93	54,800	93	88,100	85	77,400	96	107,700	92	87,200	86	91,300	90
	3	16,400	98	23,300	103	15,300	94	13,900	91	54,800	94	86,100	85	77,400	100	105,900	92	85,400	85	92,300	92
	4	16,100	102	22,800	104	15,300	94	13,900	92	54,800	99	84,700	85	76,000	99	104,000	92	85,800	90	92,700	98
	5	16,000	106	22,300	108	15,200	94	13,900	93	54,800	101	84,600	87	76,000	99	103,600	93	85,100	91	93,600	100
	6	15,700	107	21,500	104	15,200	94	13,800	93	50,600	101	84,300	88	75,900	101	103,000	94	84,200	93	93,400	101
	7	15,600	108	21,200	103	15,200	94	13,900	96	49,500	99	84,400	93	73,900	100	102,700	95	83,900	95	93,200	102
	8	15,600	108	21,300	102	14,900	97	13,800	96	49,500	99	84,200	94	73,500	101	102,300	95	83,000	94	93,200	102
	9	15,500	102	21,600	101	15,100	94	13,700	96	49,500	102	83,100	94	73,400	101	101,200	96	82,600	94	92,000	101
	10	15,500	97	21,700	96	15,200	96	13,600	96	49,500	99	83,100	94	72,100	99	101,100	96	82,400	95	91,600	100
	11	15,500	96	21,900	93	15,200	96	13,600	96	49,500	99	83,000	94	72,100	99	100,600	95	82,500	94	89,900	98
	12	15,800	99	22,400	95	15,100	96	13,500	96	49,500	99	84,000	95	72,100	96	101,200	94	82,200	94	89,400	98
2025年	1	15,500	-	25,000	-	15,300	-	13,300	-	52,300	-	74,700	-	80,700	-	94,800	-	80,000	-	87,400	-
	2	15,500	-	25,300	-	15,400	-	13,400	-	52,600	-	75,300	-	80,500	-	94,900	-	81,300	-	87,500	-
	3	15,500	-	25,900	-	15,500	-	13,500	-	51,700	-	75,900	-	80,300	-	95,900	-	82,100	-	87,100	-
	4	15,500	-	25,700	-	15,400	-	13,500	-	54,200	-	76,900	-	82,300	-	96,300	-	83,500	-	87,300	-
	5	15,300	-	25,500	-	15,400	-	13,600	-	54,100	-	76,500	-	82,000	-	96,200	-	83,400	-	88,500	-
	6	15,200	-	25,200	-	15,400	-	13,500	-	54,100	-	76,100	-	81,500	-	95,700	-	83,300	-	88,800	-
	7	15,200	-	25,100	-	15,400	-	13,600	-	52,900	-	75,900	-	81,500	-	95,400	-	83,200	-	88,800	-
	8	15,200	-	25,600	-	15,400	-	13,600	-	52,600	-	75,900	-	81,500	-	95,400	-	82,400	-	88,800	-
	9	15,500	-	25,500	-	15,400	-	13,600	-	51,700	-	76,200	-	81,300	-	95,300	-	82,600	-	88,800	-
	10	15,400	-	25,100	-	15,500	-	13,600	-	51,300	-	76,000	-	81,300	-	95,100	-	81,900	-	89,700	-
	11	15,300	-	25,200	-	15,500	-	13,600	-	51,400	-	75,900	-	81,400	-	95,300	-	82,600	-	89,700	-
	12	15,400	-	24,800	-	15,500	-	13,700	-	51,400	-	76,000	-	81,500	-	95,300	-	82,700	-	90,200	-
2026年	1	15,400	99	24,200	97	15,600	102	13,800	104	51,400	98	76,000	102	81,400	101	95,200	100	83,900	105	90,300	103
	2	15,500	100	24,300	96	15,600	101	13,700	102	51,000	97	76,700	102	80,900	100	95,400	101	84,100	103	90,400	103
	3	15,400	99	23,600	91	15,600	101	13,800	102	51,000	99	77,000	101	80,900	101	95,400	99	84,400	103	90,500	104
	4	15,400	99	22,400	87	15,800	103	13,800	102	51,000	99	77,500	101	80,900	101	95,400	99	85,300	102	90,600	104
	5	15,400	101	21,500	84	15,900	103	13,800	101	51,000	99	77,600	101	80,900	101	95,100	99	85,300	102	90,700	102
2023年	15,800	90	22,000	88	16,000	99	14,700	94	53,000	82	94,600	76	75,800	84	110,700	74	92,600	79	94,800	74	
2024年	15,900	101	22,300	101	15,300	96	13,800	94	51,800	98	84,800	90	74,800	99	103,400	93	84,300	91	92,000	97	
2025年	15,400	-	25,300	-	15,400	-	13,500	-	52,500	-	75,900	-	81,300	-	95,500	-	82,400	-	88,600	-	
2023年	第1四半期	17,100	98	22,900	81	16,300	112	15,200	101	59,200	89	103,200	79	80,100	85	117,900	72	101,500	82	102,400	77
	第2四半期	15,200	86	21,100	80	16,200	101	14,900	93	53,300	81	97,400	74	76,200	82	111,200	70	93,100	76	93,800	70
	第3四半期	14,700	84	20,900	88	15,800	93	14,400	91	49,500	77	89,500	71	73,200	82	107,400	73	88,100	75	91,500	71
	第4四半期	16,000	90	23,200	106	15,800	94	14,100	91	50,100	82	88,400	80	73,800	86	106,400	83	87,600	82	91,300	80
2024年	第1四半期	16,300	95	23,500	103	15,600	96	14,000	92	54,600	92	87,500	85	77,400	97	107,200	91	86,600	85	91,500	89
	第2四半期	15,900	105	22,200	105	15,200	94	13,900	93	53,400	100	84,500	87	76,000	100	103,500	93	85,000	91	93,200	99
	第3四半期	15,600	106	21,400	102	15,100	96	13,800	96	49,500	100	83,900	94	73,600	101	102,100	95	83,200	94	92,800	101
	第4四半期	15,600	98	22,000	95	15,200	96	13,600	96	49,500	99	83,400	94	72,100	98	101,000	95	82,400	94	90,300	99
2025年	第1四半期	15,500	-	25,400	-	15,400	-	13,400	-	52,200	-	75,300	-	80,500	-	95,200	-	81,100	-	87,300	-
	第2四半期	15,300	-	25,500	-	15,400	-	13,500	-	54,100	-	76,500	-	81,90							

年次	月	構造用集成材						合板		チップ							
		スギ集成管柱 国産、無化粧			ホワイウッド集成管柱 国産、無化粧			針葉樹合板		チップ用素材(丸太)				木材チップ			
		10.5角×2.98~3m JAS (参考値:注5)			10.5角×2.98~3m JAS (参考値:注5)			1.2×91.0cm		針葉樹		広葉樹		針葉樹		広葉樹	
		(円/m ³)	(円/本)	対前年比(%)	(円/m ³)	(円/本)	対前年比(%)	1.82m(円/枚)	対前年比(%)	(円/m ²)	対前年比(%)	(円/m ²)	対前年比(%)	(円/ト)	対前年比(%)	(円/ト)	対前年比(%)
2023年	1	93,726	3,100	84	99,773	3,300	63	2,330	123	7,200	107	9,900	104	15,900	106	20,400	105
	2	90,703	3,000	79	93,726	3,100	60	2,290	116	7,300	109	9,900	103	15,900	106	20,400	105
	3	84,656	2,800	76	87,680	2,900	57	2,210	107	7,200	106	9,900	103	15,900	105	20,400	105
	4	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	2,120	98	7,500	109	9,800	101	16,700	110	20,900	107
	5	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	2,040	92	7,400	106	9,900	102	16,900	110	21,100	107
	6	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	1,990	87	7,400	106	9,900	101	16,900	110	21,100	107
	7	81,633	2,700	73	78,609	2,600	55	1,940	82	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	107
	8	81,633	2,700	73	78,609	2,600	57	1,890	80	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	106
	9	81,633	2,700	73	78,609	2,600	59	1,880	80	7,500	104	10,000	102	17,000	111	21,100	106
	10	81,633	2,700	77	78,609	2,600	63	1,900	81	7,600	107	10,000	102	17,100	110	21,100	106
	11	81,633	2,700	79	81,633	2,700	68	1,860	79	7,500	104	10,000	101	17,100	109	21,200	105
	12	81,633	2,700	82	81,633	2,700	77	1,790	77	7,600	107	10,000	101	17,200	109	21,200	104
2024年	1	81,633	2,700	87	81,633	2,700	82	1,800	77	7,700	107	10,100	102	17,200	108	21,200	104
	2	81,633	2,700	90	81,633	2,700	87	1,730	76	7,700	105	10,100	102	17,300	109	21,200	104
	3	81,633	2,700	96	81,633	2,700	93	1,680	76	7,700	107	10,100	102	17,300	109	21,200	104
	4	84,656	2,800	104	81,633	2,700	104	1,630	77	7,700	103	10,100	103	17,400	104	21,700	104
	5	84,656	2,800	104	81,633	2,700	104	1,620	79	7,600	103	10,100	102	17,700	105	21,900	104
	6	84,656	2,800	104	84,656	2,800	108	1,620	81	7,800	105	10,200	103	17,800	105	22,000	104
	7	84,656	2,800	104	84,656	2,800	108	1,590	82	7,800	104	10,200	102	17,800	105	22,000	104
	8	84,656	2,800	104	84,656	2,800	108	1,560	83	7,700	103	10,100	101	17,900	105	22,100	105
	9	84,656	2,800	104	84,656	2,800	108	1,500	80	7,900	105	10,100	101	17,900	105	22,200	105
	10	81,633	2,700	100	84,656	2,800	108	1,420	75	7,800	103	10,200	102	18,200	106	22,200	105
	11	81,633	2,700	100	81,633	2,700	100	1,360	73	7,800	104	10,200	102	18,200	106	22,300	105
	12	81,633	2,700	100	81,633	2,700	100	1,360	76	7,800	103	10,200	102	18,200	106	22,300	105
2025年	1	69,539	2,300	注3)	81,633	2,700	注3)	1,400	注3)	7,800	注3)	10,500	注3)	17,900	注3)	21,900	注3)
	2	69,539	2,300	-	81,633	2,700	-	1,420	-	7,800	-	10,500	-	18,000	-	22,200	-
	3	69,539	2,300	-	84,656	2,800	-	1,400	-	7,700	-	10,500	-	18,000	-	22,200	-
	4	69,539	2,300	-	84,656	2,800	-	1,400	-	7,800	-	10,600	-	18,100	-	22,600	-
	5	69,539	2,300	-	84,656	2,800	-	1,410	-	7,800	-	10,600	-	18,300	-	23,100	-
	6	69,539	2,300	-	84,656	2,800	-	1,400	-	7,800	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	7	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,400	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	8	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,400	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	9	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,400	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	10	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,400	-	7,800	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	11	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,390	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	12	69,539	2,300	-	90,703	3,000	-	1,390	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
2026年	1	69,539	2,300	100	90,703	3,000	111	1,390	99	7,900	101	10,700	102	18,400	103	23,300	106
	2	69,539	2,300	100	90,703	3,000	111	1,510	106	7,900	101	10,700	102	18,400	102	23,200	105
	3	69,539	2,300	100	90,703	3,000	107	1,510	108	7,900	103	10,700	102	18,300	102	23,200	105
	4	69,539	2,300	100	93,726	3,100	111	注3)	注3)	7,900	101	10,800	102	18,400	102	23,300	103
	5	72,562	2,400	104	93,726	3,100	111	注3)	注3)	7,900	101	10,800	102	18,600	102	23,500	102
2023年		84,656	2,800	76	81,633	2,700	57	2,020	91	7,400	106	9,900	102	16,700	109	20,900	106
2024年		84,656	2,800	100	81,633	2,700	100	1,570	78	7,800	105	10,100	102	17,700	106	21,900	105
2025年		69,539	2,300	注3)	84,656	2,800	注3)	1,400	注3)	7,800	注3)	10,600	注3)	18,200	注3)	22,900	注3)
2023年	第1四半期	90,703	3,000	81	93,726	3,100	60	2,280	115	7,200	107	9,900	103	15,900	106	20,400	105
	第2四半期	81,633	2,700	71	78,609	2,600	51	2,050	92	7,400	106	9,900	102	16,800	110	21,000	107
	第3四半期	81,633	2,700	73	78,609	2,600	51	1,900	81	7,500	106	10,000	102	17,000	111	21,100	106
	第4四半期	81,633	2,700	79	81,633	2,700	69	1,850	79	7,600	107	10,000	101	17,100	109	21,200	105
2024年	第1四半期	81,633	2,700	90	81,633	2,700	87	1,740	76	7,700	107	10,100	102	17,300	109	21,200	104
	第2四半期	84,656	2,800	104	81,633	2,700	104	1,620	79	7,700	104	10,100	102	17,600	105	21,900	104
	第3四半期	84,656	2,800	104	84,656	2,800	108	1,550	82	7,800	104	10,100	101	17,900	105	22,100	105
	第4四半期	81,633	2,700	100	81,633	2,700	100	1,380	75	7,800	103	10,200	102	18,200	106	22,300	105
2025年	第1四半期	69,539	2,300	注3)	81,633	2,700	注3)	1,410	注3)	7,800	注3)	10,500	注3)	18,000	注3)	22,100	注3)
	第2四半期	69,539	2,300	-	84,656	2,800	-	1,400	-	7,800	-	10,600	-	18,200	-	23,000	-
	第3四半期	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,400	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
	第4四半期	69,539	2,300	-	87,680	2,900	-	1,390	-	7,900	-	10,600	-	18,300	-	23,200	-
2026年	第1四半期	69,539	2,300	100	90,703	3,000	111	1,470	104	7,900	101	10,700	102	18,400	102	23,200	105

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

- 注：1 2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。このため、2025年の対前年比(%)は算出できないため、「-」としている。
- 2 構造用集成材価格、木材チップ用丸太価格及び木材チップ価格は、それぞれ集成管柱工場から販売先への出荷時の販売価格、木材チップ工場における工場着購入価格、パルプ向けチップ工場における工場渡し価格である。
- 3 2022年1月より、四半期ごとの公表となった(4月に1~3月分、7月に4~6月分、10月に7~9月分、翌1月に10~12月分を公表)。
- 4 合板価格は、木材市売市場にあってはせり又は入札による取引価格、木材センター及び木材販売業者にあっては店頭渡し価格である。
- 5 構造用集成材のm²当たりの価格は、1本を0.033075m³に換算して算出した。
- 6 2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。(速報値は今後修正される可能性がある)

(2) 都道府県別価格

○スギ中丸太（製材用、径14.0～22.0cm、長3.65～4.0m）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	12,000	12,300	12,300	12,200	12,200	13,100	12,800	12,800	12,700	12,800	13,300	13,200
岩手	14,400	14,100	14,100	14,100	14,100	14,100	14,200	14,200	14,000	14,000	14,000	14,400
宮城	13,200	13,200	13,200	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300
秋田	13,700	14,000	14,400	14,500	14,600	14,600	14,600	14,800	14,900	15,000	15,100	15,200
山形	11,800	11,900	12,000	12,400	12,300	12,300	12,100	12,200	12,200	11,700	11,800	12,300
福島	12,700	12,500	11,900	11,900	11,900	11,800	11,800	11,800	11,800	12,100	12,200	12,200
茨城	15,300	14,100	14,300	14,300	14,300	14,200	14,200	14,300	14,800	14,900	15,400	15,400
栃木	16,300	16,800	17,100	16,300	16,000	15,500	15,700	15,700	16,200	16,000	16,000	15,800
岐阜	18,100	18,100	18,100	18,600	18,600	18,600	18,400	18,400	18,400	18,500	18,500	18,500
静岡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三重	19,400	19,800	20,200	20,600	20,600	20,600	19,100	19,400	19,400	19,400	19,400	19,400
奈良	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
岡山	15,100	15,000	13,900	13,900	13,400	13,400	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
徳島	18,700	19,000	19,200	19,200	19,200	19,200	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500
愛媛	15,200	15,400	16,200	16,300	16,600	16,200	16,300	16,300	16,300	16,300	16,100	16,200
高知	16,200	16,300	16,300	16,300	16,100	16,100	15,400	15,400	15,400	15,300	15,300	15,300
佐賀	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
熊本	17,200	17,500	17,400	17,700	17,200	16,700	16,900	17,100	20,400	19,500	18,200	18,000
大分	16,000	16,000	15,800	15,900	15,700	16,100	16,100	15,800	15,700	15,200	15,300	15,900
宮崎	16,200	16,200	16,200	16,100	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	15,500
鹿児島	17,300	17,100	17,100	17,100	16,900	16,700	16,600	16,300	16,400	16,500	16,600	16,600

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
青森	13,600	13,600	13,500	13,300	13,300
岩手	14,600	14,800	14,700	15,000	14,500
宮城	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300
秋田	15,200	15,100	15,000	14,800	14,700
山形	12,200	12,300	12,500	11,900	11,900
福島	12,300	12,400	12,200	12,100	12,300
茨城	15,400	15,300	15,300	15,200	15,200
栃木	15,900	16,000	15,900	15,600	15,800
岐阜	18,400	18,400	18,400	18,400	18,200
静岡	—	—	—	—	—
三重	19,400	19,100	19,100	18,700	15,000
奈良	—	—	—	—	—
岡山	12,400	12,400	12,400	12,400	12,400
徳島	19,300	19,200	19,200	19,200	19,200
愛媛	16,100	16,100	16,200	16,200	16,300
高知	15,300	15,500	15,500	15,600	15,700
佐賀	—	—	—	—	—
熊本	18,400	18,500	18,100	18,300	18,800
大分	15,700	16,400	16,200	16,300	16,100
宮崎	15,400	15,400	15,500	15,600	15,600
鹿児島	16,500	16,300	16,300	16,300	16,400

○カラマツ中丸太（製材用、径14.0～28.0cm、長3.65～4.0m）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	14,300	14,400	14,500	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
岩手	24,000	24,000	24,200	24,400	24,400	24,400	24,400	24,400	24,400	25,200	25,200	25,700
長野	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	14,500	14,500	14,500	14,800	14,900
岩手	25,700	25,700	25,700	25,200	25,100
長野	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○ヒノキ中丸太（製材用、径14.0~22.0cm、長3.65~4.0m）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
福島	20,400	21,200	26,300	26,100	25,800	25,800	25,800	25,200	25,200	25,200	25,200	23,000
茨城	24,900	25,300	25,600	25,600	25,600	25,600	25,600	25,300	25,300	25,000	23,900	23,000
栃木	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜	24,300	24,600	24,700	24,900	24,900	24,900	24,700	24,700	24,700	24,500	24,800	24,800
静岡	25,000	23,200	23,800	23,900	24,500	24,000	23,700	23,400	23,300	24,300	25,000	24,800
愛知	24,400	24,100	24,200	23,700	23,600	23,200	23,200	23,400	23,400	23,400	23,700	23,700
三重	25,300	25,800	26,100	26,400	26,400	26,400	25,000	25,500	27,200	27,700	27,700	27,700
兵庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山	23,800	24,400	25,400	24,300	23,900	24,400	24,900	24,800	24,900	24,900	25,000	24,600
広島	26,400	26,500	26,800	26,600	25,800	25,000	25,200	25,800	25,700	25,500	25,600	23,900
徳島	22,600	22,600	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200	23,200
愛媛	24,600	26,000	26,500	26,500	26,500	24,500	24,500	26,500	26,800	25,300	25,200	25,100
高知	25,500	25,800	25,900	26,700	26,900	26,800	26,200	26,300	26,200	26,100	26,000	25,800
福岡	26,500	26,700	27,000	25,800	25,200	24,900	24,800	25,400	24,200	23,800	24,800	23,200
佐賀	21,600	23,100	23,700	23,700	23,700	23,800	23,200	23,200	23,300	23,200	23,200	23,200
熊本	28,500	28,000	27,900	26,500	26,200	26,400	26,600	27,600	26,600	25,800	26,300	26,200
大分	27,500	27,500	27,500	27,100	26,200	25,000	25,100	25,900	25,900	24,800	25,600	24,900
宮崎	22,000	22,700	24,400	24,400	24,100	24,200	24,400	24,600	24,400	23,800	23,800	23,600

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
福島	22,300	22,300	22,300	22,100	22,100
茨城	22,500	22,500	22,300	22,000	21,800
栃木	-	-	-	-	-
岐阜	24,800	24,800	24,400	24,200	24,000
静岡	24,800	24,600	24,400	23,700	22,500
愛知	23,700	23,700	23,700	23,700	22,600
三重	27,800	27,500	27,500	27,200	24,200
兵庫	-	-	-	-	-
奈良	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-
岡山	24,000	25,800	22,600	18,800	18,300
広島	24,000	25,400	23,100	19,100	18,100
徳島	23,200	23,200	23,200	22,600	22,600
愛媛	24,700	24,300	23,700	23,100	21,100
高知	25,500	25,300	25,300	24,900	23,200
福岡	21,600	21,200	21,500	19,400	19,300
佐賀	23,200	22,500	22,500	22,100	20,800
熊本	24,100	23,700	23,500	22,200	21,800
大分	23,900	23,500	22,600	21,600	21,400
宮崎	23,200	22,900	22,600	20,500	19,800

○スギ丸太（合板用、径18.0cm上）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
青森	12,300	12,300	12,300	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700	13,300
岩手	10,800	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200
宮城	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
秋田	14,300	14,300	14,300	14,200	14,200	14,300	14,300	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200
石川	14,000	14,000	14,000	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	14,700	14,700	14,700
静岡	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500	14,600	16,000	16,400	16,500	16,500	16,200	15,900
鳥取	12,700	12,800	12,900	13,200	14,500	14,500	14,500	14,300	14,200	14,000	13,900	14,000
島根	14,700	14,800	15,000	14,800	15,200	14,800	14,800	14,900	15,000	15,000	15,000	15,200
広島	13,200	13,200	13,200	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800
徳島	14,800	14,800	14,800	14,900	15,200	15,200	15,600	15,200	15,200	15,800	15,600	15,500
熊本	14,000	14,200	14,100	14,200	13,900	13,900	13,600	13,700	13,700	14,000	13,800	14,000
大分	14,000	14,900	15,200	14,300	14,300	13,800	13,800	14,000	13,800	13,800	13,800	14,300
宮崎	15,600	15,500	15,500	15,500	15,400	15,200	15,200	15,200	15,100	15,400	15,400	15,500

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
青森	13,300	13,300	13,300	13,300	13,300
岩手	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200
宮城	12,100	12,100	12,100	12,100	12,100
秋田	14,200	14,200	14,200	14,200	14,200
石川	14,700	14,700	14,700	14,700	14,700
静岡	15,900	15,700	15,700	15,700	15,700
鳥取	14,600	13,800	14,100	14,200	14,300
島根	15,000	15,200	15,000	14,900	14,900
広島	13,800	13,800	13,800	13,800	13,800
徳島	15,500	15,700	16,000	15,900	15,800
熊本	13,800	13,800	14,400	14,400	14,400
大分	14,900	14,900	14,900	14,900	14,900
宮崎	15,700	16,000	15,700	16,100	16,300

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○スギ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2025年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉			—			—			—			—
東京			—			—			—			—
愛知			66,100			66,100			66,100			66,100
大阪			66,000			62,700			62,700			66,000
福岡			56,900			58,200			53,000			53,000
佐賀			58,000			58,000			56,000			55,000
熊本			51,300			51,200			51,400			50,400
宮崎			46,300			50,700			47,200			47,200

単位：円/m³

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
千葉			—		
東京			—		
愛知			66,100		
大阪			66,000		
福岡			53,100		
佐賀			55,100		
熊本			50,700		
宮崎			46,300		

○スギ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2025年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
群馬	59,300	59,400	60,100	60,700	64,800	61,400	61,400	63,100	63,100	61,400	60,100	60,100
埼玉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
千葉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
東京	74,500	76,200	76,200	76,200	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000
神奈川	85,500	86,200	88,600	88,900	88,900	88,900	89,300	89,300	89,300	89,300	89,300	89,300
愛知	85,700	85,700	85,700	85,900	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100
大阪	77,600	77,600	77,600	80,500	80,500	80,300	80,300	80,300	80,300	80,500	80,500	80,800
兵庫	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福岡	70,600	72,200	74,600	74,700	74,900	74,600	74,600	74,600	74,600	74,600	74,600	74,700
佐賀	83,000	84,900	85,800	86,100	86,100	86,200	86,200	85,200	85,300	85,300	86,100	86,100
熊本	68,800	68,800	68,500	71,800	71,800	71,800	71,800	71,800	74,300	73,600	73,600	73,600
宮崎	69,300	69,300	70,600	71,900	68,100	67,900	67,000	67,000	67,000	67,000	67,000	67,000

単位：円/m³

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
群馬	60,300	62,300	62,000	62,000	62,400
埼玉	—	—	—	—	—
千葉	—	—	—	—	—
東京	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000
神奈川	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900
愛知	86,100	86,100	86,100	86,100	86,100
大阪	80,800	80,800	82,700	82,900	82,900
兵庫	—	—	—	—	—
福岡	74,700	74,700	76,300	76,300	76,300
佐賀	86,300	87,900	87,900	88,800	88,800
熊本	73,600	75,100	75,600	77,400	78,100
宮崎	67,000	67,000	67,000	67,300	67,300

○ヒノキ正角（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2025年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉			—			—			—			—
東京			—			—			—			—
愛知			88,000			88,000			88,000			88,000
大阪			81,300			85,600			85,600			86,800
兵庫			—			—			—			—
福岡			72,200			75,300			75,200			75,200
熊本			68,800			69,400			69,800			70,500
宮崎			76,800			78,100			77,400			77,400

単位：円/m³

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
千葉			—		
東京			—		
愛知			88,000		
大阪			86,800		
兵庫			—		
福岡			75,200		
熊本			69,400		
宮崎			75,800		

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○ヒノキ正角・乾燥材（厚10.5cm、幅10.5cm、長3.0m、2級）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
群馬	66,900	75,200	75,200	77,700	79,400	79,400	80,900	80,900	80,900	80,900	80,900	80,900
埼玉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京	106,400	106,400	106,400	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100	108,100
神奈川	111,100	111,900	112,200	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400	112,400
愛知	94,200	94,200	94,700	94,400	94,400	94,400	93,900	93,900	93,900	93,900	94,100	94,100
大阪	93,500	93,500	97,800	100,400	100,400	97,800	97,800	97,800	97,800	97,800	97,800	97,800
兵庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	89,500	91,200	92,900	93,900	93,900	93,900	92,200	92,200	90,500	90,500	90,500	90,500
佐賀	79,600	93,200	93,200	85,400	85,400	86,100	83,800	83,800	81,900	81,900	81,900	81,900
熊本	84,100	84,100	84,200	85,900	85,900	85,900	85,900	85,900	86,900	86,900	87,300	87,300
宮崎	104,300	101,800	102,800	104,300	102,300	100,800	100,800	100,800	100,000	98,500	98,500	98,500

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
群馬	82,000	82,000	82,000	80,900	80,900
埼玉	-	-	-	-	-
千葉	-	-	-	-	-
東京	108,100	107,400	107,400	107,400	108,100
神奈川	111,000	111,000	111,000	111,000	111,000
愛知	94,100	94,100	94,100	94,100	94,100
大阪	97,800	97,800	97,800	97,800	96,100
兵庫	-	-	-	-	-
福岡	90,500	90,500	90,500	90,500	88,000
佐賀	81,900	96,100	96,100	96,100	96,100
熊本	87,200	87,200	87,200	87,900	87,900
宮崎	98,500	98,500	98,500	98,700	98,700

○スギ間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
群馬	64,300	65,300	65,300	71,100	68,900	68,900	68,900	71,100	68,900	68,500	68,500	68,900
埼玉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200	76,200
神奈川	119,500	120,500	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600	121,600
新潟	89,000	89,000	89,000	89,000	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900	88,900	89,000
愛知	86,400	86,400	86,500	86,300	86,500	86,500	86,500	86,500	86,500	86,500	86,700	86,700
大阪	88,200	88,200	88,200	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500	88,500
兵庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	74,700	76,700	78,000	78,100	78,400	78,100	78,100	78,100	78,100	78,100	78,100	78,100
佐賀	85,400	85,500	88,300	90,300	90,300	90,300	90,300	87,500	87,400	85,600	87,700	87,700
熊本	68,700	68,700	69,300	71,600	71,600	71,700	71,700	71,700	74,300	73,900	75,500	75,500
宮崎	65,400	73,900	73,900	74,600	73,900	73,100	72,400	72,400	72,400	72,400	72,400	73,100

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
群馬	70,200	71,700	71,700	71,000	71,000
埼玉	-	-	-	-	-
千葉	-	-	-	-	-
東京	76,200	76,200	76,200	76,500	76,500
神奈川	122,200	122,200	122,200	122,200	122,200
新潟	注2) 113,700	注2) 78,100	84,400	84,400	84,400
愛知	86,700	86,700	86,700	86,700	86,700
大阪	88,300	88,300	88,300	88,500	88,500
兵庫	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-
福岡	78,100	78,700	80,000	81,300	81,300
佐賀	88,800	90,000	89,900	90,800	90,800
熊本	77,800	80,400	80,400	83,000	83,100
宮崎	73,100	73,100	73,100	75,100	75,100

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：すぎ間柱（乾燥材）の令和8年1月及び2月の新潟県の価格は、調査対象事務所の変更に伴う影響があるため利用にあたっては留意されたい。

注3：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○ホワイトウッド間柱・乾燥材（厚3.0cm、幅10.5cm、長3.0m、特等）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
埼玉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京	95,400	95,700	94,300	94,600	94,800	95,100	95,100	95,100	95,100	95,100	95,100	95,100
神奈川	102,900	103,200	103,200	103,200	103,200	104,600	104,600	104,500	104,500	105,900	105,900	105,900
愛知	85,200	84,500	84,500	85,000	85,500	86,600	87,000	87,000	87,000	87,500	87,500	87,500
大阪	79,200	79,300	79,300	79,300	81,500	81,500	81,500	81,500	81,500	82,600	82,600	83,700
兵庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡	85,700	85,700	85,700	85,700	85,700	79,200	79,200	81,400	81,400	82,200	82,200	82,200

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
埼玉	-	-	-	-	-
千葉	-	-	-	-	-
東京	95,100	95,100	95,400	95,400	95,400
神奈川	105,900	105,900	105,900	105,900	105,900
愛知	88,000	89,200	89,300	89,700	91,400
大阪	83,700	83,700	83,700	83,700	83,700
兵庫	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-
福岡	84,400	86,400	88,000	88,000	88,000

○スギ集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2025年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岩手	3,500	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
秋田	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,200	2,200	2,200	2,300
福島	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
茨城	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
栃木	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100
広島	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
愛媛	2,300	2,300	2,300	2,300	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
佐賀	2,200	2,200	2,200	2,200	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
宮崎	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
岩手	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
秋田	-	-	-	-	-
山形	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
福島	2,200	2,300	2,300	2,300	2,300
茨城	2,300	2,300	2,300	2,300	2,400
栃木	2,100	2,100	2,100	2,100	2,400
広島	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300
愛媛	2,400	2,500	2,500	2,500	2,500
佐賀	2,300	2,300	2,300	2,400	2,300
宮崎	2,300	2,300	2,300	2,300	2,400

○ホワイトウッド集成管柱（厚10.5cm、幅10.5cm、長2.98~3.0m、1等）

・2025年

単位：円/本

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
秋田	2,800	2,800	2,800	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	2,900	2,900	2,900
兵庫	2,600	2,600	2,600	2,700	2,700	2,700	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
奈良	2,600	2,600	2,700	2,800	2,800	2,800	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900
岡山	2,800	2,800	2,900	2,900	2,900	2,900	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,100
愛媛	2,600	2,600	2,600	2,600	2,700	2,700	2,700	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
秋田	3,000	2,800	2,800	2,900	3,000
兵庫	2,800	2,800	2,900	2,900	2,900
奈良	2,900	2,900	2,900	3,000	3,000
岡山	3,100	3,100	3,100	3,200	3,200
愛媛	2,800	2,800	2,800	-	-

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注3：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○針葉樹合板（厚1.2cm、幅91.0cm、長1.82m、1類）

・2025年

単位：円/枚

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
群馬			1,320			1,380			1,380			1,380
埼玉			-			-			-			-
東京			1,360			1,430			1,440			1,440
神奈川			1,350			1,380			1,390			1,390
新潟			2,300			1,550			1,580			1,550
愛知			1,260			1,390			1,420			1,410
大阪			1,240			1,330			1,340			1,310
佐賀			1,330			1,330			1,330			1,330
熊本			1,520			1,520			1,370			1,370
宮崎			1,460			1,430			1,430			1,420

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
群馬			1,380		
埼玉			-		
東京			1,450		
神奈川			1,400		
新潟			1,490		
愛知			1,370		
大阪			1,290		
佐賀			1,750		
熊本			1,370		
宮崎			1,420		

○チップ用丸太（針葉樹）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	8,200	8,200	8,200	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400
青森	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
岩手	8,800	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400	8,400
宮城	7,100	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
秋田	7,900	8,100	8,100	8,100	8,100	8,100	8,300	8,400	8,100	8,100	8,100	8,100
山形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,100	7,200	7,200	7,100	7,200	7,100
茨城	8,400	8,400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
山梨	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野	7,600	7,600	7,600	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900
岐阜	9,300	10,500	9,200	9,300	9,700	9,700	10,200	10,600	9,900	9,800	9,900	10,000
三重	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	9,600	9,600	9,100	9,200	9,200	9,200	9,400	9,400	9,400	9,400	9,400	9,400
鳥取	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
島根	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900
高知	5,600	5,600	5,600	5,700	5,600	5,700	5,500	5,500	5,700	5,500	5,800	5,800
熊本	8,900	9,200	8,900	8,700	8,800	8,900	9,100	9,300	9,000	9,100	9,300	9,700
大分	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
宮崎	7,200	7,200	7,200	7,200	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
鹿児島	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900	9,000	9,000	9,000	9,100	9,000

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	8,500	8,400	8,500	8,600	8,600
青森	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
岩手	8,500	8,500	8,500	8,500	8,500
宮城	7,300	7,300	7,300	7,300	7,300
秋田	8,100	8,100	8,100	8,100	8,100
山形	-	-	-	-	-
福島	7,100	7,100	7,200	7,100	7,200
茨城	-	-	-	-	-
栃木	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
山梨	-	-	-	-	-
長野	7,900	7,900	7,900	7,900	7,900
岐阜	9,800	9,900	9,700	10,000	10,200
三重	6,800	6,800	6,800	6,800	6,800
京都	-	-	-	-	-
兵庫	9,500	9,500	9,400	9,400	9,400
鳥取	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
島根	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-
徳島	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900
高知	5,700	5,700	5,800	5,800	5,700
熊本	9,400	9,400	9,100	9,500	9,000
大分	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
宮崎	7,500	7,500	7,500	7,600	7,600
鹿児島	9,000	9,000	9,100	9,000	8,900

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○チップ用丸太（広葉樹）

・2025年

単位：円/m³

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	10,200	10,200	10,200	10,200	10,200	10,200	10,200
青森	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900
岩手	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300
宮城	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
秋田	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	12,700	12,700	12,700	12,700
山形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島	9,700	9,800	9,900	9,900	9,900	9,600	10,000	10,100	10,300	10,300	10,100	10,000
群馬	11,000	10,800	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
山梨	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
京都	8,300	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
鳥取	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900	12,000	12,000	12,700	12,700
島根	12,000	11,900	11,000	11,500	12,100	12,000	12,100	12,100	11,700	11,900	12,100	12,100
岡山	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
広島	6,700	7,200	7,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200
山口	11,000	11,100	11,100	11,000	10,600	10,800	10,900	10,900	11,100	10,800	10,900	10,500
熊本	8,800	8,200	8,000	8,000	8,100	8,600	8,500	8,400	8,200	8,300	8,300	8,600
宮崎	12,800	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
鹿児島	9,100	9,100	9,200	9,100	9,100	9,100	9,100	9,100	9,100	9,000	9,100	9,200

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	10,300	10,300	10,300	10,800	10,800
青森	11,900	11,900	11,900	11,900	11,900
岩手	12,300	12,300	12,300	12,300	12,300
宮城	9,600	9,600	9,600	9,600	9,500
秋田	12,700	12,700	12,700	12,700	12,700
山形	-	-	-	-	-
福島	10,200	10,100	10,300	10,000	10,100
群馬	9,700	9,700	9,700	9,700	9,700
山梨	9,600	9,600	9,600	9,600	9,600
京都	9,900	9,900	9,900	9,900	9,900
鳥取	12,700	12,700	12,100	12,100	12,000
島根	12,100	12,200	12,100	12,000	12,000
岡山	8,900	8,900	8,900	8,900	8,900
広島	8,200	8,200	8,200	8,200	8,300
山口	10,700	11,200	11,200	10,900	11,000
熊本	8,200	8,000	8,100	8,100	8,500
宮崎	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
鹿児島	9,400	9,400	9,400	9,400	9,400

資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

○木材チップ（針葉樹）

・2025年

単位：円/t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	17,900	17,900	17,900	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200
青森	17,600	17,600	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400	18,400
岩手	20,400	20,400	20,500	20,500	20,500	20,500	20,500	20,600	20,700	20,700	20,700	20,700
宮城	21,700	21,800	21,800	21,300	21,300	21,300	21,300	21,300	21,400	21,400	21,400	21,300
秋田	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300	16,400	16,400	16,100	16,100	16,100	16,100
山形	11,100	10,700	11,000	11,800	11,900	11,800	11,900	11,900	11,800	11,900	11,900	11,900
福島	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300	16,300
茨城	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木	14,700	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200
富山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨	18,500	18,500	18,500	18,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,500	19,400	19,400	19,400
長野	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100
静岡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,000	21,100	21,700	21,600	21,500	21,400
滋賀	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100
京都	26,300	26,300	26,300	26,300	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000
兵庫	17,600	17,800	18,900	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000
島根	16,500	16,500	16,500	16,800	16,800	16,800	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800
岡山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島	16,200	16,200	16,200	16,200	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600
愛媛	13,100	13,100	12,300	12,300	12,300	12,400	12,700	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600
高知	21,000	21,000	21,000	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100
熊本	18,200	18,400	18,400	18,400	18,900	18,900	18,900	18,500	18,500	18,500	19,000	19,000
大分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	20,800	20,800	20,100	20,400	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,900	20,900

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	18,200	18,200	18,200	18,500	18,600
青森	18,500	18,400	18,400	18,400	18,400
岩手	20,700	20,700	20,700	20,700	20,800
宮城	21,400	21,400	21,300	21,300	21,700
秋田	16,400	16,400	16,400	16,400	16,400
山形	11,900	11,700	11,600	11,600	11,800
福島	16,300	16,100	16,100	16,300	17,100
茨城	-	-	-	-	-
栃木	16,200	16,200	16,200	16,200	16,200
富山	-	-	-	-	-
山梨	19,500	19,400	19,500	19,400	19,500
長野	15,100	15,100	15,100	15,100	15,100
静岡	-	-	-	-	-
三重	21,500	21,500	21,500	21,400	21,700
滋賀	6,100	6,100	6,100	6,100	6,100
京都	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000
兵庫	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000
島根	17,800	17,800	17,800	17,800	17,800
岡山	-	-	-	-	-
広島	-	-	-	-	-
徳島	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600
愛媛	12,600	13,400	13,400	13,400	13,400
高知	21,100	21,100	21,100	21,100	21,100
熊本	19,000	19,000	19,000	19,000	19,000
大分	-	-	-	-	-
宮崎	-	-	-	-	-
鹿児島	21,000	21,000	21,000	21,000	21,100

○木材チップ（広葉樹）

・2025年

単位：円/t

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	23,600	23,600	23,600	24,200	25,700	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800	25,800
青森	21,000	21,000	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900	21,900
岩手	20,600	20,600	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800	20,800
宮城	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500	21,500
秋田	21,800	21,800	21,800	21,800	21,800	21,800	21,800	21,700	22,100	22,100	22,100	22,100
福島	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400
栃木	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬	11,000	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500
山梨	17,600	17,600	17,600	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200
島根	28,400	28,400	28,000	28,000	28,400	28,400	28,400	28,400	28,400	28,400	28,700	28,700
広島	24,500	24,400	24,300	26,700	26,700	26,700	26,700	26,700	26,700	26,700	27,000	27,000
熊本	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	19,800	19,800	19,800	20,100	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,300	20,500	20,500

・2026年

都道府県	1月	2月	3月	4月	5月
北海道	25,800	25,800	25,800	25,900	26,100
青森	22,600	21,900	21,900	21,900	22,900
岩手	20,800	20,800	20,800	21,000	21,000
宮城	21,500	21,500	21,500	21,500	22,200
秋田	22,100	22,100	22,100	22,100	22,100
福島	21,400	21,400	21,400	21,400	21,400
栃木	-	-	-	-	-
群馬	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500
山梨	18,200	18,200	18,200	18,200	18,200
島根	28,700	28,700	28,400	28,400	29,000
広島	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000
熊本	-	-	-	-	-
宮崎	-	-	-	-	-
鹿児島	20,500	20,500	20,500	20,500	20,500

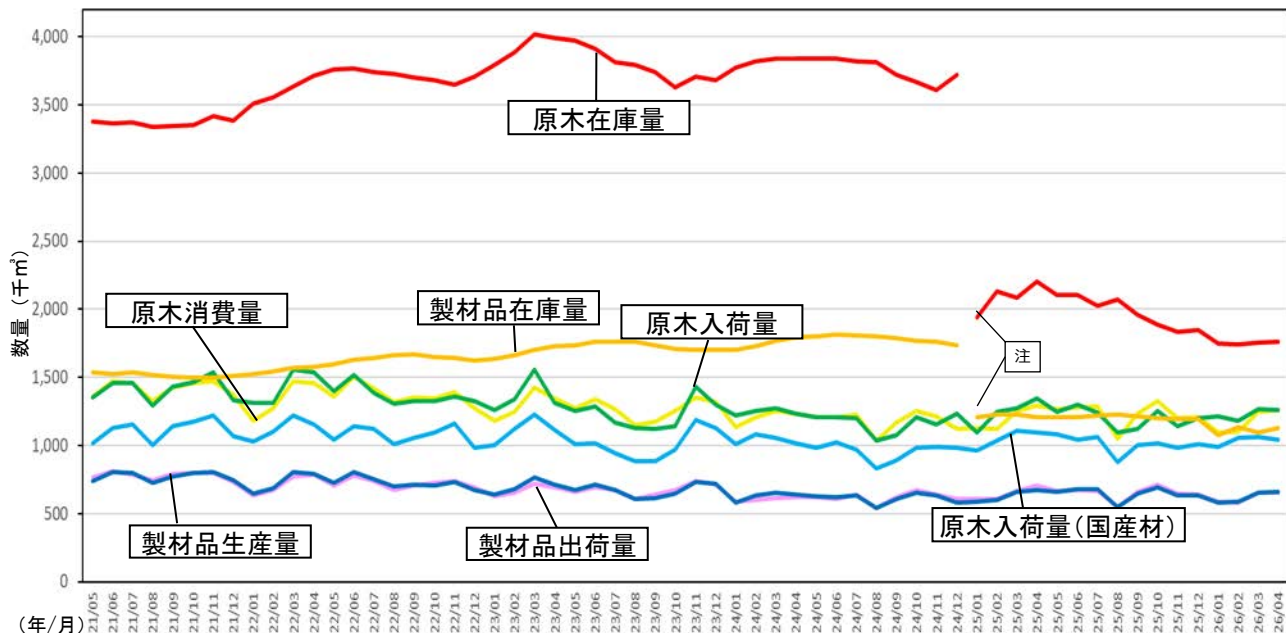
資料：農林水産省「木材需給報告書」「木材価格」

注1：2025年分「木材価格」調査から、2023年の素材及び木材製品の生産動向等を踏まえ、調査都道府県、調査対象工場等の見直しが行われたことから、2024年以前の数値とは接続しない。

注2：2026年は「木材価格」に拠る速報値、2025年は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

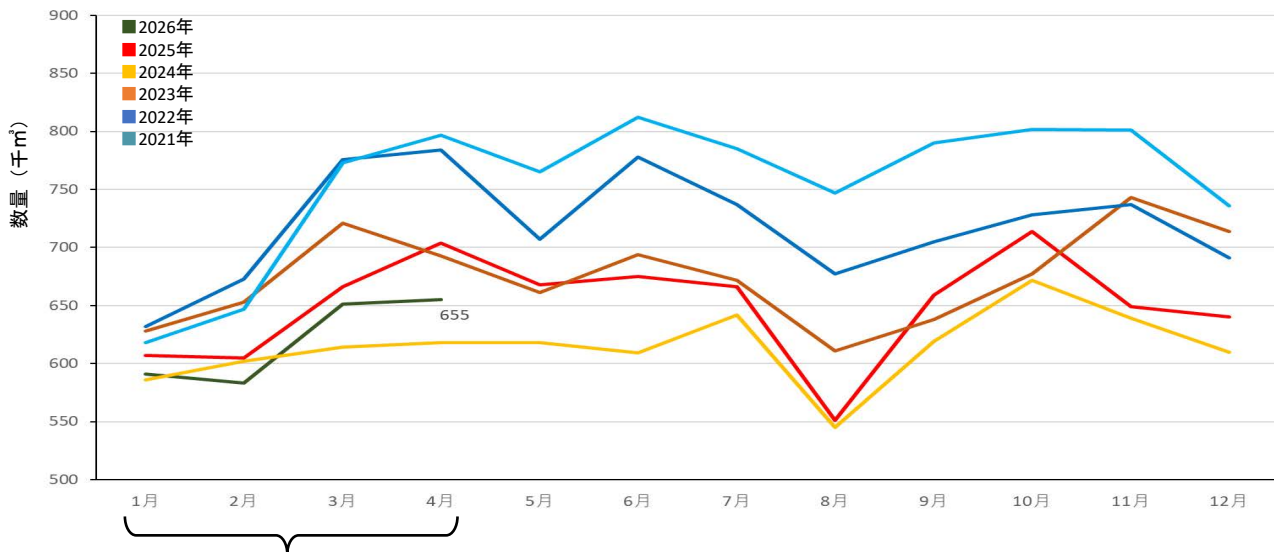
木材需給情報-1 製材工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2026年1～4月の原木の入荷量は、4,926千m³（前年同期比 99%）。
- 同様に製材品の出荷量は、2,480千m³（前年同期比 96%）。



注：「原木在庫量」「製材品在庫量」は、2025年1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、2024年以前の数値とは接続しない。

○製材品出荷量の月別推移（全国）



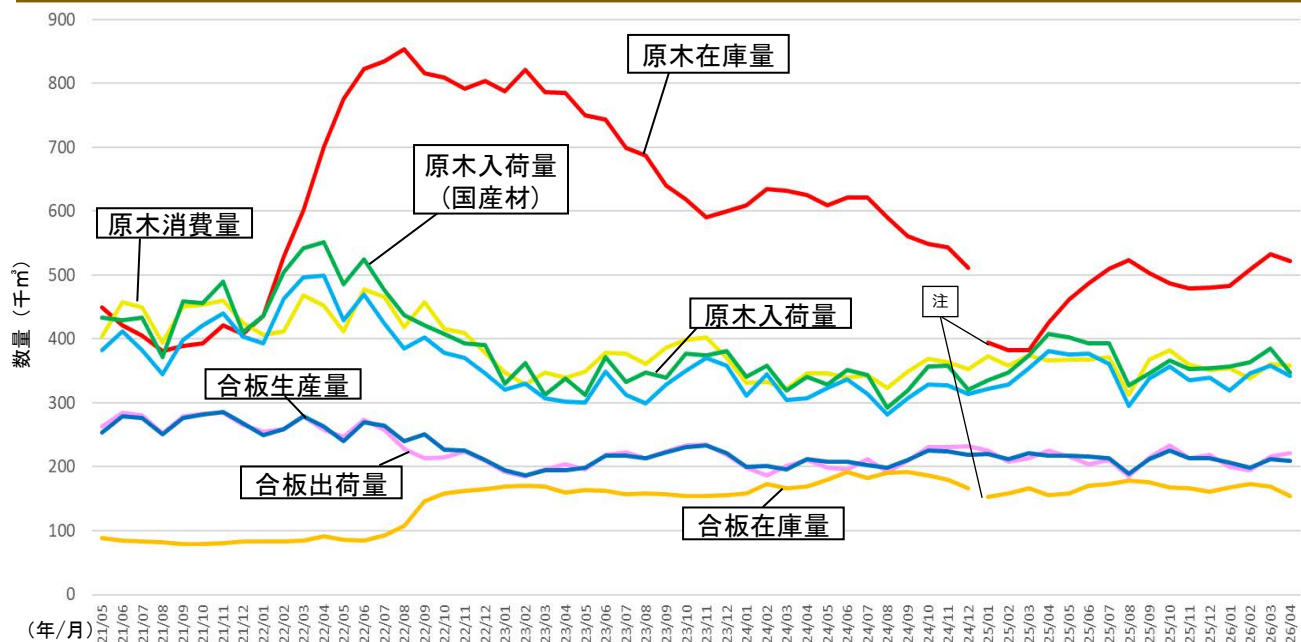
	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1～4月原木入荷量 合計(千m ³)	5338	5723	5479	4988	4965	4926
前年との比較	97%	107%	96%	91%	100%	99%
1～4月出荷量 合計(千m ³)	2835	2865	2695	2420	2582	2480
前年との比較	102%	101%	94%	90%	107%	96%

資料：農林水産省「製材統計」「木材需給報告書」

注：2026年は「製材統計」に拠る速報値、2025年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

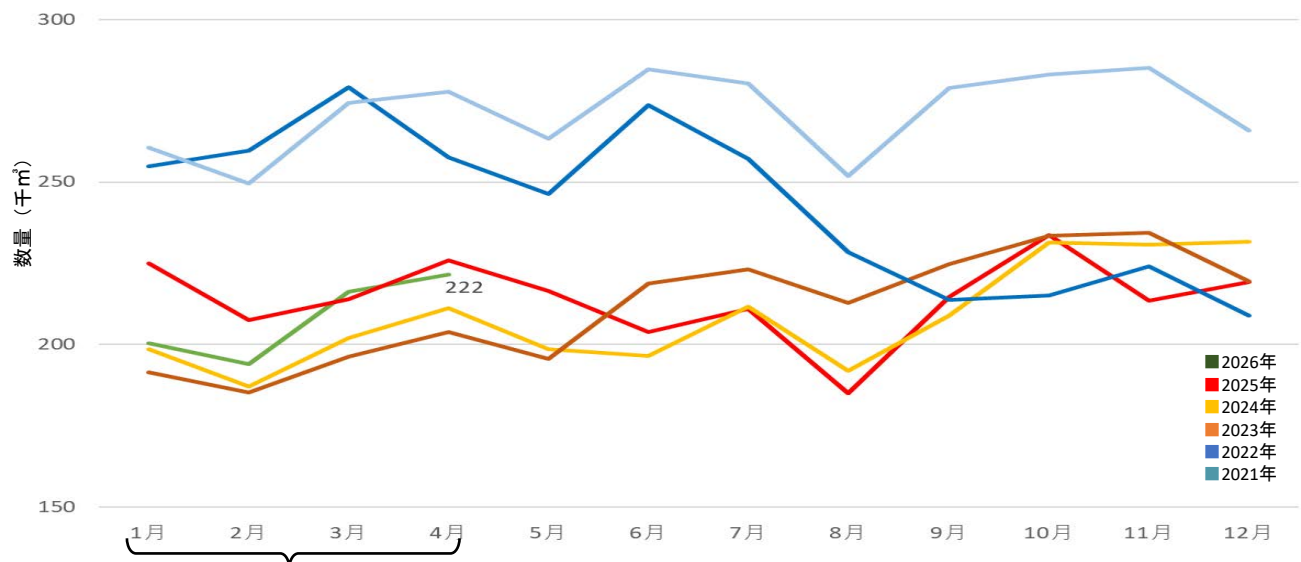
木材需給情報-2 合板工場の原木入荷、製品生産等の動向

- 2026年1～4月の原木の入荷量は、1,453千 m^3 （前年同期比 99%）。
- 同様に合板の出荷量は、832千 m^3 （前年同期比 95%）。



注：「原木在庫量」「合板在庫量」は、2025年1月から月末在庫量の算出方法が変更されたため、2024年以前の数値とは接続しない。

○合板出荷量の月別推移（全国）

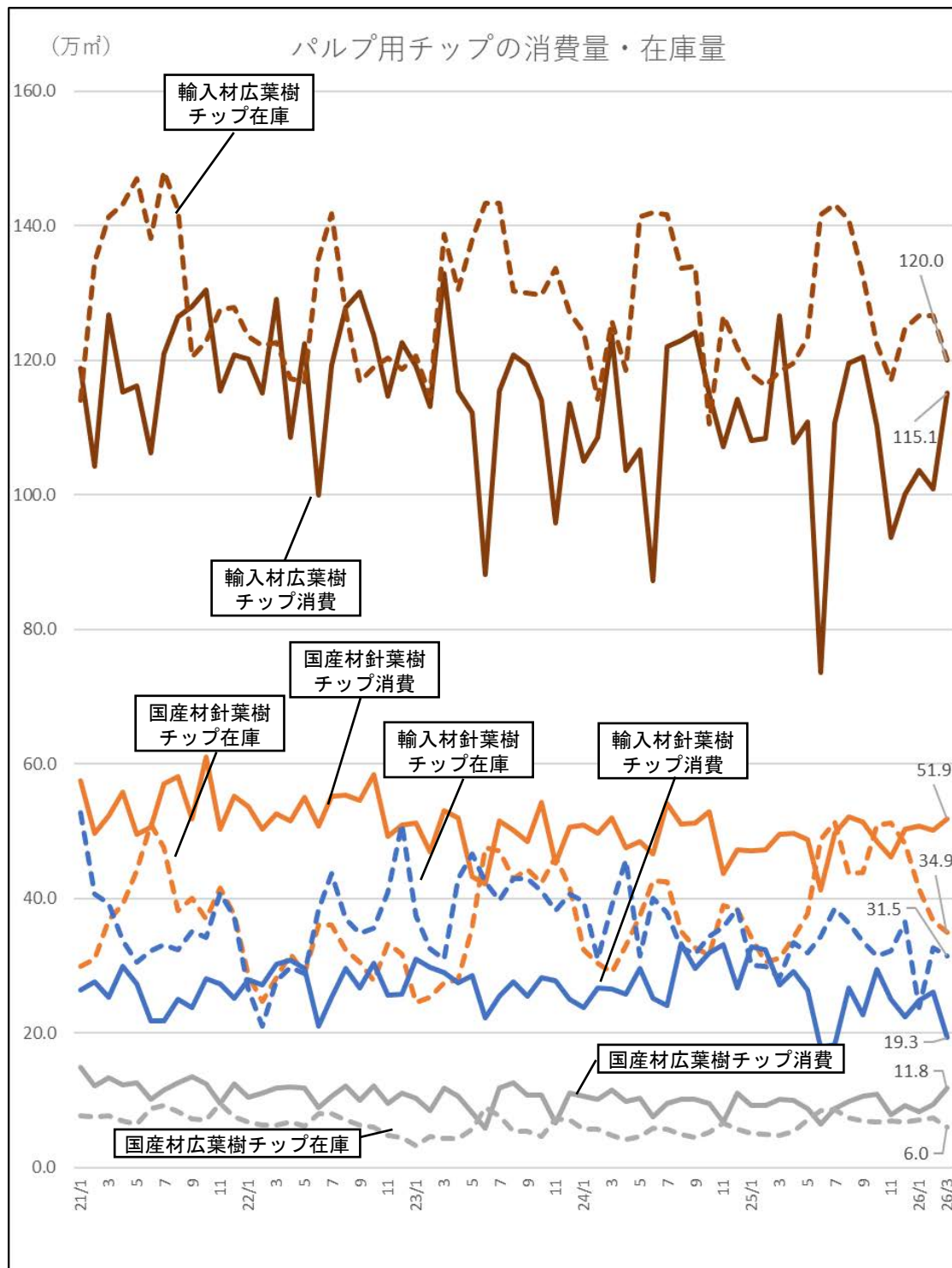


	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年
1～4月原木入荷量 合計(千 m^3)	1688	2034	1344	1359	1466	1453
前年との比較	99%	120%	66%	101%	108%	99%
1～4月出荷量 合計(千 m^3)	1062	1051	777	799	872	832
前年との比較	106%	99%	74%	103%	109%	95%

資料：農林水産省「合板統計」「木材需給報告書」

注：2026年は「合板統計」に拠る速報値、2025年以前は「木材需給報告書」に拠る確定値である。（速報値は今後修正される可能性がある）

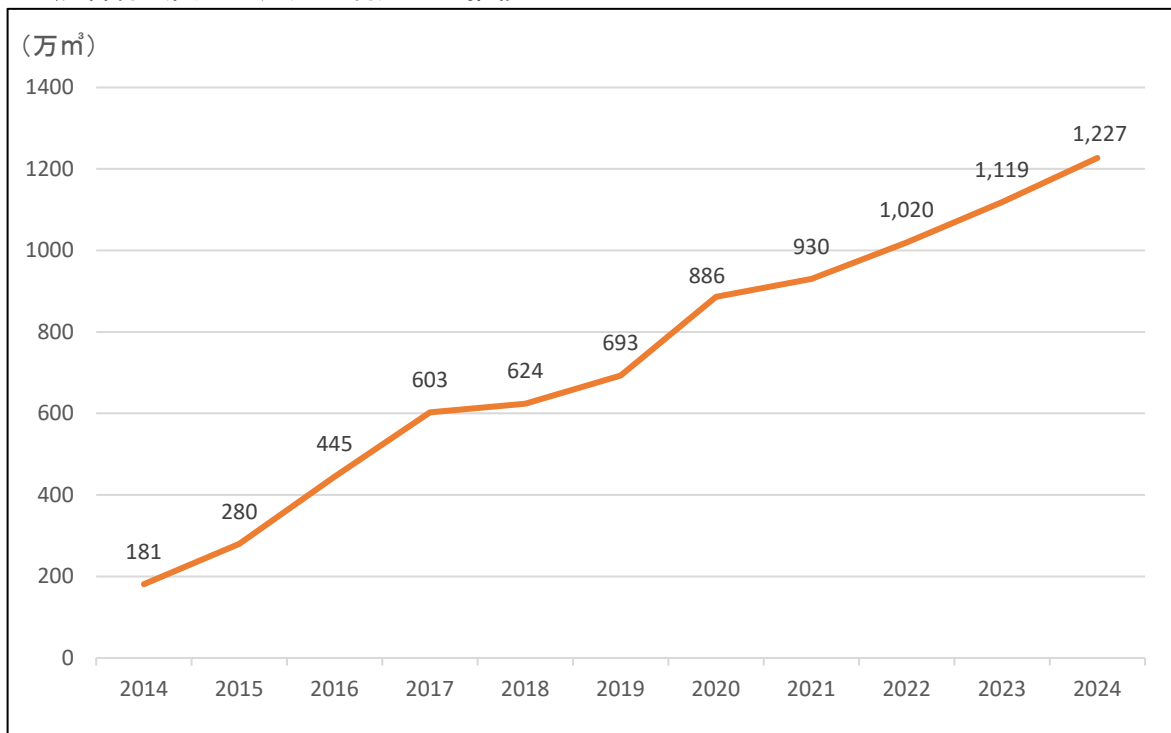
- パルプ用チップの消費について、2026年3月の輸入材広葉樹チップの消費量は115.1万 m^3 。国産材針葉樹チップの消費量は51.9万 m^3 となっている。



資料：林野庁木材産業課調べ

- 燃料材(国内生産)の利用量は、発電利用を中心に増加(過去10年間で約7倍)。
- 2026年4月の紙の生産高は79万トン。板紙の生産高は98万トンとなっている。

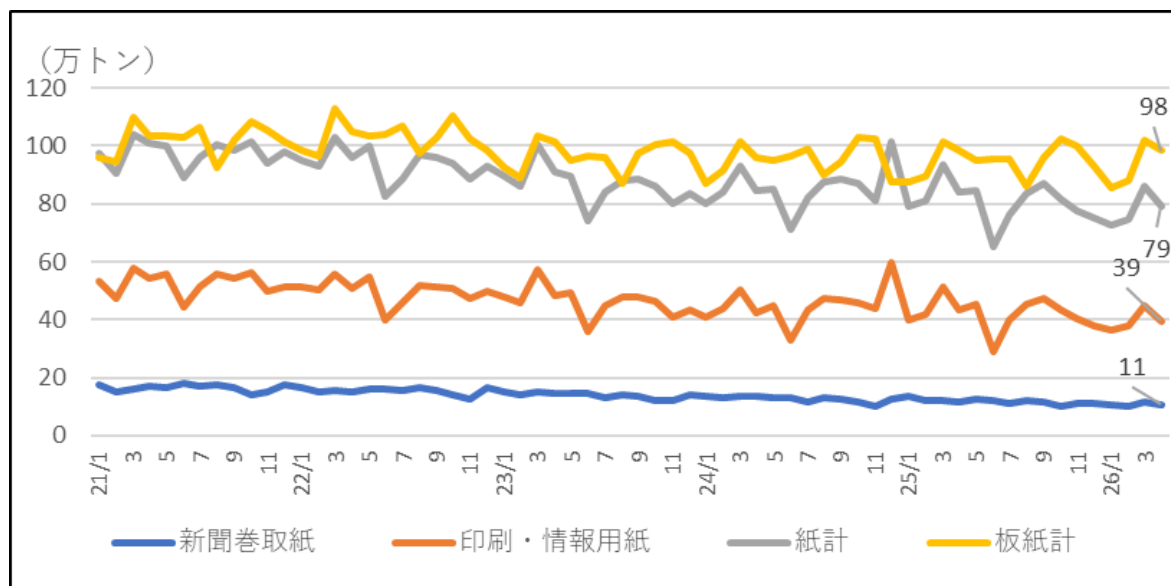
○燃料材(国内生産)の利用量の推移



資料：木材利用課調べ(～2014年)、林野庁「木材需給表」(2015年～)

注：利用量には輸出量は含まない。

○紙品種別生産高



資料：林野庁木材産業課調べ

木材需給情報-5 素材生産量（2024年）

- 2024年の製材、合板及びチップ用材の素材生産量の合計は1,976万m³。

単位：千m³

全 国 都道府県	計	製材用	合板等用	木材チップ用	針葉樹		広葉樹
					スギ		
全 国	19,763	11,956	3,951	3,856	18,398	11,716	1,365
北 海 道	2,850	1,443	511	896	2,407	43	443
青 森	729	293	332	104	706	619	23
岩 手	1,170	503	423	244	1,063	703	107
宮 城	613	194	271	148	572	523	41
秋 田	1,098	556	379	163	1,058	1,015	40
山 形	293	224	55	14	291	282	2
福 島	872	487	67	318	811	593	61
茨 城	483	319	4	160	419	325	64
栃 木	633	463	7	163	568	439	65
群 馬	193	146	21	26	166	134	27
埼 玉	67	35	0	32	44	31	23
千 葉	67	11	3	53	46	39	21
東 京	44	15	6	23	42	23	2
神 奈 川	7	6	1	-	7	4	0
新 潟	91	57	19	15	90	89	1
富 山	75	35	24	16	72	62	3
石 川	102	46	45	11	97	86	5
福 井	114	48	42	24	113	96	1
山 梨	94	19	56	19	86	21	8
長 野	455	152	212	91	444	81	11
岐 阜	434	324	63	47	413	228	21
静 岡	285	153	109	23	283	140	2
愛 知	160	102	45	13	156	84	4
三 重	304	152	90	62	294	164	10
滋 賀	46	21	16	9	44	28	2
京 都	164	65	55	44	159	126	5
大 阪	17	3	3	11	13	6	4
兵 庫	291	99	131	61	285	189	6
奈 良	93	73	4	16	90	51	3
和 歌 山	128	107	13	8	127	78	1
鳥 取	208	79	88	41	195	160	13
島 根	354	91	147	116	284	193	70
岡 山	427	331	33	63	406	135	21
広 島	329	111	97	121	247	131	82
山 口	199	113	43	43	179	120	20
徳 島	280	151	67	62	269	211	11
香 川	14	4	-	10	7	2	7
愛 媛	520	467	13	40	518	292	2
高 知	537	385	34	118	534	211	3
福 岡	168	146	1	21	164	118	4
佐 賀	118	110	2	6	118	63	0
長 崎	132	79	-	53	123	64	9
熊 本	920	742	99	79	898	636	22
大 分	1,019	843	126	50	1,005	835	14
宮 崎	1,899	1,708	104	87	1,882	1,733	17
鹿 児 島	666	444	90	132	603	510	63
沖 縄	1	1	-	0	0	-	1

資料：農林水産省「令和6年木材統計」（2026年3月27日確報）

- 統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値（全国）と内訳（都道府県別）の計が一致しない場合がある。
- 「x」：個人又は法人その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値を公表していないもの
- 「0」：単位に満たないもの（例：0.4千m³ → 0千m³）、「-」：事実のないもの

木材需給情報-6 木材生産の産出額（2024年）

- 2024年の都道府県別木材生産の産出額の合計は4,770億円。

単位：1,000万円

都道府県	林業産出額	木材生産	針葉樹					広葉樹	竹材
			スギ	ヒノキ	アカマツ・クロマツ	カラマツ・エゾマツ・トドマツ			
北海道	4,076	3,190	2,760	33	-	0	2,698	430	-
青森	828	777	749	613	-	30	60	28	-
岩手	1,853	1,399	1,254	714	0	120	420	132	-
宮城	1,016	590	561	521	7	22	12	27	2
秋田	1,570	1,198	1,155	1,090	0	8	56	43	-
山形	747	366	364	346	0	2	16	2	-
福島	1,297	863	801	507	174	28	80	61	0
茨城	877	559	508	342	163	2	0	48	2
栃木	1,092	695	638	443	184	3	2	55	0
群馬	709	225	201	152	32	0	16	23	-
埼玉	313	71	51	34	16	0	1	19	-
千葉	235	76	44	37	6	-	1	31	0
東京	53	33	31	15	15	0	0	2	-
神奈川	39	10	10	5	6	-	-	0	0
新潟	4,961	102	98	98	0	1	0	3	0
富山	463	81	78	66	2	1	9	3	-
石川	181	126	122	103	8	1	6	4	-
福井	158	112	111	92	17	1	0	1	0
山梨	128	92	81	16	11	15	36	4	-
長野	6,594	645	633	77	125	56	369	5	-
岐阜	1,030	732	696	354	331	1	7	34	0
静岡	1,085	384	383	151	229	1	-	1	0
愛知	285	204	200	93	95	0	10	4	-
三重	1,015	422	413	201	211	1	-	9	-
滋賀	94	45	43	25	17	1	0	2	1
京都	267	170	163	125	37	1	-	7	1
大阪	50	15	11	4	4	1	2	4	-
兵庫	384	303	298	183	110	1	0	5	0
奈良	200	142	139	55	84	-	-	3	0
和歌山	361	145	140	79	61	0	-	1	3
鳥取	329	195	185	141	41	3	-	10	-
島根	507	383	318	209	86	18	0	64	0
岡山	779	613	596	120	472	2	-	12	4
広島	923	439	387	179	194	15	-	52	0
山口	337	265	246	149	96	2	-	13	5
徳島	1,011	336	327	230	97	1	-	9	0
香川	460	11	7	1	5	1	-	3	0
愛媛	790	669	667	293	373	2	-	1	0
高知	898	689	685	202	420	0	-	2	3
福岡	1,610	221	218	145	73	0	-	3	0
佐賀	175	162	161	72	89	0	-	0	1
長崎	604	150	144	69	75	0	-	6	-
熊本	1,629	1,404	1,382	882	499	1	-	15	4
大分	1,807	1,229	1,207	965	242	0	-	11	3
宮崎	2,875	2,350	2,338	2,083	255	1	0	11	-
鹿児島	943	804	743	597	143	0	-	48	14
沖縄	58	1	0	-	-	-	-	1	-
合計	47,698	23,694	22,348	12,909	5,106	342	3,803	1,253	44

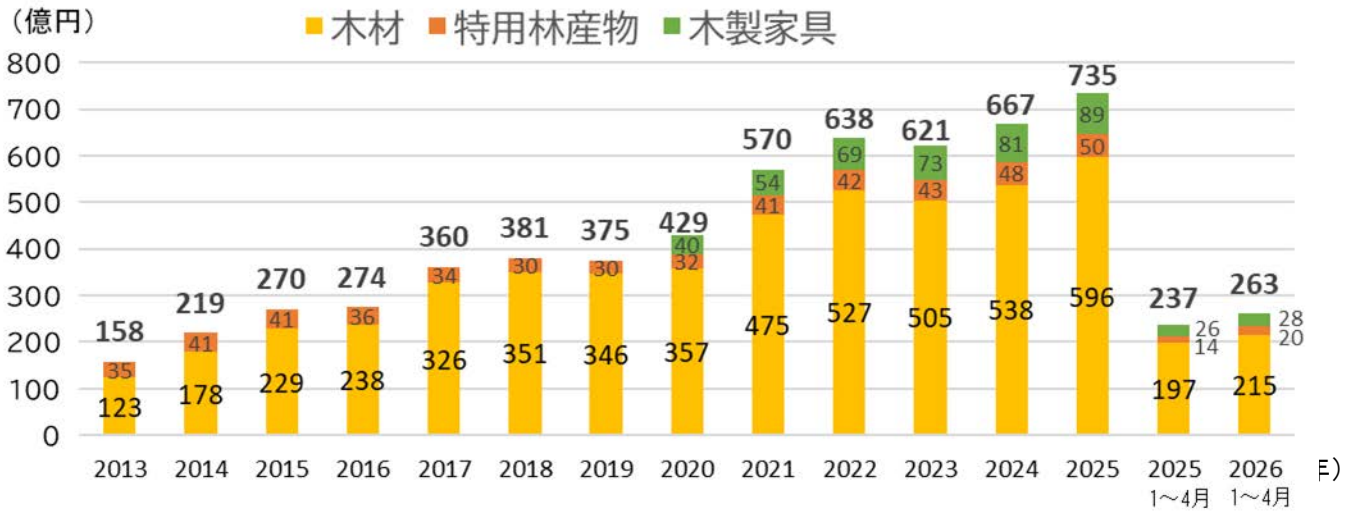
資料：農林水産省「令和6年林業産出額」

注：都道府県別産出額には、全国値に計上する木材生産におけるパルプ工場へ直接入荷されるパルプ用素材、輸出丸太及び燃料用チップ素材の産出額、薪炭生産におけるまきの産出額、林野副産物採取における木ろう及び生うるしの産出額を計上しない。

また、全国値には計上しない木材生産における他都道府県に販売されたしいたけ原木の産出額を計上する。

- 2026年4月の林産物輸出額は、75億円（前年同月比115%）となった。内訳は、木材が61億円（同112%）、特用林産物が6億円（同175%）、木製家具が7億円（同111%）となった。
- 2026年1～4月の林産物輸出額は、263億円（前年同月比111%）となった。内訳は、木材が215億円（同109%）、特用林産物が20億円（同147%）、木製家具が28億円（同108%）となった。

○林産物輸出額の推移



資料：財務省「貿易統計」

※：特用林産物には、きのこ（はらたけ属以外）、乾しいたけ、ロジン、植物性ろう等が含まれる。なお、木質ペレット、薪、木炭は木材に含まれる。

※：2020年の（388）は品目の見直しによる追加品目（木製家具、調整・保存処理したきのこ等）を含まない数字。

※：四捨五入により、合計が合致しない場合がある。

○林産物の月別輸出額

(億円)

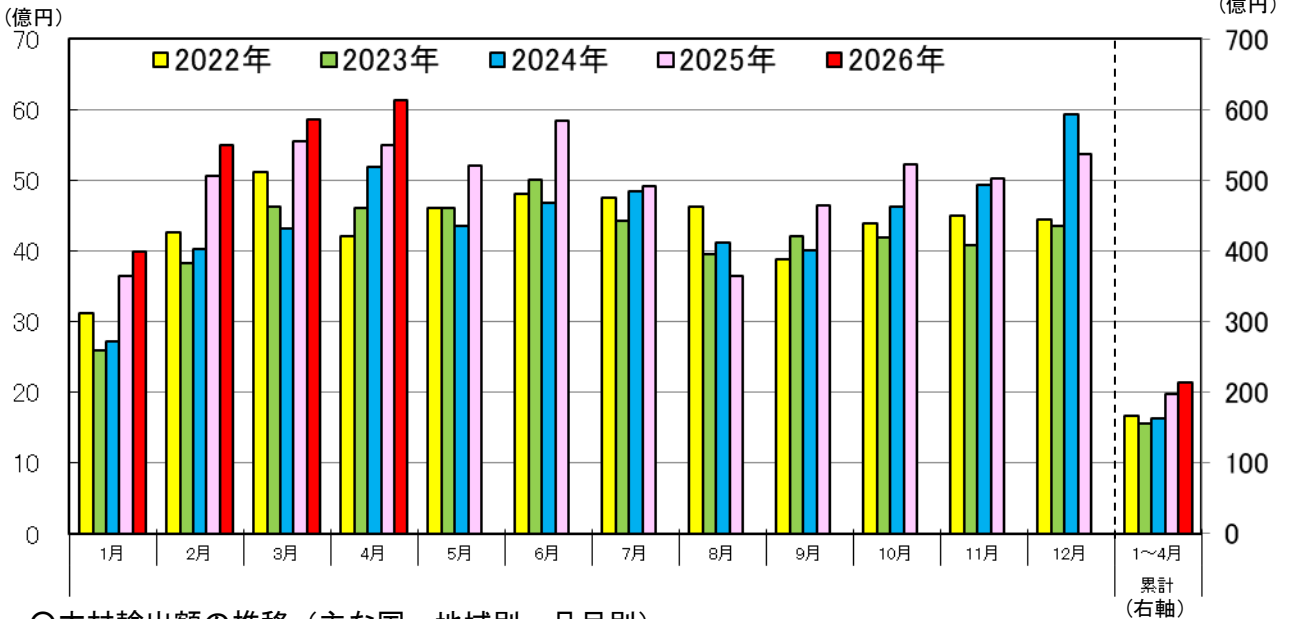
	2025年				2026年					
	林産物	木材	特用林産物	木製家具	林産物	前年比	前々年比	木材	特用林産物	木製家具
1月	44	36	3	5	50	115%	141%	40	4	6
2月	62	51	5	7	67	107%	135%	55	5	6
3月	66	56	3	8	71	107%	132%	59	5	8
4月	65	55	3	7	75	115%	121%	61	6	7
5月	64	52	4	7						
6月	70	58	4	8						
7月	64	49	6	8						
8月	47	37	3	7						
9月	59	46	4	8						
10月	66	52	5	8						
11月	62	50	5	7						
12月	67	54	5	9						
4月累計	237	197	14	26	263	111%	131%	215	20	28

資料：財務省「貿易統計」

※：四捨五入により、合計や前年比が合致しない場合がある。

- 2026年1～4月の木材輸出額は215億円(前年同期比109%)となった。
- 国・地域別では、中国向け(同104%)、フィリピン向け(同114%)、米国向け(同130%)は前年同期を上回り、韓国向け(同99%)、台湾向け(同92%)は前年同期を下回った。
- 品目別では、丸太(同104%)、製材(同125%)、合板(同112%)ともに前年同期を上回った。

○木材輸出額の推移(月別)



○木材輸出額の推移(主な国・地域別、品目別)

輸出先	4月 単月					1～4月累計				
	輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)			輸出額 (百万円)	前年比 (%)	主要品目内訳(百万円) 前年比(%)		
			丸太	製材	合板			丸太	製材	合板
中国	3,616	120%	3,148 123%	191 103%	27 97%	11,704	104%	10,309 105%	586 96%	89 99%
韓国	259	94%	136 76%	53 121%	1 117%	1,052	99%	577 88%	181 110%	4 99%
台湾	209	79%	83 77%	58 59%	0 0%	770	92%	331 99%	203 75%	0 0%
米国	749	123%	0 —	512 148%	2 134%	2,603	130%	0 —	1,692 145%	27 1721%
フィリピン	926	95%	0 —	153 84%	713 98%	3,723	114%	0 —	664 120%	2,760 111%
その他	369	106%	19 201%	83 208%	6 2596%	1,611	124%	69 131%	316 198%	11 203%
総計	6,127	112%	3,385 118%	1,050 117%	749 99%	21,463	109%	11,285 104%	3,643 125%	2,891 112%

※資料：財務省貿易統計

丸太は、第44.03項、製材は第44.07項、合板は第4412.31号から第4412.39号までを集計。
四捨五入により、数値が合わないことがある。

木材輸出についての詳細は、次のURLをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/yusyutu/mokuzai-yusyutsu.html>



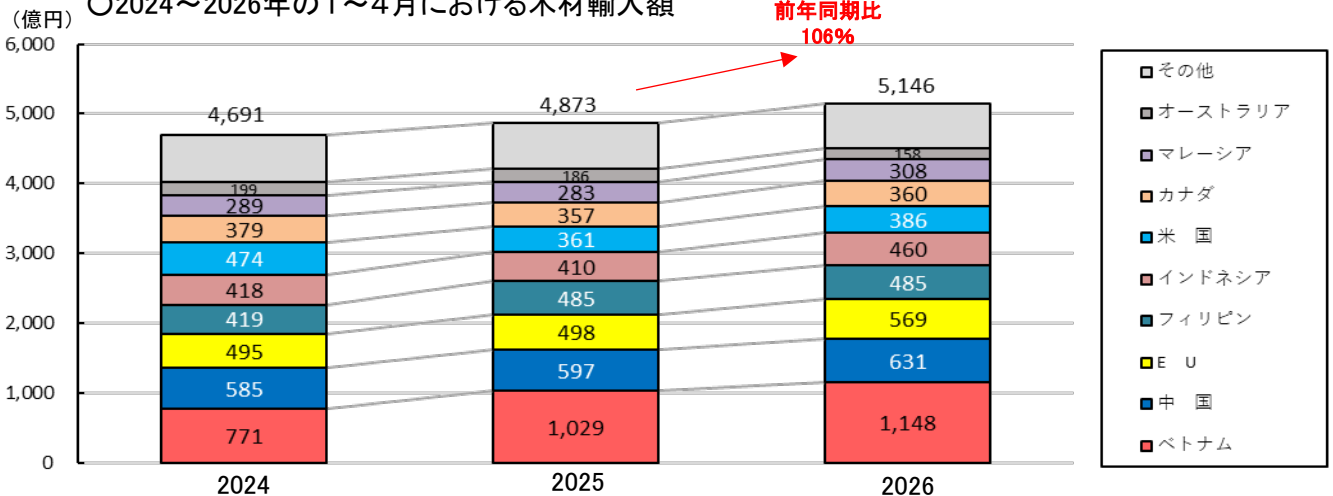
- 2026年4月の木材輸入額は、前月比106%、前年同月比104%の1,310億円。

○2026年4月の木材輸入額

(単位:億円)

年 国名	2025年 (1月～ 12月)	月別金額				累計金額		
		2026年 3月	2026年 4月	前月比	前年 同月比	2025年 1～4月	2026年 1～4月	前年 同期比
世界計	14,911	1,234	1,310	106%	104%	4,873	5,146	106%
ベトナム	3,153	249	311	125%	127%	1,029	1,148	112%
中国	1,797	125	171	137%	108%	597	631	106%
EU (フィンランド) (スウェーデン)	1,733	123	132	108%	99%	498	569	114%
フィリピン	543	47	45	96%	119%	150	192	128%
インドネシア	416	25	28	111%	74%	128	134	104%
米国	1,496	123	132	107%	111%	485	485	100%
カナダ	1,231	137	97	71%	105%	410	460	112%
マレーシア	1,217	78	99	126%	94%	361	386	107%
オーストラリア	1,141	78	89	114%	93%	357	360	101%
その他	841	96	62	65%	89%	283	308	109%
我が国の総輸入額	447	50	47	93%	115%	186	158	85%
その他	1,856	175	171	97%	84%	666	640	96%
我が国の総輸入額	1,124,696	103,501	102,072	99%	110%	378,753	404,312	107%
我が国の総輸入額に 占める木材輸入額の割合	1.33%	1.19%	1.28%			1.29%	1.27%	

○2024～2026年の1～4月における木材輸入額



資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第44類（木材及びその製品並びに木炭）の合計（※次ページ以降に記載の品目の合計ではない）。

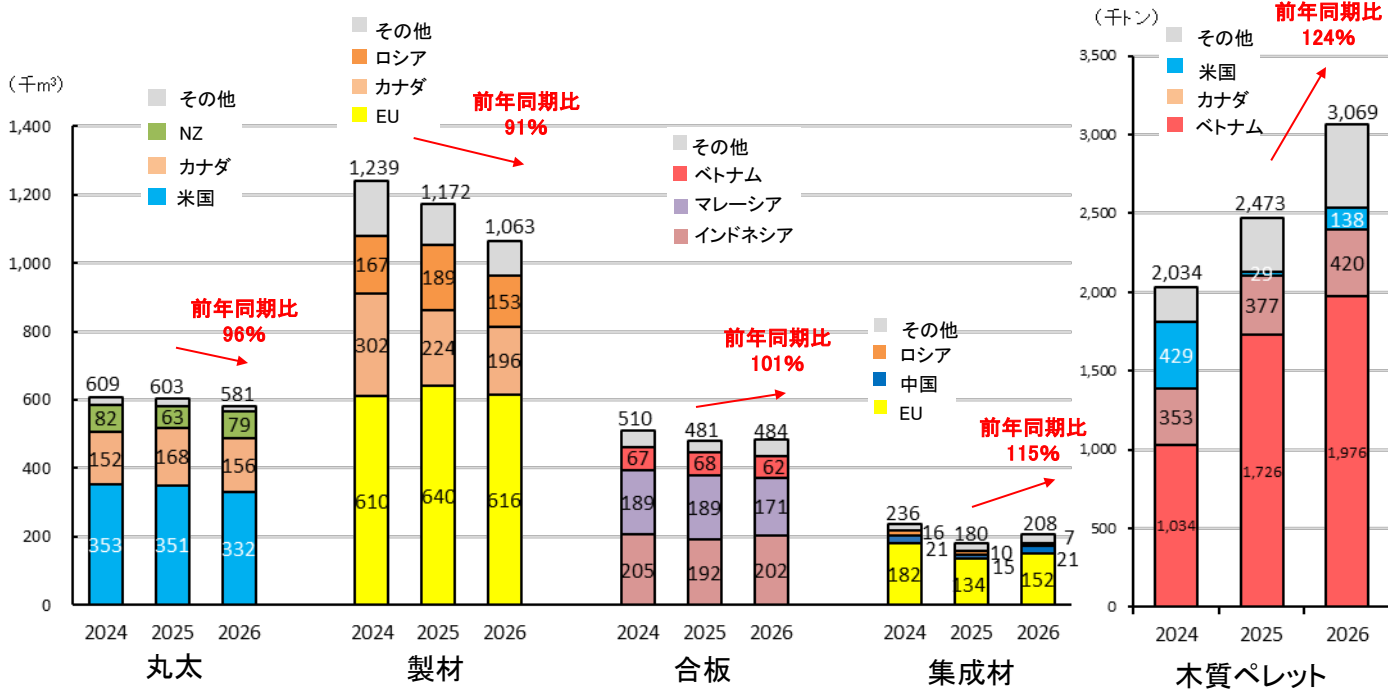
2：EUに英国は含まない。

3：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（累計）

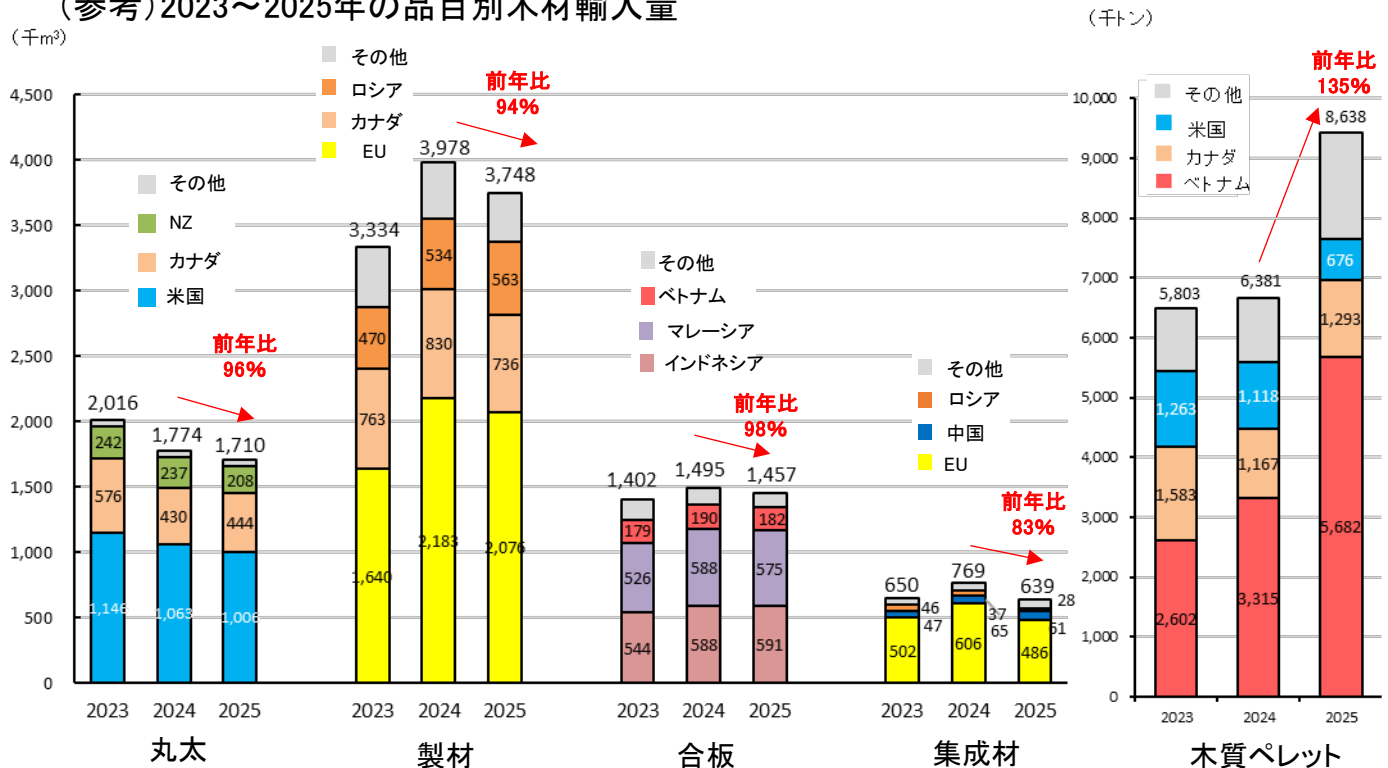
- 2026年4月の品目別輸入量は、前年同期比で、丸太が96%、製材が91%、合板が101%、集成材が115%、木質ペレットが124%。2024年同期比では、丸太が96%、製材が86%、合板が95%、集成材が88%、木質ペレットが151%。

○2024～2026年の1～4月における品目別木材輸入量



資料：財務省「貿易統計」

(参考) 2023～2025年の品目別木材輸入量



資料：財務省貿易統計

注1：2023年9月号より木質ペレットのグラフを追加。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（丸太）

- 2026年4月の丸太輸入量は、前月比123%、前年同月比86%の18万m³。

(単位:千m³)

材種 国名	年 2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2026年 3月	2026年 4月	前月比	前年 同月比	2025年 1～4月	2026年 1～4月	前年 同期比
合計	[100%] 1,710	[100%] 143	[100%] 175	123%	86%	[100%] 603	[100%] 581	96%
米材	[85%] 1,450	[98%] 140	[73%] 128	91%	71%	[86%] 519	[84%] 488	94%
米国	[59%] 1,006	[73%] 104	[46%] 81	78%	59%	[58%] 351	[57%] 332	95%
カナダ	[26%] 444	[25%] 36	[27%] 47	130%	110%	[28%] 168	[27%] 156	93%
南洋材	[2%] 36	[1%] 1	[4%] 7	710%	5,987%	[2%] 14	[1%] 8	57%
インドネシア	[0%] 0	[0%] 0	[0%] 0	0%	0%	[0%] 0	[0%] 0	37%
マレーシア	[1%] 16	[1%] 1	[0%] 0	10%	132%	[1%] 8	[0%] 2	23%
パプアニュー ギニア	[1%] 20	-	[4%] 6	皆増	皆増	[1%] 7	[1%] 6	97%
ロシア材	-	-	-	-	-	-	-	-
ニュージーランド材	[12%] 208	-	[22%] 39	皆増	186%	[10%] 63	[14%] 79	125%
欧州材	[1%] 12	[1%] 2	[1%] 2	122%	122%	[1%] 6	[1%] 5	87%
EU計	[1%] 10	[1%] 2	[1%] 2	122%	122%	[1%] 4	[1%] 5	132%
アフリカ材	[0%] 2	-	[0%] 0	皆増	28%	[0%] 0	[0%] 0	110%
中国	[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0	16%	19%	[0%] 0	[0%] 0	56%
その他	[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0	109%	65%	[0%] 1	[0%] 0	47%

資料：財務省貿易統計

注1：丸太は輸入統計品目表第4403項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（製材）

- 2026年4月の製材輸入量は、前月比101%、前年同月比73%の25万³。

(単位:千m³)

材種 国名	年 2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量		
		2026年 3月	2026年 4月	前月比	前年 同月比	2025年 1～4月	2026年 1～4月	前年 同期比
合計	[100%] 3,748	[100%] 249	[100%] 251	101%	73%	[100%] 1,172	[100%] 1,063	91%
米材	[22%] 813	[21%] 53	[20%] 51	96%	68%	[21%] 251	[20%] 212	84%
米国	[2%] 77	[2%] 5	[2%] 4	88%	66%	[2%] 27	[2%] 16	59%
カナダ	[20%] 736	[19%] 48	[19%] 47	97%	69%	[19%] 224	[18%] 196	87%
南洋材	[1%] 43	[2%] 4	[1%] 3	86%	91%	[1%] 14	[1%] 14	97%
インドネシア	[1%] 20	[1%] 2	[1%] 1	81%	72%	[1%] 7	[1%] 6	90%
マレーシア	[1%] 23	[1%] 2	[1%] 2	92%	111%	[1%] 8	[1%] 8	102%
パプアニューギニア	[0%] 0	[0%] 0	-	皆減	皆減	[0%] 0	[0%] 0	107%
ロシア材	[15%] 563	[17%] 41	[17%] 43	106%	61%	[16%] 189	[14%] 153	81%
ニュージーランド材	[1%] 38	[1%] 3	[1%] 3	115%	105%	[1%] 11	[1%] 12	112%
チリ材	[4%] 142	[4%] 11	[0%] 1	8%	9%	[4%] 41	[3%] 36	87%
欧州材	[56%] 2,097	[54%] 135	[58%] 145	108%	82%	[55%] 649	[59%] 622	96%
EU計	[55%] 2,076	[54%] 134	[57%] 144	107%	82%	[55%] 640	[58%] 616	96%
(スウェーデン)	[20%] 754	[17%] 42	[20%] 50	120%	70%	[20%] 240	[22%] 229	95%
(フィンランド)	[20%] 763	[25%] 63	[23%] 57	90%	92%	[20%] 240	[23%] 240	100%
アフリカ材	[0%] 1	[0%] 0	[0%] 0	611%	皆増	[0%] 1	[0%] 0	59%
中国	[1%] 42	[1%] 2	[1%] 3	175%	82%	[1%] 13	[1%] 11	88%
その他	[0%] 9	[0%] 1	[0%] 1	88%	68%	[0%] 3	[0%] 3	93%

資料：財務省貿易統計

注1：製材は輸入統計品目表第4407項の合計。

2：米材は米国、カナダより輸入された材。

3：南洋材はインドネシア、マレーシア、パプアニューギニア、ソロモン諸島、フィリピン、シンガポール、ブルネイの7か国より輸入された材。

4：欧州材はロシアを除く全ての欧州各国より輸入された材。

5：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

6：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

7：「-」は輸入実績なし等。

8：EUに英国は含まない。

9：EUは、フィンランド、スウェーデンの合計ではない。

- 2026年4月の合板輸入量は、前月比93%、前年同月比86%の11万^m。

(単位：千^m)

国名	年	2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量				
			2026年 3月	2026年 4月	前月比	前年同月比	2025年 1～4月	2026年 1～4月	前年 同期比		
総輸入量		[100%] 1,457	[100%] 123	[100%] 114				[100%] 481	[100%] 484		101%
インドネシア		[41%] 591	[46%] 57	[41%] 47				[40%] 192	[42%] 202		105%
マレーシア		[39%] 575	[38%] 47	[31%] 36				[39%] 189	[35%] 171		91%
ベトナム		[12%] 182	[9%] 11	[14%] 16				[14%] 68	[13%] 62		91%
中国		[7%] 100	[6%] 8	[11%] 13				[6%] 28	[9%] 43		152%
E U		[0%] 5	[0%] 0	[0%] 1				[1%] 3	[0%] 1		58%
その他		[0%] 4	[0%] 1	[2%] 3				[0%] 2	[1%] 4		245%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号111～299、第4412.31号、第4412.33号、第4412.34号、第4412.39号の合計。

注2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

注4：E Uに英国は含まない。

- 2026年4月の木材チップ輸入量は、前月比96%、前年同月比89%の88万トン。

(単位：千トン)

国名	年	2025年 (1月～ 12月)	月別数量				累計数量				
			2026年 3月	2026年 4月	前月比	前年 同月比	2025年 1～4月	2026年 1～4月	前年 同期比		
総輸入量		[100%] 10,749	[100%] 917	[100%] 876				[100%] 3,794	[100%] 3,496		92%
ベトナム		[40%] 4,277	[33%] 301	[36%] 318				[39%] 1,463	[37%] 1,303		89%
オーストラリア		[13%] 1,424	[18%] 164	[16%] 139				[16%] 588	[14%] 495		84%
タイ		[10%] 1,126	[19%] 176	[14%] 125				[10%] 392	[14%] 479		122%
米国		[10%] 1,026	[4%] 40	[9%] 79				[8%] 320	[9%] 300		94%
南アフリカ共和国		[11%] 1,140	[7%] 63	[15%] 129				[10%] 398	[11%] 374		94%
その他		[16%] 1,757	[19%] 172	[10%] 85				[17%] 632	[16%] 544		86%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.21号と第4401.22号の合計。

注2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（集成材）

- 2026年4月の集成材輸入量は、前月比105%、前年同月比119%の5.3万m³。
- 構造用集成材に限ると、前月比107%、前年同月比115%の4.2万m³。

（単位：千m³）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2025年 (1月～ 12月)	2026年 3月	2026年 4月	前月比	前年 同月比	2025年 1～4月	2026年 1～4月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 639	[100%] 50	[100%] 53	105%	119%	[100%] 180	[100%] 208	115%
うち	構造用集成材	[100%] 530	[100%] 39	[100%] 42	107%	115%	[100%] 147	[100%] 167	113%
E U		[76%] 486	[70%] 35	[72%] 38	108%	119%	[74%] 134	[73%] 152	114%
うち	構造用集成材	[88%] 465	[85%] 33	[87%] 37	110%	117%	[88%] 130	[88%] 147	113%
フィンランド		[34%] 219	[39%] 20	[37%] 19	99%	154%	[27%] 49	[40%] 82	169%
うち	構造用集成材	[41%] 218	[50%] 19	[46%] 19	100%	155%	[33%] 48	[49%] 82	172%
オーストリア		[13%] 80	[9%] 5	[9%] 5	103%	68%	[15%] 27	[9%] 19	73%
うち	構造用集成材	[13%] 71	[9%] 4	[10%] 4	115%	60%	[17%] 24	[10%] 17	69%
ルーマニア		[9%] 60	[7%] 4	[6%] 3	86%	135%	[8%] 15	[6%] 13	86%
うち	構造用集成材	[10%] 51	[8%] 3	[6%] 3	81%	115%	[10%] 14	[7%] 11	79%
中国		[10%] 61	[8%] 4	[13%] 7	169%	172%	[8%] 15	[10%] 21	143%
うち	構造用集成材	[7%] 37	[6%] 2	[11%] 5	188%	220%	[5%] 7	[8%] 13	182%
ロシア		[4%] 28	[7%] 3	[1%] 1	23%	26%	[6%] 10	[4%] 7	71%
うち	構造用集成材	[5%] 28	[9%] 3	[2%] 1	23%	25%	[7%] 10	[4%] 7	71%
その他		[10%] 64	[15%] 8	[13%] 7	89%	128%	[12%] 21	[13%] 28	129%
うち	構造用集成材	[0%] 0	-	-	-	-	[0%] 0	-	皆減

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4412.10号910、第4412.51号100、第4412.52号100、第4412.59号100、第4412.91号100、第4412.92号100、第4412.99号110、190と、第4418.81号（構造用集成材）の合計。

2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

4：「-」は輸入実績なし等。

5：E Uに英国は含まない。

6：E Uはフィンランド、ルーマニア、オーストリアの合計ではない。

林産物輸出入情報-4 木材輸入量（木質ペレット、LVL）

- 2026年4月の木質ペレット輸入量は、前月比110%、前年同月比135%の82万トン。

（単位：千トン）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2025年 (1月～ 12月)	2026年 3月	2026年 4月	前月比	前年 同月比	2025年 1～4月	2026年 1～4月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 8,638	[100%] 743	[100%] 818	110%	135%	[100%] 2,473	[100%] 3,069	124%
ベトナム		[66%] 5,682	[56%] 418	[66%] 543	130%	123%	[70%] 1,726	[64%] 1,976	114%
カナダ		[15%] 1,293	[10%] 77	[11%] 92	120%	103%	[15%] 377	[14%] 420	112%
米 国		[8%] 676	[0%] 16	[10%] 78	489%	270%	[1%] 29	[0%] 138	475%
マレーシア		[5%] 472	[14%] 101	[4%] 32	32%	195%	[6%] 149	[7%] 230	154%
インドネシア		[5%] 405	[10%] 73	[5%] 43	59%	194%	[6%] 160	[7%] 212	133%
その他		[1%] 110	[8%] 57	[0%] 30	52%	84%	[1%] 32	[3%] 92	288%

資料：財務省貿易統計

注1：輸入統計品目表第4401.31号000を集計。

注2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2026年4月のLVL輸入量は、前月比138%、前年同月比105%の4.7万m³。

（単位：千m³）

国名	年	月別数量				累計数量			
		2025年 (1月～ 12月)	2026年 3月	2026年 4月	前月比	前年 同月比	2025年 1～4月	2026年 1～4月	前年 同期比
総輸入量		[100%] 505	[100%] 34	[100%] 47	138%	105%	[100%] 175	[100%] 182	104%
中 国		[66%] 333	[62%] 21	[61%] 29	135%	99%	[67%] 117	[60%] 110	94%
ベトナム		[31%] 158	[34%] 12	[37%] 18	152%	119%	[30%] 52	[37%] 67	127%
インドネシア		[2%] 11	[4%] 1	[2%] 1	70%	79%	[3%] 4	[3%] 5	112%
その他		[1%] 3	[0%] 0	[0%] 0	105%	71%	[1%] 1	[0%] 1	52%

資料：財務省貿易統計

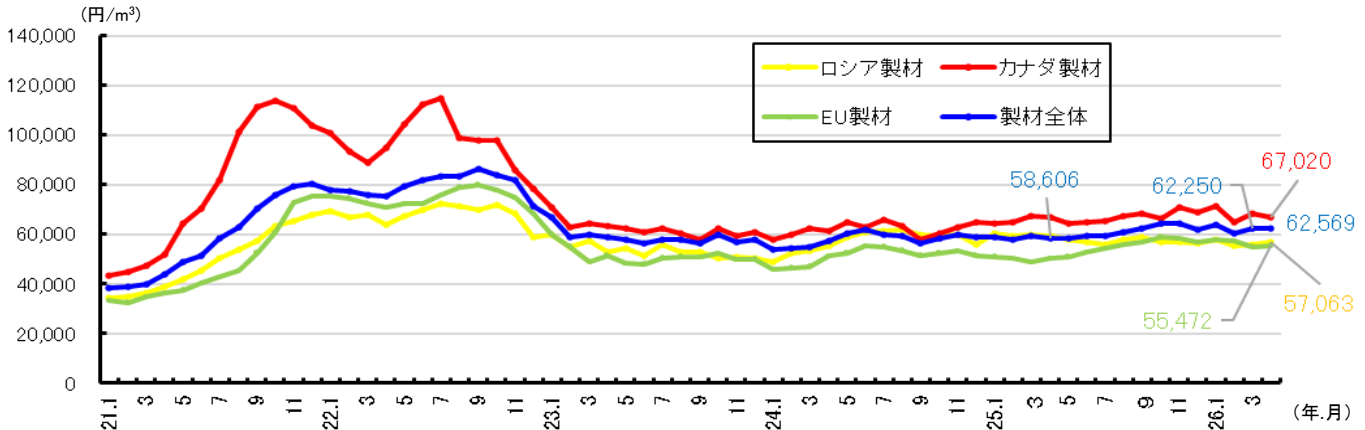
注1：輸入統計品目表第4412.41号000、4412.42号000、4412.49号を集計。

注2：数量の上段の[]書きは、総輸入量に占める各国の割合。

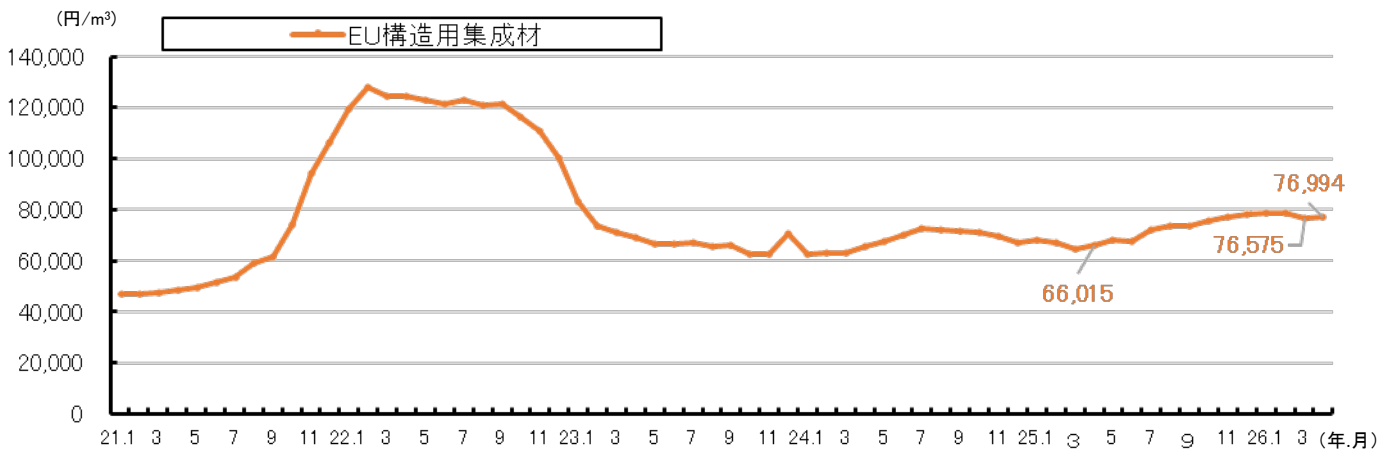
注3：四捨五入の関係で計は必ずしも一致しない。

- 2026年4月の製材輸入平均単価(総輸入額/総輸入量)は、前月比101%の62,569円/m³(前年同月比107%)。国別に見ると、カナダは前月比98%の67,020円/m³(前年同月比100%)、EUは前月比101%の55,472円/m³(前年同月比110%)、ロシアは前月比102%の57,063円/m³(前年同月比96%)。
- EUからの構造用集成材輸入平均単価は、前月比101%の76,994円/m³(前年同月比117%)。
- 合板輸入平均単価は、前月比99%の84,752円/m³(前年同月比110%)。

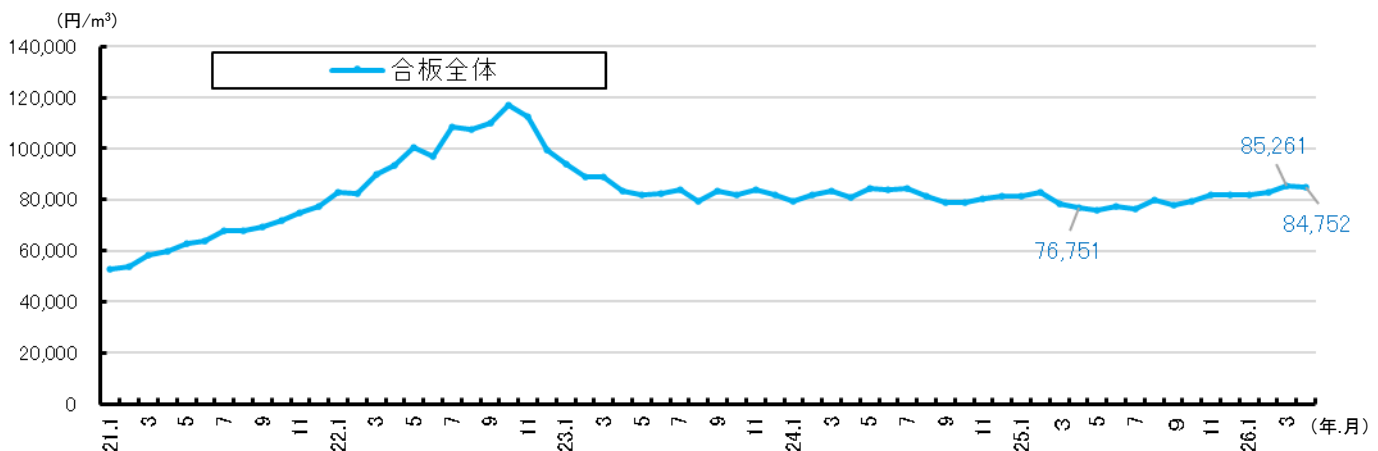
○製材の輸入平均単価



○EU構造用集成材の輸入平均単価



○合板の輸入平均単価



資料：財務省貿易統計

注：輸入平均単価は、総輸入額を総輸入量で割った値。

特用林産情報-1 特用林産物の国内生産量

- 2024年の食用きのこ類の生産量は43万4,900トン（対前年比99.8%）となった。
- たけのこの生産量は2万865トン（対前年比126.2%）となった。
- 木炭の生産量は1万207トン（対前年比91.3%）となった。

〇きのこ類

単位:トン

年次	品目	きのこ類													
		しいたけ計	乾しいたけ	乾しいたけ (生換算値)	生しいたけ	きのこ類		なめこ	えのきたけ	ひらたけ	ぶなしめじ	まいたけ	エリンギ	きくらげ類	まつたけ
						原木栽培	菌床栽培								
2012	平成24	92,414	3,705	25,938	66,476	8,426	58,050	25,816	134,097	1,883	122,276	43,251	38,163	819	16
2013	25	92,437	3,499	24,491	67,946	7,707	60,239	23,383	133,647	2,290	117,363	45,453	40,200	765	38
2014	26	89,093	3,175	22,222	66,872	7,437	59,435	21,796	135,919	2,327	115,751	49,541	39,645	894	42
2015	27	86,284	2,631	18,415	67,869	7,611	60,258	22,897	131,683	3,263	116,152	48,852	39,692	1,182	71
2016	28	88,241	2,735	19,141	69,100	7,324	61,778	22,935	133,297	3,449	116,271	48,523	40,475	1,278	69
2017	29	86,767	2,544	17,807	68,961	6,393	62,568	22,946	135,615	3,828	117,712	47,728	39,088	1,710	18
2018	30	88,196	2,635	18,442	69,754	5,965	63,789	22,809	140,038	4,001	117,916	49,670	39,413	2,309	56
2019	令和元	87,971	2,414	16,901	71,071	5,914	65,157	23,285	128,974	3,862	118,597	51,108	37,635	2,315	14
2020	2	86,394	2,302	16,115	70,280	5,396	64,884	22,835	127,914	3,824	122,802	54,993	38,500	3,132	32
2021	3	86,573	2,216	15,514	71,058	4,981	66,078	24,063	129,587	4,463	119,545	54,521	38,344	3,031	39
2022	4	82,048	2,034	14,241	67,807	4,328	63,479	23,738	126,321	4,501	122,840	56,763	37,798	2,961	35
2023	5	76,088	1,816	12,714	63,374	3,995	59,379	23,752	117,543	4,630	117,924	55,290	35,793	2,904	19
2024	6	72,974	1,574	11,015	61,959	3,272	58,688	23,874	120,678	4,004	117,536	56,609	34,639	3,003	51

注:乾しいたけの生換算値は「乾燥重量×7」により算出した。

〇その他食品

単位:トン

年次	品目	その他食用		
		くり	たけのこ	わさび (根茎+葉柄)
2012	平成24	20,900	39,244	2,670
2013	25	21,000	24,203	2,381
2014	26	21,400	36,364	2,328
2015	27	16,300	28,980	2,213
2016	28	16,500	35,619	2,266
2017	29	18,700	23,582	2,214
2018	30	16,500	25,364	2,080
2019	令和元	15,700	22,285	1,973
2020	2	16,900	26,449	2,017
2021	3	15,700	19,917	1,886
2022	4	15,600	21,798	1,635
2023	5	15,000	16,528	1,384
2024	6	14,000	20,865	1,497

注:くりの生産量は、農林水産省大臣官房統計部『果樹生産出荷統計』、『令和6年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量』による。

〇非食品

年次	品目	非食品																
		生うるし	木ろう	竹材	桐材	木炭	竹炭	オガ炭	オガライト	薪	木質粒状燃料	つばき油	しきみ	さかき	煉炭	豆炭	木酢液	竹酢液
		kg	t	千束	m ³	t	t	t	t	層積m ³	t	kl	t	t	t	t	kl	kl
2012	平成24	1,438	18	1,199	589	22,646	1,002	6,615	1,051	62,071	98,184	44	2,176	860	11,283	12,696	2,136	242
2013	25	1,045	24	1,196	647	21,409	1,119	7,060	435	74,683	110,092	36	1,960	854	7,446	8,831	2,134	232
2014	26	1,003	28	1,178	669	20,281	599	6,869	318	84,659	126,035	50	1,958	908	7,841	10,742	2,100	213
2015	27	1,182	19	1,235	599	17,711	499	7,643	261	72,493	119,570	47	1,892	1,016	6,104	8,235	2,497	185
2016	28	1,294	24	1,272	492	16,769	411	6,553	185	82,584	120,162	70	1,875	1,091	5,123	7,262	2,774	203
2017	29	1,434	15	1,196	465	15,942	526	6,628	88	82,839	126,532	61	1,881	945	6,615	7,306	2,410	193
2018	30	1,845	41	1,143	404	14,699	534	6,479	79	76,659	131,401	45	1,586	811	5,936	6,846	2,450	197
2019	令和元	1,997	26	1,071	264	14,393	447	6,481	66	73,739	147,321	40	1,524	935	4,728	6,093	2,087	193
2020	2	2,051	21	1,030	200	12,945	451	6,363	31	83,536	148,726	42	1,672	866	4,054	5,735	1,743	151
2021	3	2,036	22	916	187	11,550	459	5,156	19	91,791	155,836	78	1,865	1,075	3,972	5,123	1,708	192
2022	4	1,766	22	828	230	11,882	426	4,773	5	91,516	158,046	69	1,774	1,000	3,615	4,830	1,689	190
2023	5	1,651	23	898	275	11,176	526	5,715	4	100,167	158,646	40	1,663	1,032	3,294	3,958	1,537	174
2024	6	1,792	23	879	312	10,207	642	5,460	3	99,161	151,868	35	1,450	900	2,084	3,248	1,387	149

注:1 木炭は白炭、黒炭、粉炭を含む。

2 煉炭、豆炭の生産量は日本煉炭工業会調べによる。

資料:農林水産省『令和6年特用林産基礎資料』(2025年7月29日公表、2025年12月26日訂正)

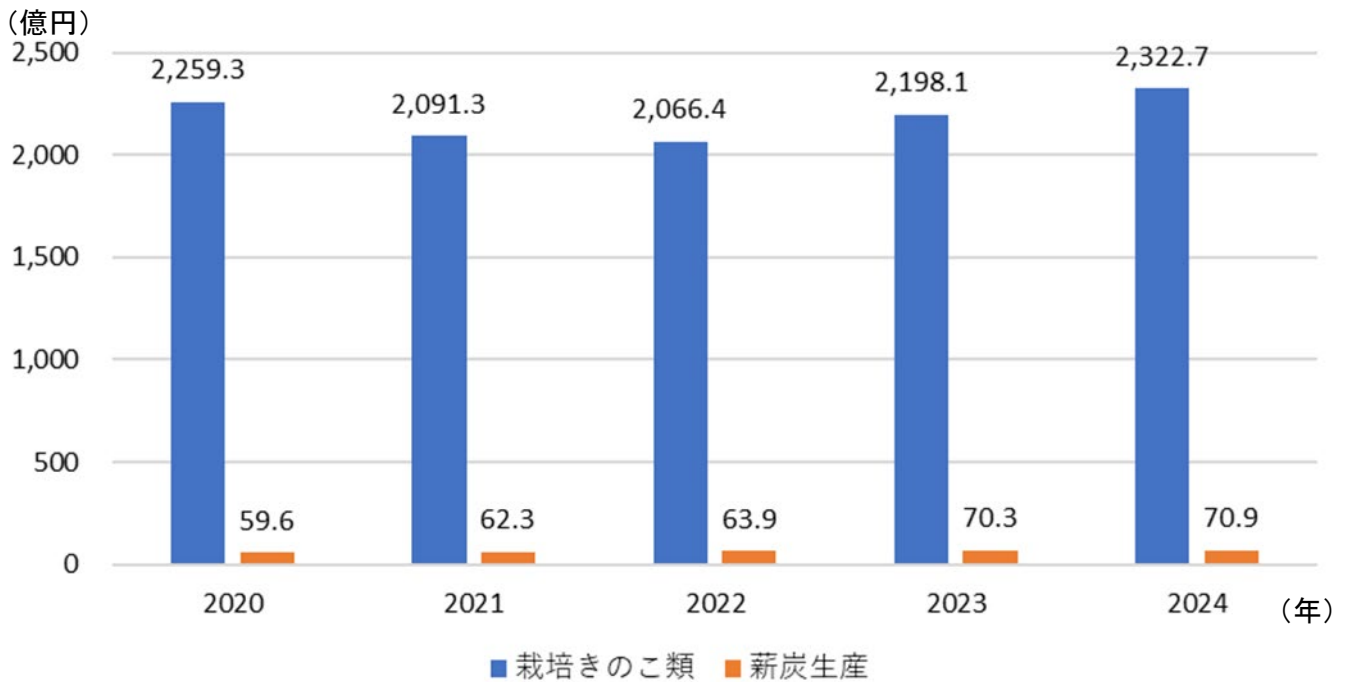
特用林産情報-2 特用林産物の産出額

- 2024年のきのこ類の林業産出額は、2,322.7億円（対前年比105.7%）となった。
- 薪炭の林業産出額は、70.9億円（対前年比100.9%）となった。

（億円）

	2020	2021	2022	2023	2024
栽培きのこ類	2,259.3	2,091.3	2,066.4	2,198.1	2,322.7
薪炭生産	59.6	62.3	63.9	70.3	70.9

出典：林業産出額



資料：農林水産省「令和6年林業産出額」

特用林産情報-3 特用林産物の輸出入量

- 2026年4月の乾しいたけの輸出量は0トン、輸入量は415トン。
- 2026年4月の木炭の輸出量は8トン、輸入量は5,513トン。

特用林産物の輸出入量

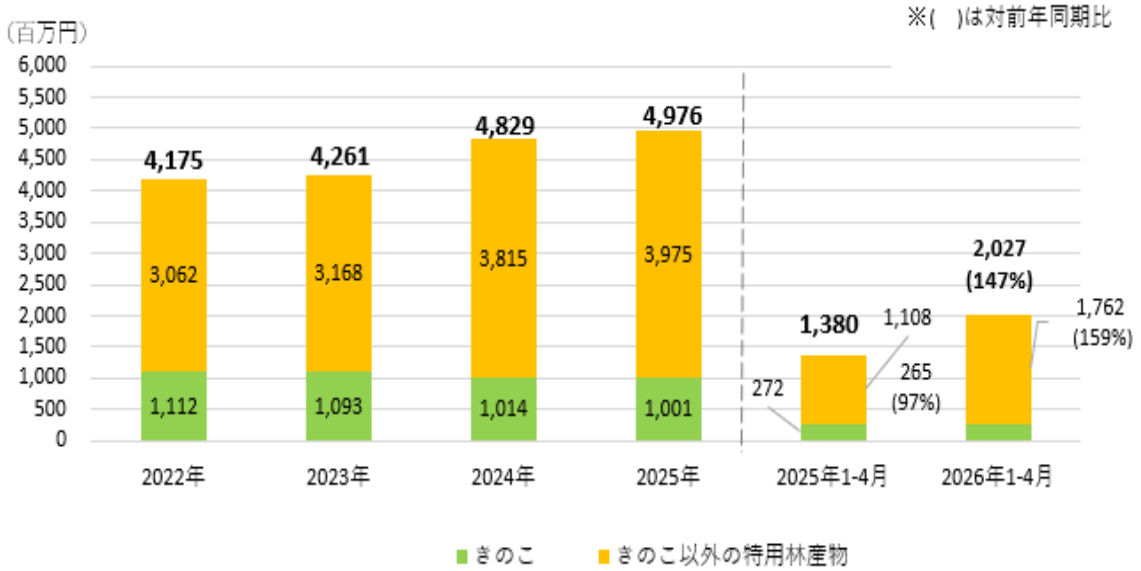
品目	単位	2022		2023		2024		2025		2026 4月	
		輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量	輸出量	輸入量
乾しいたけ	トン	36	4,596	36	4,350	40	4,292	57	4,268	0	415
生しいたけ	トン	14	2,262	16	2,162	16	2,691	13	3,583	1	166
なめこ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
えのきたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ひらたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
ぶなしめじ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
まいたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
エリンギ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きくらげ類	トン	76	24,882	47	22,831	42	24,563	42	24,873	8	3,008
まつたけ	トン	0	408	0	481	0	487	0	526	-	-
くり	トン	…	8,481	…	8,585	…	7,415	…	6,925	…	191
くるみ	トン	…	53,991	…	54,099	…	55,483	…	53,538	…	5,746
たけのこ	トン	…	153,619	…	130,160	…	127,708	…	125,467	…	10,866
ねまがりたけ	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
わさび	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
おうれん	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
きはだ皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
木ろう	トン	5	10	7	5	7	15	7	15	0	6
生うるし	kg	…	23,880	…	28,140	…	29,420	…	25,395	…	1,008
つばき油	kl	…	218	…	210	…	138	…	136	…	1
竹皮	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹材	千束	0	159	0	163	0	130	0	120	-	8
桐材	m ³	…	9,813	…	9,910	…	9,337	…	8,824	…	725
木炭	トン	205	78,838	268	78,816	179	74,345	187	70,142	8	5,513
竹炭	トン	6	9,666	1	12,401	3	10,411	2	13,055	0	390
木酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
竹酢液	kl	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
薪	層積m ³	558	9,048	580	8,508	328	6,035	562	6,724	152	892
オガライト	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
オガ炭	トン	…	43,396	…	45,198	…	44,785	…	46,569	…	4,600
煉炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
豆炭	トン	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

資料：財務省貿易統計

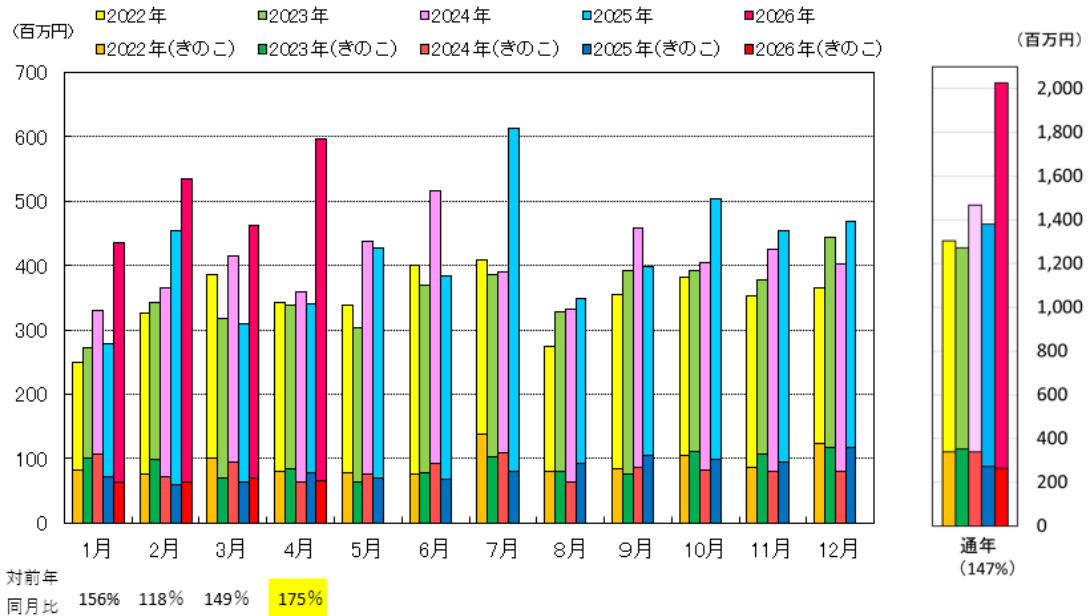
注：「…」は事実不詳又は調査を欠くもの、「-」は該当数値が無いもの、「0」は四捨五入による単位未満を表している。

- 2026年1～4月の特用林産物輸出額は2,027百万円（前年同期比147%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）は265百万円（対前年同期比97%）、きのこ以外は1,762百万円（対前年同期比159%）となった。
- 4月の輸出額は、595百万円（対前年同月比175%）となった。内訳としては、きのこ（乾しいたけを含む）が66百万円（対前年度同月比84%）、きのこ以外は530百万円（対前年同月比202%）となった。

○特用林産物輸出額全体の推移（累計）



○特用林産物輸出額全体の推移（月別）



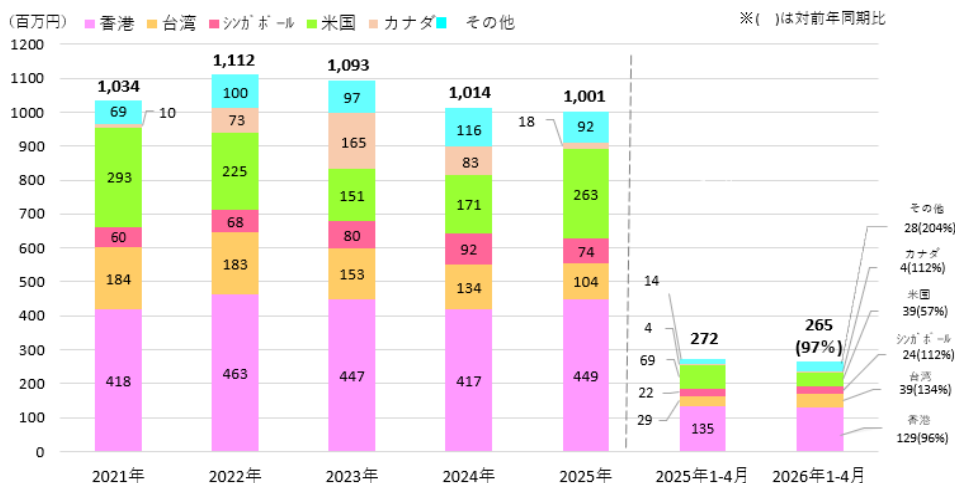
資料：財務省貿易統計

※生鮮きのこ、乾しいたけのほか、ロジン、植物性ろう等を含み、木質ペレット、チップ、薪、木炭は含まず。
 ※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ、しいたけ以外の乾燥きのこを計上した。

特用林産情報- 4 特用林産物の輸出額②

- 2026年1～4月のこの輸出額は265百万円で、対前年同期比97%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比96%、台湾が134%、シンガポールが112%、米国が57%となっている。
- 2026年1～4月の輸出量は281トンで、対前年同期比93%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比102%、台湾が89%、シンガポールが99%、米国が55%となっている。

○きのこ（乾しいたけ含む）輸出額の推移（累計）



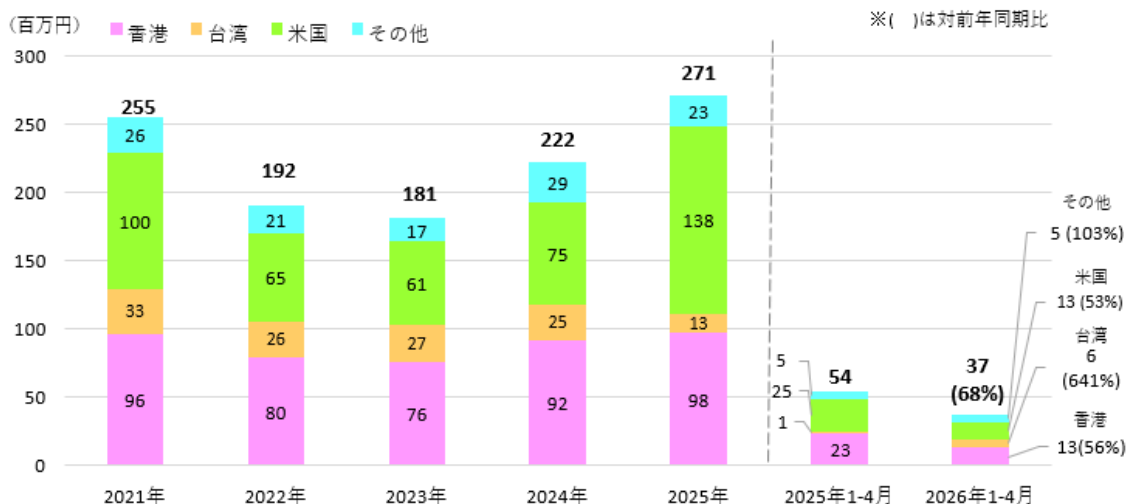
資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

※令和2年の定義見直しにより、令和3年実績から、生鮮きのこ、乾しいたけに加え、乾燥きくらげ類、調整きのこ、保存処理をしたきのこ及びしいたけ以外の乾燥きのこを計上している。

- 2026年1～4月の乾しいたけの輸出額は37百万円で、対前年同期比68%となっている。国別には、主要な輸出先である香港が対前年同期比56%、台湾は641%、米国は53%となっている。
- 2026年1～4月の輸出量は4トンで、対前年同期比40%となっている。主要な輸出先では、香港が対前年同期比54%、台湾が279%、米国が24%となっている。

○乾しいたけ輸出額の推移（累計）

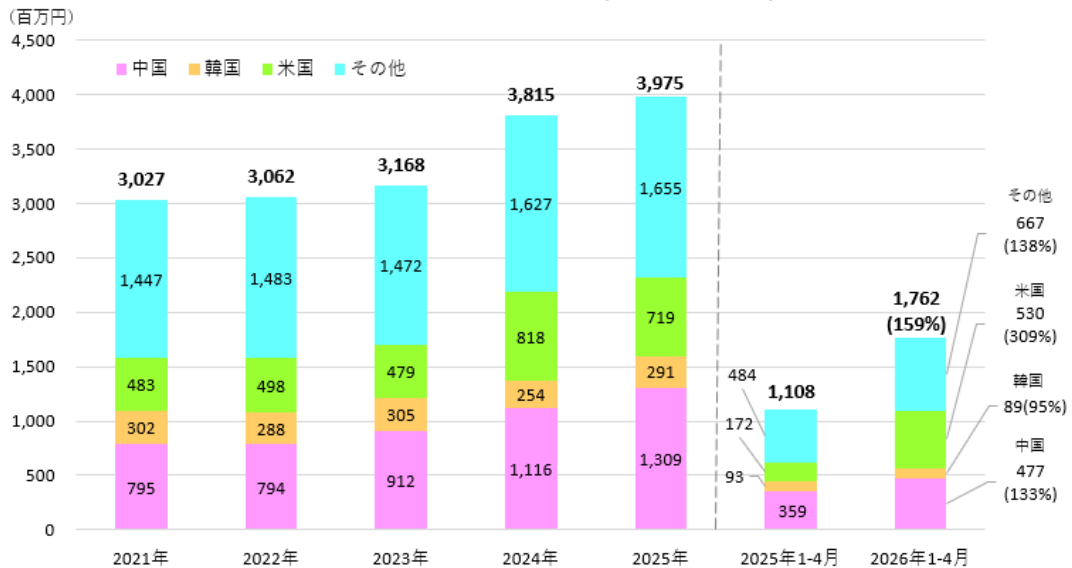


資料：財務省貿易統計

※()は対前年同期比

- 2026年1～4月のきのこ以外の特用林産物の輸出額は1,762百万円で、対前年同期比159%となっている。国別には、中国が対前年同期比133%、韓国が95%、米国が309%となっている。取引額の大きい品目では、ロジン（松脂）が対前年同期比122%、植物性ろうが133%、テルペン油が220%となっている。
- 2026年1～4月の輸出量は931トンで、対前年同期比123%となっている。主要な輸出先では、中国が対前年同期比126%、韓国が75%、米国が116%となっている。

○きのこ以外の特用林産物の輸出額の推移（累計）



資料：財務省貿易統計
※()は対前年同期比

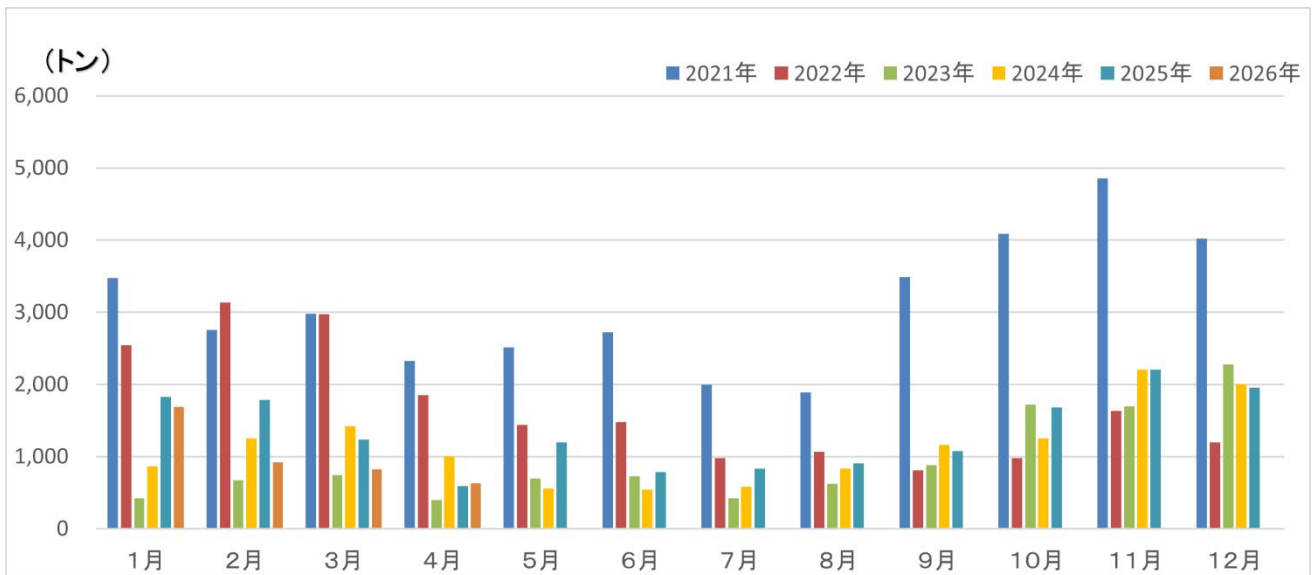
特用林産情報-5 中国からのしいたけ菌糸輸入量

- 中国からのしいたけ菌糸の輸入量は近年増加傾向にあったが、生しいたけの原産地表示のルール改正があった2022年4月以降は減少傾向に転じている。
- 2026年4月の輸入量は631トンであり、対改正前の同月比27.1%となっている。

○中国からのしいたけ菌糸輸入量（月別）

（単位：トン）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2021年 (令和3年)	3,472	2,757	2,984	2,330	2,513	2,722	1,996	1,889	3,488	4,092	4,856	4,022
2022年 (令和4年)	2,548	3,136	2,975	1,850	1,439	1,482	980	1,068	808	979	1,634	1,199
2023年 (令和5年)	420	675	746	395	695	732	424	622	880	1,726	1,702	2,278
2024年 (令和6年)	867	1,253	1,424	1,002	562	541	580	832	1,162	1,258	2,206	2,004
2025年 (令和7年)	1,831	1,787	1,237	590	1,200	785	834	906	1,076	1,681	2,205	1,955
2026年 (令和8年)	1,688	923	824	631								



資料：財務省貿易統計

特用林産情報- 6 きのか類の卸売数量・単価

- 2026年5月のきのかの卸売数量は5,804トン（対前年同月比98.0%）となった。
- 2026年5月のきのかの卸売総額は2,926百万円（対前年同月比99.4%）となった。

きのか類の卸売数量

単位：トン

	2023年	2024年	2025年	2025年 5月	2025年 12月	2026年 1月	2026年 2月	2026年 3月	2026年 4月	2026年 5月
生しいたけ	41,526	41,335	41,322	1,303	1,910	1,574	1,371	1,435	1,267	1,240
なめこ	14,428	14,329	15,056	485	534	476	470	527	486	470
えのきだけ	82,563	82,716	86,956	2,547	3,790	3,742	3,302	3,420	2,975	2,575
しめじ	55,221	52,450	51,949	1,590	1,954	1,802	1,801	1,859	1,640	1,519
合計	193,738	190,830	195,283	5,925	8,188	7,594	6,944	7,241	6,368	5,804

きのか類の卸売総額

単位：百万円

	2023年	2024年	2025年	2025年 5月	2025年 12月	2026年 1月	2026年 2月	2026年 3月	2026年 4月	2026年 5月
生しいたけ	40,866	40,948	40,542	1,244	2,285	1,818	1,478	1,417	1,190	1,203
なめこ	6,593	6,866	6,921	227	275	244	234	241	222	231
えのきだけ	25,259	28,128	29,674	751	1,859	1,592	1,280	1,036	810	775
しめじ	25,701	25,892	25,784	721	1,254	1,054	937	827	727	718
合計	98,419	101,834	102,921	2,943	5,673	4,708	3,930	3,521	2,949	2,926

きのか類の卸売単価

単位：円/kg

	2023年	2024年	2025年	2025年 5月	2025年 12月	2026年 1月	2026年 2月	2026年 3月	2026年 4月	2026年 5月
生しいたけ	984	991	981	955	1,196	1,155	1,078	987	939	970
なめこ	457	479	460	469	514	512	498	457	456	491
えのきだけ	306	340	341	295	491	426	388	303	272	301
しめじ	465	494	496	453	642	585	521	445	443	472

資料：農林水産省「青果物卸売市場調査」を基に作成。

注1：月別の値は、全国の中央卸売市場のうち、一部の主要卸売市場で得られた旬別の調査結果を単純積み上げて集計したものである。

注2：年別の値は、全国の中央卸売市場の各年の調査結果及び農林水産省が保有する全国の地方卸売市場における直近の年度の市場情報を基に算出された推定値である。

林野庁が関係（主催・後援等）する各種セミナー・イベントの情報をご紹介します。

■ 6月中旬以降の開催情報

イベント名	開催日時	会場	イベント概要
ウッドデザイン賞2026	【自薦】 2026年6月22日(火) ～7月31日(金) 【他薦】 2026年4月1日(水) ～7月3日(金)	オンライン募集	木の良さや価値を再発見させる木製品や建築物、木材を利用し地域の活性化につなげている取組など、木材を活用した様々な取組を幅広く表彰するコンクール 主催：(一社)日本ウッドデザイン協会 推薦方法：下記(詳細)のページからご推薦ください 詳細：【自薦】 https://www.wooddesign.jp/ 【他薦】 https://www.jwda.or.jp/cms/news/contents/327/
令和8年度木材利用推進コンクール	2026年6月8日(月) ～7月13日(月)	オンライン募集	木材利用の一層の推進を図るため、特色ある木材利用に資する施設、国産材利用の拡大に向けた取組を行っている建築事業者等を表彰するコンクール 主催：木材利用推進中央協議会 応募方法：下記(詳細)のページからご応募ください。 詳細： https://www.jcatu.jp/competition/
森業キックオフ・フォーラム—森と人、山村と都市をつなげる森業の可能性—	2026年7月7日(火)	木材会館 7階大ホール (東京都江東区新木場1-18-8)	全国のトップランナーが集い、森と人、山村と都市をつなげる森業の可能性について発信 主催：林野庁 事前申込：下記(詳細)のページからお申込みください。 ※定員に達し次第終了 詳細： https://www.rinya.maff.go.jp/j/sin_riyou/morigyo/R8_kickoff.forum.html
オーストリアにおける日本の林業専門家向け林業研修	2026年9月28日(月) ～10月2日(金)	オーストリア・オーバーエスターライヒ州トラウンキルヘン森林教育センター	オーストリア政府が主催する日本人向けの林業実務研修で、森林施業や林業機械など、オーストリア林業の実践を現地で学ぶ研修プログラム。研修期間中は日本語の通訳が同行。 ※本研修は、農林水産省とオーストリア農林・地域・水資源管理省が署名した協力覚書の活動の一環として実施。 主催：森林・自然災害・景観に関する連邦研究研修センター 応募方法：下記(詳細)のページをご覧ください、メールにてご応募ください。 詳細： https://www.advantageaustria.org/jp/news/20260302_Special_Forestry_Training_Course_for_Japan.ja.html
GREEN × EXPO 2027 (2027年国際園芸博覧会)	2027年3月19日(金) ～9月26日(日)	2027年国際園芸博覧会(横浜市上瀬谷)	「幸せを創る明日の風景」をテーマに、2027年3月から横浜で開催される国際園芸博覧会 主催：GREEN × EXPO協会 事前申込：入場チケット購入(2026年3月19日～前売りチケット販売中) 詳細： https://expo2027yokohama.or.jp/

GREEN×EXPO 2027は

横浜

で。



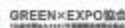
公式マスコットキャラクター
トウクントウク

地球と。咲きに行こう。 The Blooming Field of Planetary Citizens.

GREEN×EXPO 2027

YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会
横浜・上瀬谷 2027.3.19—9.26
International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan
City of Yokohama, Kanagawa Prefecture Mar.19-Sep.26 2027



A1クラスの国際園芸博覧会
37年ぶりの日本開催

「GREEN×EXPO 2027」とは

2027年に神奈川県横浜市(旧上瀬谷通信施設)で開催される国際園芸博覧会の略称です。「植物」、「花」、「緑」を総称し、「自然」、「環境にやさしい」という「GREEN」、国際的に共通する課題の解決に寄与する国際博覧会「EXPO」という語を掛け合わせ、これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し、世界と共有する場であることを表現しました。日本では1990年の大阪花の万博以来37年ぶりとなる最上位(A1クラス)での開催で、BIE(博覧会国際事務局)認定の万博でもあります。



公式マスコットキャラクター
トウンクトウンク

「テーマ」

「幸せを創る明日の風景」

Scenery of the Future for Happiness

横浜スタジアム約28個分、
約100ヘクタールの広大なエリア

1000万株の花と緑が集結

四季折々の花と緑が集い、豊かな自然や生物多様性を体感できる空間が広がります。会期初めには、約40種600本の桜が咲き誇ります。



開催場所

神奈川県横浜市 旧上瀬谷通信施設

開催期間

2027年3月19日(金)~9月26日(日)

公式SNS

公式ウェブサイト



X

Instagram

Facebook

YouTube

LinkedIn

お問い合わせ

GREEN×EXPO協会(公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会)

☎ 045-307-2027 ✉ info@expo2027yokohama.or.jp



2025年8月版

お問合せ先：
農林水産省農産局園芸作物課
花き産業・施設園芸振興室 (TEL: 03-6738-6162)

お知らせ



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2026

ウッドデザイン賞 2026 作品募集!



募集期間

2026年6月22日～7月31日



詳細はこちらへ <https://www.wooddesign.jp/>



お知らせ

実施概要

- 名称: ウッドデザイン賞2026
- 応募受付期間: 2026年6月22日(月)10:00～ 7月31日(金)18:00
- 応募対象分野: 建築・空間、技術・建材、プロダクツ、コミュニケーション、調査・研究の5分野
- 表彰部門

ライフスタイルデザイン部門～木を活かして質の高いライフ&ワークスタイルを提案しているものが対象
 ハートフルデザイン部門～木を活かして心身を健やかにしてWell-beingの実現が期待されるものが対象
 ソーシャルデザイン部門～木を活かして森林・林業や地域・社会の持続性を向上させているものが対象

- 賞の構成 ※2025実績、賞構成は変更の場合があります

最優秀賞／「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」各1点

優秀賞／「林野庁長官賞」数点×3部門

特別賞／「日本の技・文化特別賞」(日本ウッドデザイン協会会長賞) 数点

奨励賞／「審査委員長賞」数点×3部門

ウッドデザイン賞(入賞)／二次審査を通過したものすべて

※賞構成は2025実績。

最優秀賞 【農林水産大臣賞】1点	最優秀賞 【経済産業大臣賞】1点	最優秀賞 【国土交通大臣賞】1点	最優秀賞 【環境大臣賞】1点
※すべての入賞の中から最も優れた作品			

ライフスタイルデザイン部門 優秀賞 数点 【林野庁長官賞】 <small>※本部門の入賞の中から特に優れた作品</small> 奨励賞 数点 【審査委員長賞】 <small>※本部門の入賞の中から今後に期待できる作品</small>	ハートフルデザイン部門 優秀賞 数点 【林野庁長官賞】 <small>※本部門の入賞の中から特に優れた作品</small> 奨励賞 数点 【審査委員長賞】 <small>※本部門の入賞の中から今後に期待できる作品</small>	ソーシャルデザイン部門 優秀賞 数点 【林野庁長官賞】 <small>※本部門の入賞の中から特に優れた作品</small> 奨励賞 数点 【審査委員長賞】 <small>※本部門の入賞の中から今後に期待できる作品</small>	日本の技・文化特別賞 <small>(日本ウッドデザイン協会会長賞)</small> 数点 <small>※プロダクツ、建材分野が対象</small>
---	---	---	---

最終審査にて選出

ウッドデザイン賞(入賞)

ウッドデザイン賞の主な流れ



主催団体: 一般社団法人日本ウッドデザイン協会

木を活用した社会課題の解決をめざす取り組みを「ウッドデザイン」と定義し、「ウッドデザイン」に関わるあらゆる分野において、調査、研究、開発、事業創造、普及及び啓発することを目的として設立された団体(一般社団法人)です。会員相互の連携並びにあらゆるステークホルダーとの対話及び協力によって、木のある豊かな暮らし、木材利用、森林・林業の成長産業化及び地方創生を推進して、カーボンニュートラルやSDGsへの貢献、持続可能な社会の実現を目指しています。



JWDA
もっと、木と

名称 一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
 英文名 Japan Wood Design Association (略称: JWDA)
 設立 2021年11月18日
 所在地 東京都千代田区大手町1丁目2番1号
 Otemachi Oneタワー6階 ワークスタイリング内
 会長 隈 研吾
 会員 201 (企業、団体、自治体等、2026年2月時点)



<https://www.jwda.or.jp>

「ウッドデザイン賞」公式ウェブサイト
 ●最新情報を随時公開しています



お知らせ

ウッドデザイン賞2026 「あなたのおすすめウッドデザイン」 キャンペーン ご推薦期間：4.1 (水) → 7.3 (金)



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2026

このデザイン素敵！

これは新しい木の使い方！

世の中に広めたい！

「あなたのおすすめウッドデザイン」をご紹介ください！

ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させる製品や取組について、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する顕彰制度です。皆様の周りで木を使った建築や空間、家具、雑貨、遊具などの製品、木を使うことを促進する活動や取組など、「これはウッドデザイン賞にふさわしい素晴らしい素晴らしい作品だ」と思うものをご紹介ください。応募のご案内を差し上げます。



ご推薦方法



<https://forms.gle/eRceX57JAUhEv94GA>

二次元コードにアクセス
または上記URLより
必要事項を入力してください



ご推薦いただいた事業者の方へ、事務局よりメールにてウッドデザイン賞応募のご案内をさしあげます。



推薦された事業者自らが賞に応募いただけます。
応募締切：7/31(金)18時

※ 注意事項

- ✓ ご紹介いただいた情報をもとに、事務局において過去の応募履歴等予備審査を行い、支障のないものについて、賞の応募に関するご案内を差し上げます。
- ✓ どこからの紹介であるかは特定できない形で先方にご案内いたします。被推薦者には推薦者についての情報はお知らせしません。
- ✓ ウッドデザイン賞の可否は審査委員会による審査により決定し、ご紹介いただいた作品の受賞を確約するものではありません。推薦の有無は審査には影響いたしません。
- ✓ 事務局での対応の時間、及びご紹介先の応募に必要な登録作業等の時間を考慮し、おすすめ期間は、7月3日までとしております。
- ✓ 応募手続き等は、一般の応募者と同様になります。

ウッドデザイン賞の詳細はこちら

<https://www.wooddesign.jp/>

一般社団法人日本ウッドデザイン協会

Japan Wood Design Association (JWDA)

〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目2番1号

Otemachi Oneタワー6階 ワークスタイリング内

<https://www.jwda.or.jp>

会員募集中！

詳しくはサイトをご覧ください



① 建築・空間分野

2021年10月1日から
2026年10月1日に竣工

② 技術・建材分野 ▶

2026年10月1日までに成果が出ているもの / 建材はプロダクツに同じ



③ プロダクツ分野

2026年10月1日に日本
国内の市場にでているもの



④ コミュニケーション分野 ▶

2026年10月1日までに実施実績のあるもの



⑤ 調査・研究分野

2026年10月1日時点で
公開可能なもの

ご紹介いただいた方の中から抽選で JWDAオリジナルの木製グッズをプレゼント！



(応募ご注意ください) 厳正なる抽選の上、当選された方にはメールでご連絡いたします。メールアドレスは正しくご入力ください。プレゼントの発送のため、ご住所・お電話番号及びご希望のプレゼントをお尋ねいたします。いただいた個人情報は、プレゼントの応募・発送にのみ使用させていただきます。



令和8年度 木材利用推進コンクール 公募のご案内



木材利用推進中央協議会では、木材利用の一層の促進を目的としたコンクールを平成5年から30年以上にわたり開催しています。現在は、特色のある木造施設等を対象とする「優良施設部門」と、国産材利用に積極的に取り組む企業を対象とする「国産材利用推進部門」の2部門で構成されています。

優良施設部門では内閣総理大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、文部科学大臣賞の5大臣賞ほか各賞、国産材利用推進部門では農林水産大臣賞ほか各賞が授与されます。

令和6年度からコンクール名称を変更し、木材の利用推進の観点から、他のモデルとなるような普及性の要素を新たに加えて審査・選考を行うこととしています。みなさま奮ってのご応募をお待ちしております。

【募集期間】令和8年6月8日(月)
~7月13日(月)

主催：木材利用推進中央協議会
後援：農林水産省、国土交通省、環境省、文部科学省
森林(もり)を活かす都市(まち)の木造化推進協議会
共催：都道府県木材利用推進協議会

賞の構成

Awards

<優良施設部門>

- ◆内閣総理大臣賞(1点)
- ◆国土交通大臣賞(1点)
- ◆農林水産大臣賞(1点)
- ◆林野庁長官賞(1~2点)
- ◆木材利用推進中央協議会会長賞(2点程度)
- ◆審査委員会特別賞(2点程度)
- ◆優秀賞(応募数の5割から特賞を除いた点数。※計50点程度まで)

<国産材利用推進部門>

- ◆農林水産大臣賞(1点)
- ◆林野庁長官賞(1~2点)
- ◆木材利用推進中央協議会会長賞(2点程度)

お知らせ

応募対象

<優良施設部門>

本コンクール「優良施設部門」の受賞施設以外であって、令和4年度以降令和8年5月までに建設された以下の施設とします。

ア 木造施設、内装木質化施設

学校等施設、研修・多目的交流等施設、保育園等施設、展示・資料館等施設、保健・保養・ケア・病院等施設、住宅団地等施設、体育館・音楽堂等施設、交通関係施設、宿泊施設、庁舎・事務所等施設、商業施設等

イ 街づくり施設

公園遊具、モニュメント、外構施設、土木施設(木道、木柵、木橋、木製ガードレール、堰堤等)等

※戸建て住宅及び国が整備した施設は除きます。

<国産材利用推進部門>

◆川中:国産材製品の生産及び販売、流通を通じて、利用拡大に取り組む企業【製材、集成材、合板、建材、流通、プレカット事業者等】

◆川下:国産材を多く利用するとともに、普及啓発等の利用拡大に取り組む企業【住宅メーカー、ゼネコン、施主(店舗・事業所)等】

・令和7年(または令和7年度)における国産材の利用推進に係る取組とします。

・本コンクールにおいて、農林水産大臣賞を過去5年間受賞していない建築事業者等とします。

ただし、優良施設部門における受賞履歴は問わないものとします。

審査基準

審査は、主に以下の視点に基づいて行います。詳細は実施要領をご確認ください。

<優良施設部門>

- (1) 地域の木材を持続的かつ有効に活用するための工夫
- (2) 建築物の木造化・木質化のための工夫
- (3) 木材利用による地球温暖化防止等への貢献
- (4) デザインや快適な空間づくり等における工夫

<国産材利用推進部門>

- (1) 国産材の取引量が顕著なことによる国産材利用の推進
- (2) 持続可能な国産材利用の推進
- (3) 国産材利用を促すための普及活動の推進
- (4) 地域貢献等を目的とした国産材利用の推進

※実施要領掲載のHP:<https://www.jcatu.jp/competition>

審査委員(敬称略)

<優良施設部門>

委員長 腰原 幹雄	東京大学生産技術研究所 教授
委員 三井所 清典	公益社団法人日本建築士会連合会 名誉会長
安藤 範親	株式会社農林中金総合研究所 リサーチ&ソリューション第2部 マネージャー
安井 昇	NPO法人TeamTimberize 理事長
松原 恵理	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 木材研究部門 複合材料研究領域 積層接着研究室 室長
鈴木 恵千代	一般社団法人日本空間デザイン協会 元会長
北谷 明日香	一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会 会長
長澤 悟	株式会社教育環境研究所 所長
政府・団体	一般社団法人全国木材組合連合会 会長 林野庁 文部科学省 国土交通省 環境省

<国産材利用推進部門>

委員長 伊神 裕司	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 研究ディレクター(木質資源利用研究担当)
委員 塚本 愛子	公益社団法人高知県森と緑の会 専務理事
辻 潔	株式会社日本林業調査会代表取締役 (隔週刊「林政ニュース」発行責任者)
政府・団体	一般社団法人全国木材組合連合会 会長 林野庁

応募方法

応募様式をコンクールのWebサイトからダウンロードして応募資料を作成してください。

(応募は専用の応募フォームよりお願いします。応募様式はExcelで作成した電子ファイルに限ります。)

<応募様式のダウンロード、応募資料の提出は下記特設サイトから>

<https://www.jcatu.jp/competition/>

※募集に関するお問い合わせは、次のメールアドレスにお願いします。 < contest-2026-accept@zenmoku.jp >



お知らせ

受賞作品等は『写真で見る「木」の施設』木造事例集(令和8年度版)や、2027年版カレンダーなどの木材利用の普及に資する媒体に掲載させていただきます。



【お問い合わせ先】

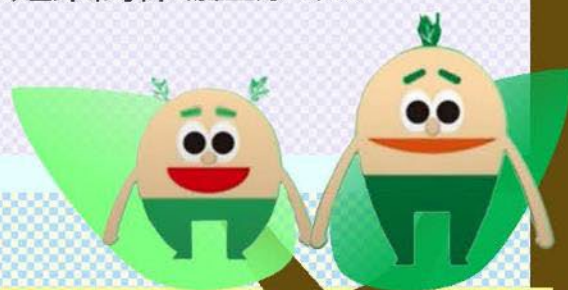
木材利用推進中央協議会 担当 米田、染谷、末藤
〒102-0082
東京都千代田区一番町25番地 全国町村議員会館6階
TEL 03-6261-9134 / FAX 03-6261-9133

令和8年度 木材利用推進コンクール 〈国産材利用推進部門〉

この部門について

国産材をたくさん使うために努力する建築関係(施主除く)の企業の取組や成果を顕彰します。

※個別の施設ではありません。



こんな企業を募集します

- ・国産材をたくさん使ってきた実績を評価してほしい。
- ・国産材利用をアピールする機会がほしい。
- ・木材利用推進協定等に係る取組、成果を評価してほしい。
- ・国産材の利用拡大に向けた普及啓発の取組を知ってほしい。
- ・地域に根付いた木材利用の業績を評価してほしい。 etc..

募集の対象

国産材の利用促進に取り組む建築に関連する企業が応募できます。

〈川中〉

- ・製材 ・集成材
- ・合板 ・LVL ・CLT
- ・建材(外装・フローリング等)
- ・プレカット事業者
- ・流通事業者 等

〈川下〉

- ・ハウスメーカー
- ・工務店
- ・ゼネコン
- ・施主 等

※施主は、木造または木質化による店舗、事業所の展開を行う事業者

賞の構成

国産材の利用推進に関して優れた点がみとめられる企業に次の賞が授与されます。

〈最優秀〉農林水産大臣賞：1点

〈特賞〉林野庁長官賞：2点程度

木材利用推進中央協議会会長賞：2点程度

※応募状況等により変更となる場合があります。

審査の基準

下記8項目について審査します。

- | | |
|-------------|-----------------|
| ①木材利用量 | ⑤計画的な木材利用 |
| ②木材利用量の伸び率 | ⑥木材利用の推進を図る普及啓発 |
| ③木材利用量拡大の取組 | ⑦地域貢献 |
| ④社会課題への取組 | ⑧サプライチェーンの形成 |

※赤字は必須項目です。

【応募方法】

特設サイトから応募様式をダウンロードし、応募資料を作成のうえ、ご応募ください。

〈 <https://www.jcatu.jp/competition/> 〉



※応募に関するお問合せは、次のメールアドレスまでお願いします。
〈 contest-2026-accept@zenmoku.jp 〉

【お問い合わせ先】

木材利用推進中央協議会（担当：米田、染谷、末藤）
〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地
（全国町村議員会館6階）

TEL 03-6261-9134

FAX 03-6261-9133

クリーンウッド法

素材生産販売事業者、木材関連事業者の皆さま

木材の合法性確認を支援します！

令和7年4月に改正法が施行されたクリーンウッド法（※）では、川上・水際
の木材関連事業者による、木材・木材製品の合法性確認等が新たに義務付けら
れました。林野庁では以下のサポートを実施中です！

※正式名称「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律」

事業者の皆さまを
サポートします！

登録木材関連
事業者の目印！

クリーンウッドシステム

事業者の皆さまがクリーンウッド法に基
づく、原材料情報や合法性確認結果の保
存・伝達等をweb上で行うことができる
「クリーンウッドシステム」の運用を開
始しています。本システムは利用者登録
を行うことでパソコン、スマートフォン、
タブレット等から無料でご利用いただけ
ます。

クリーンウッドシステムの主な機能

- 1 原材料情報の登録
- 2 合法性確認結果の登録・記録の作成
- 3 情報伝達
- 4 報告書作成・データ集計

システムを使うと 記録の保存や検索が容易になります



ロゴマークを作成しました！

クリーンウッド法に基づき登録を受け、合
法性が確認できた木材・木材製品を積極的
に取り扱う「登録木材関連事業者」の証で
あるロゴマークを作成しました。
登録木材関連事業者としての認知度の向上
に役立ちます。

登録木材関連事業者ロゴマーク



CLEAN WOOD

登録木材関連事業者の皆さまは名刺、納
品書、パンフレットやウェブサイト等に
本ロゴマークを使用できます。是非ご活
用ください。

クリーンウッド
システム利用者
登録申請はこちら
から



ロゴマーク
の使用詳細
については
こちらから



クリーンウッド法は林野庁サイト「クリーンウッド・ナビ」で随時情報提供中！

クリーンウッド法に関する情報提供

クリーンウッド・ナビ

Clean Wood Navi



クリーンウッド法を
分かりやすく解説した
パンフレット等も掲載しています！



お問い合わせ先：林野庁木材利用課 合法伐採木材利用推進班 (TEL:03-6744-2496)

クリーンウッド法



定期報告の提出はお済みですか？

クリーンウッド法では、以下に該当する第1種木材関連事業者は定期報告を行う**義務**が法律で定められています。

対象となる事業者の皆さまにつきましては、ご提出お忘れのないようお願いいたします。

対象となる事業者

令和7年4月1日～令和8年3月31日の期間に第1種木材関連事業者として譲り受けた木材等が表の区分1～3の数量以上の事業者が対象です(1つの区分でも該当する場合、報告対象です)。

(表)	区分	数量	報告先
	区分1	国産材(丸太)の総量: 3万m ³	農林水産大臣
	区分2	輸入した「木材」を丸太換算した総量: 3万m ³	農林水産大臣
	区分3	輸入した家具・紙等の物品(「木材」以外)の総量: 1.5万トン	経済産業大臣

第1種木材関連事業者とは...

国内市場に最初に木材等(家具・紙等の物品含む)を持ち込む木材関連事業者のことです。具体的には以下のとおりです。

国産材を取り扱う場合	輸入材を取り扱う場合
<p>以下が第1種木材関連事業者に該当します</p> <p>(1) 素材生産販売事業者から素材(丸太等)を購入する事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伐採事業者から丸太を購入する製材工場 ・原木市場 ・原木を購入して輸出する事業者 <p>(2) 素材生産販売事業者から素材(丸太等)の販売を受託する事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木市場 ・原木流通事業者 <p>(3) 自ら所有する樹木を伐採し加工する事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社林を自社工場で製材し販売する事業者 (伐採の直営、委託を問わない) 	<p>以下が第1種木材関連事業者に該当します</p> <p>(1) 木材・木材製品の輸入を行う事業者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸入商社 ・代行輸入事業者 ・自ら輸入を行う合板工場等

point

例えば、製材工場の場合、素材生産販売事業者から直接購入したものは報告対象となりますが、原木市場から購入したものは報告対象外となります。詳細は次ページ▶を参照ください。

報告期限 **令和8年6月末日まで**

- ・報告内容
 - ・報告様式データのダウンロード
 - ・具体的な報告先
- などの詳細については「クリーンウッド・ナビ」の定期報告ページをご覧ください！



こちらより
アクセス！

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/goho/teiki/teiki.html>

お問い合わせ先：林野庁木材利用課 合法伐採木材利用推進班 (TEL:03-6744-2496)

クリーンウッド法 定期報告の提出はお済みですか？(つづき)

報告対象について

報告対象かどうかの確認方法から報告様式への記載までについて、事例を元にご説明します。各Stepを踏まえてご対応をお願いします。

事例 1年間で以下の木材等を譲受けをした製材工場について

- ① 素材生産販売事業者から35,000m³の国産丸太を購入（全量が合法性確認木材）
- ② 原木市場から5,000m³の国産丸太を購入（全量が合法性確認木材）
- ③ 海外事業者から10,000m³の製材を購入（うち、7,000m³が合法性確認木材）

◇Step 1

対象となる木材等の整理（第2種又は消費者として譲り受けた木材等は対象外）

- ・①、③は第1種として譲り受けた木材であるため対象
- ・②は第2種として譲り受けた木材であるため対象外

◇Step 2

対象となる木材等の単位の統一（木材については丸太換算）

- ・③の製材10,000m³ = 16,000m³（工場で通常用いられる丸太換算係数：1.6を使用）

◇Step 3

第1種事業者として譲り受けた各区分の総量を求め報告の要否について確認

※③の材積は丸太換算後の数値

	第1種事業者として譲り受けた木材等			第2種事業者 又は消費者として 譲り受けた木材等（対象外）
	国産材 【区分1】	輸入木材等		
		木材 【区分2】	家具・紙等の物品 【区分3】	
①丸太	35,000m ³			
②丸太				第2種として譲り受けた木材であるため対象外5,000m ³
③製材		16,000m ³		
合計	35,000m ³	16,000m ³	0 トン	
基準	30,000m ³	30,000m ³	15,000 トン	

⇒ 区分1で基準以上となるため、全ての区分について報告の必要あり

◇Step 4

報告内容及び報告先

- ・譲り受けた木材等の総量：区分1 = 丸太35,000m³、区分2 = 製材10,000m³、区分3 = 0 トン
- ・合法性確認木材等の数量：区分1 = 丸太35,000m³、区分2 = 製材 7,000m³、区分3 = 0 トン

⇒ 木材のみを取り扱ったため、農林水産大臣 宛てに報告

<定期報告様式への記載例>

区分	譲受け等に係る木材等の総量（入荷量）			うち合法性確認木材等の数量		樹種	備考
	木材等の種類	総量	単位	数量	単位		
1	国産材	素材（丸太）	35,000.0	m ³ （立米）	35,000.0	m ³ （立米）	
2	輸入した「木材」	素材（丸太）					
		板材、角材等	10,000.0	m ³ （立米）	7,000.0	m ³ （立米）	針葉樹

! 丸太換算で出した数値はStep 3における報告の要否の確認にのみ使用し、報告をする際は丸太換算した数値ではなく、**実際の正味の数値**を報告してください。
（上記事例の場合、③製材は16,000 m³ではなく、10,000m³で報告を行う）

その他の事例は、クリーンウッド・ナビでご確認できます。
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/goho/teiki/pdf/teiki-01.pdf>

お問い合わせ先：林野庁木材利用課 合法伐採木材利用推進班（TEL:03-6744-2496）



お知らせ

【林野庁委託事業】令和8年度デジタル林業展開支援事業


林業DX・デジタル林業実践よろず相談窓口を開設しました！


林業DXの実現に向け、デジタル林業の導入・実践に関する相談窓口を開設しました！地域の林業におけるデジタル技術の導入や現場での活用、関係者間のデータ連携等に関する課題やお悩みについて、ご相談を受け付けます。


ご相談内容に応じて、助言や情報提供のほか、必要に応じてコーディネーターや事務局による現地対応、対面またはWebでの打合せなど、個別の状況に応じた支援を行います。（相談・対応は原則無料※）※ただし予算に上限がございます。


相談から支援までの流れ（イメージ）

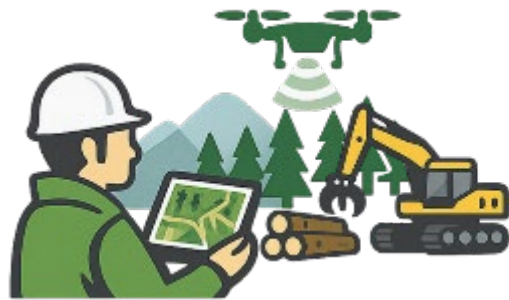
状況に応じて柔軟に支援を実施！

 **相談の受付**
窓口フォームからご相談を受け付けます。

 **内容の確認・検討**
事務局が相談内容を確認し、支援方針を検討します。

 **助言・情報提供**
メール・電話・Web等で知見の提供や助言等を行います。

 **現地対応・伴走支援**
コーディネーターや事務局が現地に伺い、対面にて伴走支援します。



① 実施期間 2026年5月28日（木）から 2027年2月12日（金）まで

② 実践支援
相談窓口 窓口フォーム（Microsoft Forms）
<https://forms.cloud.microsoft/r/ykVYPPAZwM>



③ 相談例

- ・何から取り組めばよいか分からない
- ・ICTやLiDAR等の技術導入を検討したい
- ・現場での森林情報の活用方法を知りたい
- ・専門家を派遣してほしい

④ 備考

ご登録いただいた内容を整理・蓄積し、今後の支援の質の向上や取組の横展開に活用させていただく場合があります。

⑤ お問い合わせ 林業DX支援窓口（一般社団法人日本森林技術協会） TEL:03-3261-9112

デジタル林業に興味・関心のある方は、ぜひお気軽にご相談ください。

お問い合わせ先：林野庁研究指導課技術開発推進室（TEL03-3501-5025）

ウッド・チェンジ ロゴマーク 活用のご案内

ウッド・チェンジ ロゴマークは、「ウッド・チェンジ (※)」の趣旨に賛同し、木材利用の取組を積極的に推進していることのPRにご使用いただけます！（例：ポスター、チラシ、webサイト等）

広くロゴマークをご使用いただくことで、「ウッド・チェンジ」の輪が大きくなり、「木づかい運動」を盛り上げ、木材利用の需要拡大につながります。多くの方の使用登録をお待ちしています！

(※) ウッド・チェンジとは、身の回りのものを木に変える、木を暮らしに取り入れる、建築物を木造・木質化するなど、木の利用を通じて持続可能な社会へチェンジする行動を指します。

【背景】

林野庁では、日本の森林の健全な維持やカーボンニュートラルにつながる「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を促進するため、建築物等の木造・木質化や身近なものの木製品化による木材利用拡大に取り組んでいます。

その一環で国民運動として「木づかい運動」を展開しており、「ウッド・チェンジ」を合言葉に様々な取組を行っています。



【ロゴマークの使用申請について】

1. ウッド・チェンジ ロゴマーク使用規程をご確認の上、内容にご了承いただける場合には、使用を開始する日の5日前（土、日、祝日の日数は算入しない）までに、登録フォームに必要事項を入力して申請してください。
2. 使用を認められないと判断される場合のみ、遅滞なく通知いたします。

(注) 使用が認められない場合の例として、営利を主たる目的とする場合が該当します。

例えば、販売して収益を上げる予定の布バッグやTシャツの柄としてロゴマークをプリントするなど、商品そのものへのマークの使用はお控えください。

なお、商品のチラシやパッケージ、イベントで着用するTシャツや配布者自ら製作する頒布品等に使用することは問題ありません。

ロゴマークの使用規程・ガイドライン、申請登録フォームなど、詳細はこちらから↓
<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/wood-change-logo.html>

お問い合わせ先：林野庁木材利用課 消費対策班 (TEL : 03-6744-2298)



原油価格・物価高騰等による影響を受けた

林業者・木材産業者の資金繰りをお手伝いします！

最大5年間
保証料免除

林業・木材産業災害復旧対策保証

対象事業	資金使途	借入期間	保証料率	保証割合	保証限度額
<ul style="list-style-type: none"> ・造林・育林 ・素材生産 ・木材・木製品製造 ・林業種苗生産 ・薪炭生産 ・きのこ生産 ・木材卸売等 ・木材製品利用 	運転資金	運転資金： 5年以内 (長期は 7年以内)	財務内容 に応じて 0.15% ～	80%	8,000万円
	設備資金	設備資金： 15年以内	1.80%		

借換資金に係る保証

対象事業	資金使途	借入期間	保証料率	保証割合	保証限度額
<ul style="list-style-type: none"> ・造林・育林 ・素材生産 ・林業種苗生産 	運転資金	10年以内 (設備資金の 借換： 15年以内)	財務内容 に応じて 0.20% ～ 1.80%	80%	3億円

※「借換資金に係る保証」は、全国木材協同組合連合会が実施している「林業施設整備等利子助成事業（借換資金）」への応募が必要です。

詳細：https://www.zenmoku.jp/mokukyodo/shisetsuseibi_josei_2/r07_josei.html

※保証には一定の審査があります。

(受付期間) 令和9年3月31日まで

再延長！

お気軽にご相談ください

独立行政法人 農林漁業信用基金

電話 03-3434-7825 (林業信用保証管理部)

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/index.html>

林業関係者のみなさま



みどり認定

をご存知ですか？

「みどりの食料システム法」に基づき、省エネなどに取り組む林業関係者の認定制度がスタートしています！

認定の対象となる取組例



・省エネ型林業機械の導入による
燃油使用量の削減



・きのこ栽培における断熱性能の高い被覆
資材等の利用による燃油使用量の削減

※写真はシイタケの菌床栽培における被覆資材の活用例

認定を受けるメリット

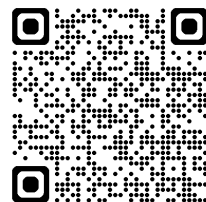
- さまざまな国庫補助金の採択で優遇されます。
- 都道府県の無利子融資の特例が活用できます。
- 環境にやさしい事業を行っていることをアピールできます。

(令和6年5月)

みどりの食料システム法の認定を受けてみませんか？

- 林業は、温室効果ガスの吸収源となる森林を育む環境に優しい産業です。一方で、林業機械などの燃油使用による温室効果ガスの発生といった環境負荷が生じている側面もあります。
- 今般、このような環境負荷を低減し持続可能な林業を確立するため、みどりの食料システム法が施行されました。
- 法律では、環境負荷低減に取り組む林業関係者の5か年の計画を認定し、各種支援措置を講ずることとしています。
 - ✓ 「環境負荷の低減」の取組例
 - ・ 燃油使用低減や温室効果ガスの排出削減など

申請書の作成方法は
こちら！



□ みどり認定を受けるメリット

メリット① さまざまな国庫補助金の採択で優遇されます！

- 計画認定を受けると、国庫補助事業の採択審査のポイントが加算されます。
対象事業：林業・木材産業循環成長対策交付金 など

メリット② 都道府県の無利子融資の特例が活用できます！

- 計画認定※1を受けると、林業・木材産業改善資金の特例措置(償還期間の延長)を活用できます。

融資	林業・木材産業改善資金
利率	無利子
償還期間	10年以内(据置3年以内)※特例措置では12年
貸付限度額	個人:1,500万円、会社:3,000万円 等

※1 林業・木材産業改善資金助成法に規定する林業・木材産業改善措置を含むこと。
※2 資金の詳細については都道府県に御相談ください。

□ みどり認定の申請方法



申請については、まずはお住まいの都道府県庁に御相談ください！

お問合せ先 農林水産省大臣官房みどりの食料システム戦略グループ
(TEL:03-6744-7186)

森林保険

森林所有者の皆さまの
安心を支える
公的保険制度です。

保険金のお支払いの対象となる 8 種類の災害



火災

山火事で
受けた損害



風害

暴風による
幹折れ、根返り
などの損害



水害

豪雨、洪水に
よる埋没、水没、
流失などの損害



雪害

豪雪、積雪による
幹折れ、根返りな
どの損害



干害

乾燥による
枯死などの損害



凍害

凍結、寒風など
による枯死など
の損害



潮害

潮風、潮水浸水
などによる枯死
などの損害



噴火災

火山噴火による焼
損、幹折れ、埋没、
根返りなどの損害

森林保険の Q & A

加入できる森林は？

原則人工林ですが、
間伐等の人手が加えられた
天然林でも加入できます。

誰でも申し込めますか？

個人、法人を問わずどなた
でもお申込みでき、保険契
約者になることができます。

相談・申込先は？

最寄りの森林組合、森林組
合連合会にお気軽にご相談
ください。

山火事・自然災害への備えはできていますか？

いざというときの備えに、森林保険をご活用ください。



たもち そよりん



自然災害の例（風害）
令和5年8月発生 鹿児島県

加入例① 植栽後の干害や凍害に備えて・・・



樹種:スギ 林齢:1年生
面積:1ha 付保率:100%
森林の所在地 東京都
保険期間:1年間 割引:なし

保険金額(補償限度額)
101万円
保険料(掛け金)
3,999円/年

加入例② 間伐後の風害や雪害、火災に備えて・・・



樹種:スギ 林齢:30年生
面積:1ha 付保率:100%
森林の所在地 東京都
保険期間:1年間 割引:なし

保険金額(補償限度額)
279万円
保険料(掛け金)
8,732円/年



国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林保険センター

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2(興和川崎西ビル9階)
TEL:044-382-3500 URL:<https://www.ffpri.go.jp/fic/>



ウェブサイト



Facebook



YouTube

企業とつながる『森業』実践ガイド パンフレットと普及動画のご案内

「森業(もりぎょう)」とは、森林が持つレクリエーションや環境保全といった多様な価値を活用して、都市部の人や企業を呼び込み、地域の活性化や豊かな森林づくりにつなげる取組です。

林野庁では、より多くの地域で「森業」の取組が進むよう、企業を対象としたプログラムを展開している各地域での体制づくりや、企業向けプログラムを構築するまでの流れについて紹介するパンフレットを作成・公開しました。

パンフレット



「自分たちの地域では何が出来るか」「企業とどのような連携が考えられるのか」を具体的に思い描き、次の一歩へとつなげるためのガイドとして、ご活用ください。

近年、企業において、豊かな森林空間を活用した体験プログラムを、企業研修等に取り入れ、エンゲージメント向上や、組織・事業の変革・構築等を目指す取組が拡がりを見せています。

森林空間を舞台とした取組がもつ可能性や、その価値をより深く理解いただくために、専門家の知見や現地での実践を紹介する動画を作成・公開しました。

これからの森業のポータルサイト

普及動画&パンフレットはこちら



林野庁 森業ポータル

検索



動画

本経営に役立つ 企業×森のプログラム



部長・支店長合宿等で「森での企業研修・オフサイトミーティング」を取り入れているエネルギー会社の実際の研修の様子を紹介します。あわせて、武蔵野大学ウェルビーイング学部長の前野 隆司教授、国際医療福祉大学医学部の落合博子教授から、森のプログラムの効果をエビデンスとともにご紹介します。

お問合せ先：林野庁 森林利用課 森業振興室 (TEL 03-3502-8240)